

**田原本町高齢者保健福祉計画及び
第 10 期介護保険事業計画策定にかかる
アンケート調査結果報告書
【第 3 稿】**

令和 8 年 6 月

田 原 本 町

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査概要	1
3.	報告書を見る際の注意事項	1
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
1.	回答者の属性	2
2.	家族や生活状況について	5
3.	からだを動かすことについて	10
4.	食べることについて	24
5.	毎日の生活について	31
6.	地域での活動について	38
7.	助け合いについて	53
8.	健康について	62
9.	認知症について	73
10.	介護保険料・生活支援サービスについて	82
11.	今後の高齢者施策について	90
12.	生活機能評価等に関する分析	96
III	在宅介護実態調査	104
1.	回答者の属性	104
2.	家族や生活状況について	106
3.	必要となる支援や介護について	110
4.	介護保険以外の支援・サービスについて	112
5.	家族介護について	116
6.	主な介護者の方について ※5で「ない」と回答した人以外	117
7.	主な介護者の方の就労について ※5で「ない」と回答した人以外	121

I 調査概要

1. 調査の目的

第10期計画（令和9年度から令和11年度）を策定するにあたり、高齢者等の生活状況や健康状態、地域の課題やニーズ等を的確に把握し、介護や福祉などの事業の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査概要

（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 調査対象：町内の65歳以上の方（総合事業対象者・要支援認定者含む）から無作為抽出1,500人
- 調査方法：郵送配布－郵送回収またはWEB回答
- 調査期間：令和8年1月13日（火）～令和8年1月31日（土）
- 回収数：1,076人（うちWEB回答133人）（回収率：71.7%）
- 有効回収数：1,072人（うちWEB回答129人）（有効回収率：71.5%）

（2）在宅介護実態調査

- 調査対象：町内の要支援・要介護認定を受けている方から無作為抽出 436人
- 調査方法：郵送配布－郵送回収（201人）、訪問調査（136人）
- 調査期間：郵送調査／令和8年1月13日（火）～令和8年1月31日（土）
訪問調査／令和7年12月～令和8年2月
- 回収数：337人（回収率：77.3%）
- 有効回収数：334人（有効回収率：76.6%）
（内訳）郵送調査／201人（回収率：67.0%）
訪問調査／133人（回収率：97.8%）

3. 報告書を見る際の注意事項

- グラフおよび表中のn数は、回答者数を表している。
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- 年代別・要介護度別等のクロス集計表については、その他を除いて、1番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3項目以上に網掛けをしている場合がある。

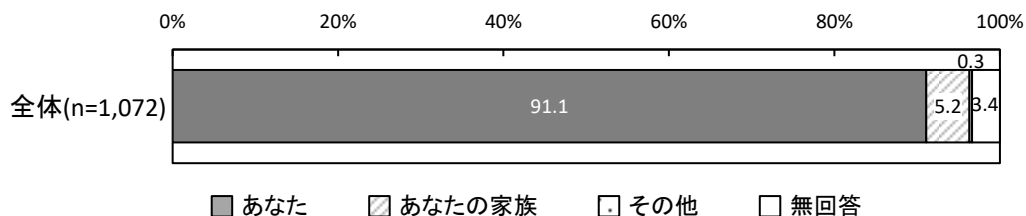
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査

1. 回答者の属性

(1) 記入者

問 この調査票の記入者をお答えください。(ひとつだけ○)

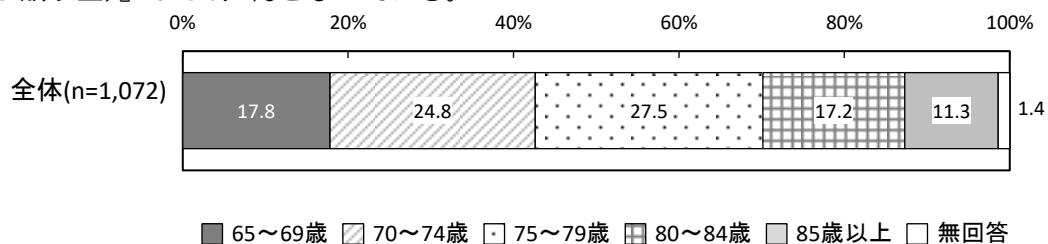
・調査票の記入者は、「あて名のご本人」が91.1%、「ご家族」が5.2%となっている。



(2) 年齢

問 あなたの満年齢は何歳ですか。(数字を記入)

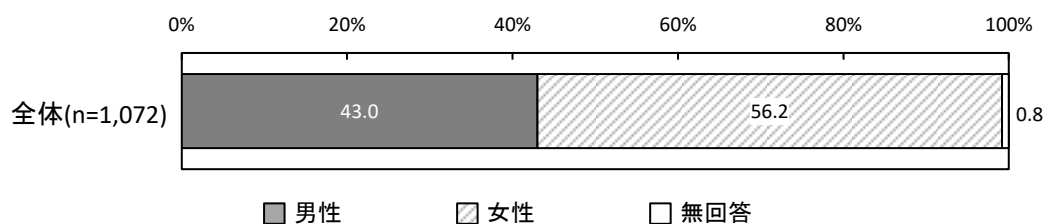
・年齢は、「75～79歳」の割合が(27.5%)と最も高く、次いで「70～74歳」(24.8%)、「65～69歳」(17.8%)の順となっており、『前期高齢者(65～74歳)』が42.6%、『後期高齢者(75歳以上)』が56.0%となっている。



(3) 性別

問 あなたの性別について教えてください。(ひとつだけ○)

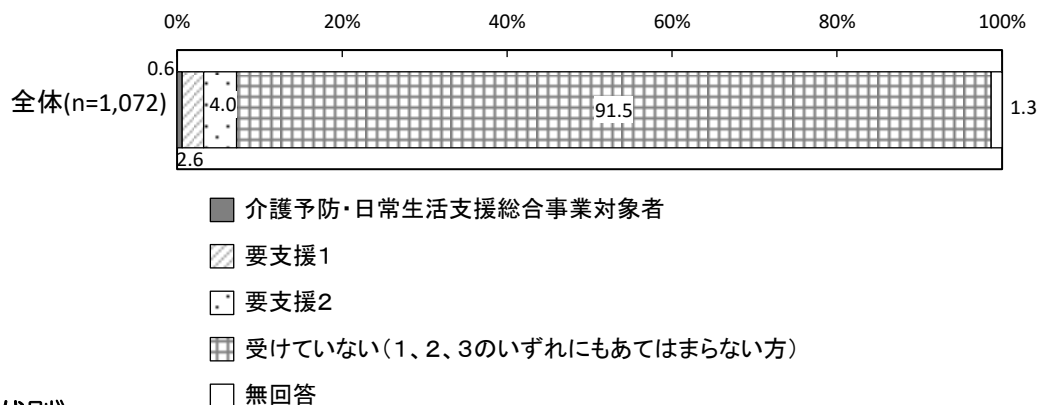
・性別は、「男性」が43.0%、「女性」が56.2%となっている。



(4) 要支援認定

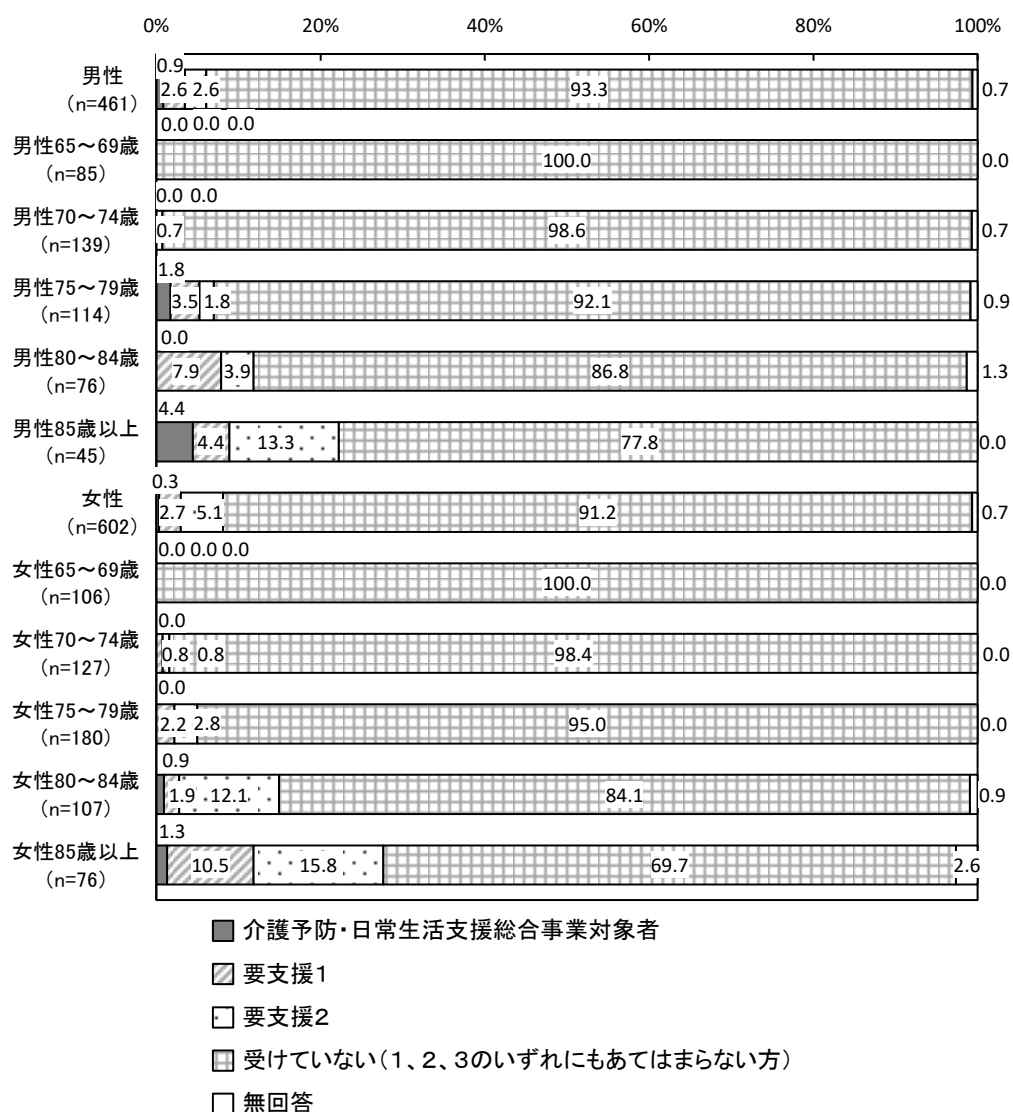
問 あなたは要支援認定を受けていますか。(ひとつだけ○)

- ・要支援認定は、「受けていない(1、2、3のいずれにもあてはまらない方)」の割合が91.5%で最も高く、次いで「要支援2」(4.0%)となっている。



《年代別》

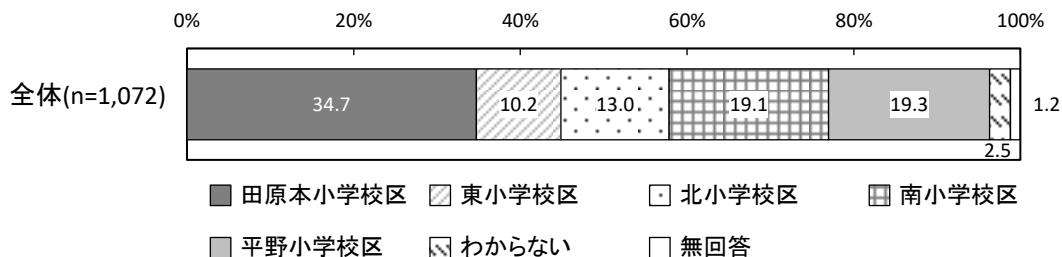
- ・年代・性別にみると、概ね年代が上がるにつれて「受けていない(1、2、3のいずれにもあてはまらない方)」の割合が低くなる傾向となっている。性別では「男性」の方が、「受けていない(1、2、3のいずれにもあてはまらない方)」の割合が高い傾向となっている。



(5) お住まいの地区

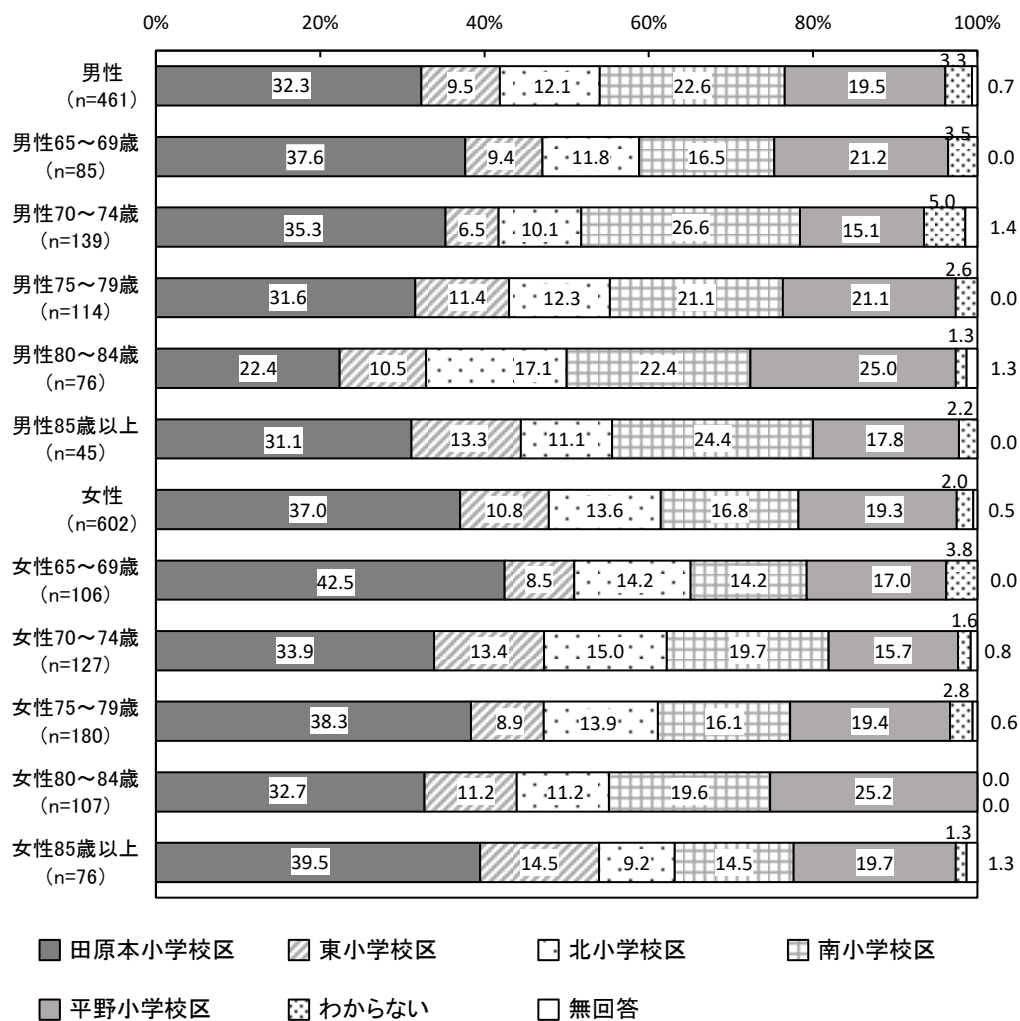
問 あなたのお住まいの地区を教えてください。(ひとつだけ○)

- お住まいの地区は、「田原本小学校区」の割合が 34.7%で最も高く、次いで「平野小学校区」(19.3%) となっている。



《年代別》

- 年代・性別にみると、どちらの地区も概ね「男性」より「女性」の割合が高くなっているが、「南小学校区」は「男性」の割合の方が多くなっている。

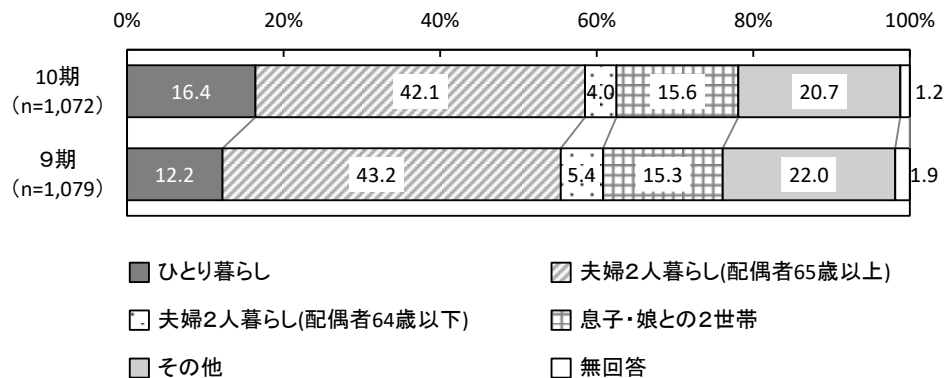


2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

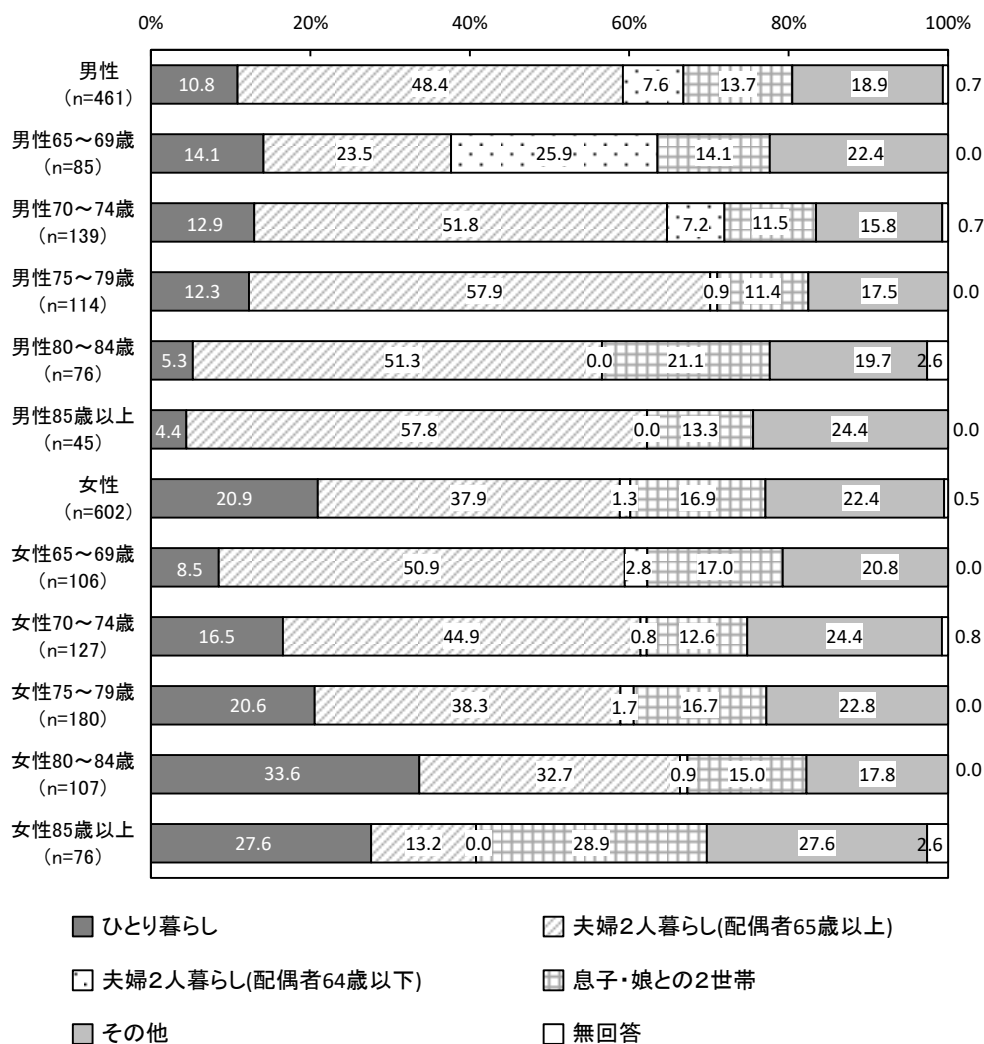
問 家族構成をお教えてください。(ひとつだけ○)

- ・家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が 42.1%と4割を超えて最も高く、次いで「その他」(20.7%)となっている。
- ・また、「ひとり暮らし」が 16.4%と1割を超えている。
- ・前回調査に比べ、「ひとり暮らし」は 4.2 ポイント増加している。



《年代別》

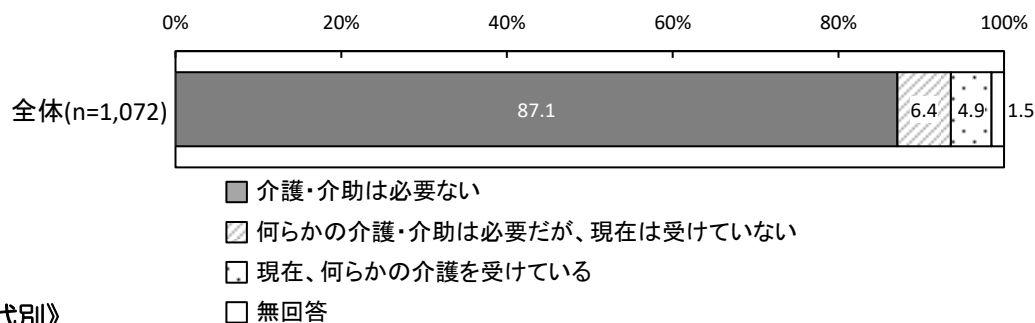
- ・年代・性別にみると、概ね年代が上がるにつれて「男性」は「ひとり暮らし」が減少するが、「女性」は「ひとり暮らし」が増加していく傾向となっている。
- ・また、「女性 85 歳以上」では「息子・娘との2世帯」の割合が 28.9%と高くなっている。



(2) 普段の生活での介護・介助の状況

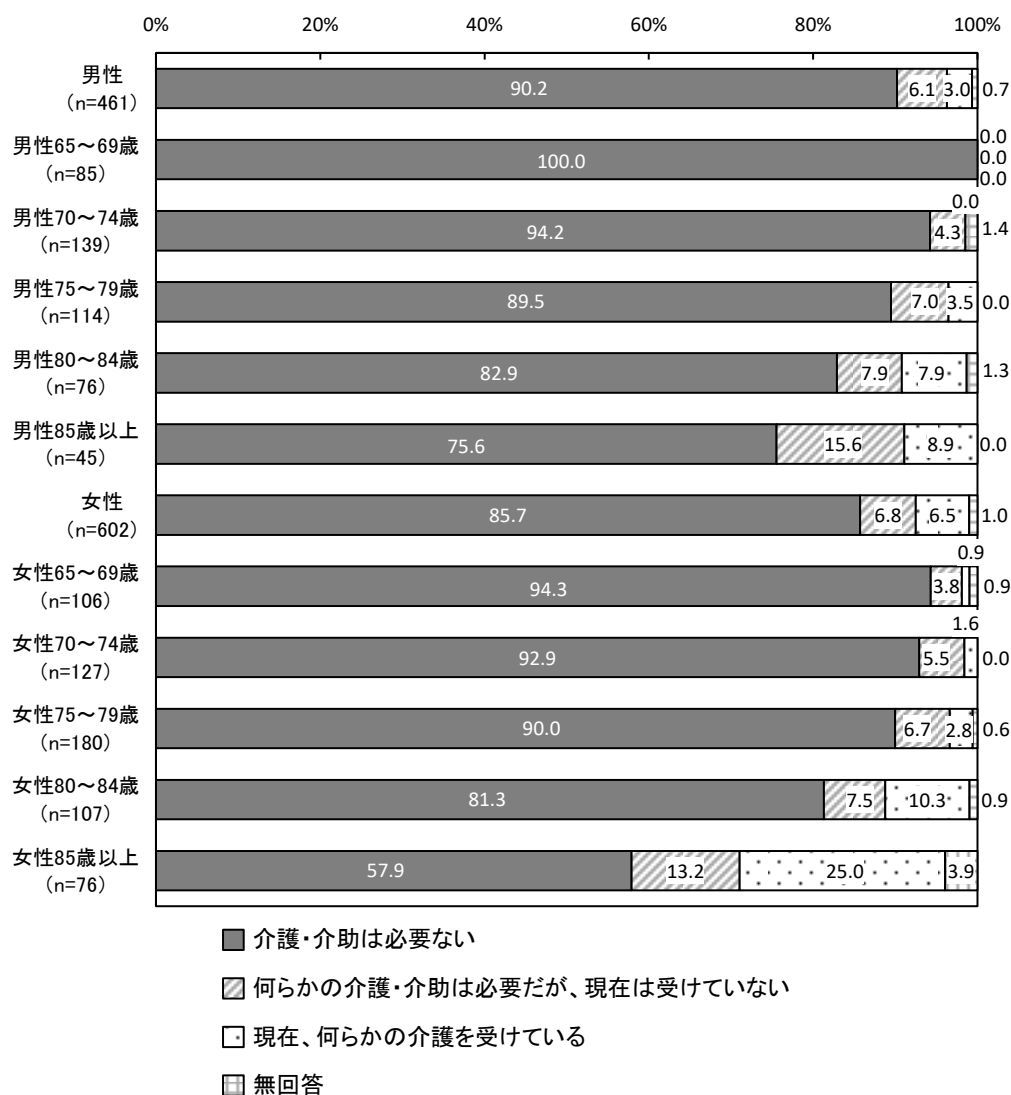
問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(ひとつだけ○)

- ・普段の生活での介護・介助の状況は、「介護・介助は必要ない」の割合が87.1%と8割を超えている。
- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.4%)と「現在、何らかの介護を受けている」(4.9%)を合わせた『介護・介助が必要』な人は2割未満となっている。



《年代別》

- ・年代・性別にみると、概ね年代が上がるにつれて「男性」「女性」ともに「介護・介助は必要ない」の割合が減少している。
- ・また、「男性」の方が「介護・介助は必要ない」の割合が高い傾向となっている。

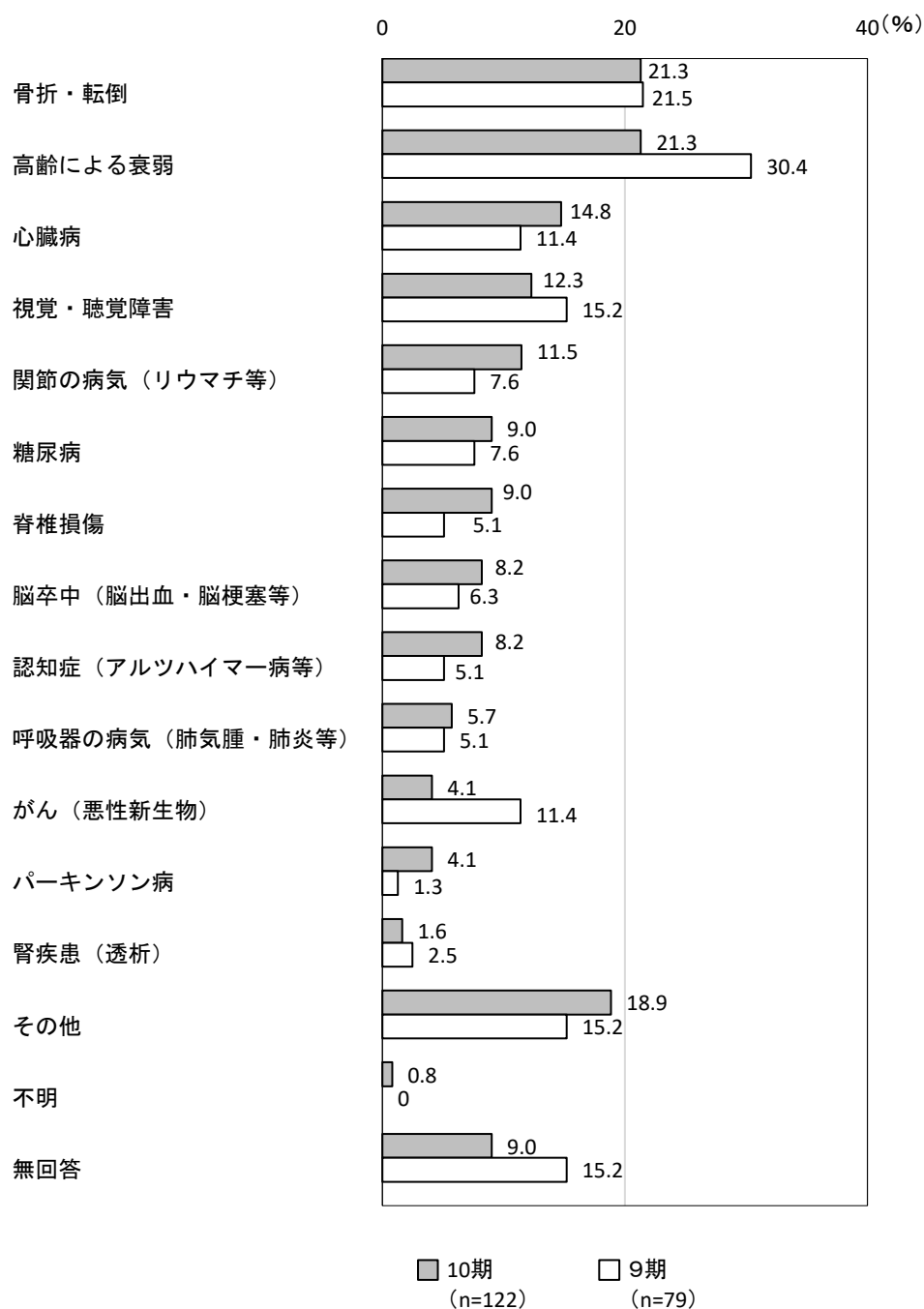


(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2) で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみお答えください】

問 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

- ・介護・介助が必要な人の介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」が21.3%と両方とも約2割を占めて最も高く、次いで「その他」(18.9%)、「心臓病」(14.8%)、「視覚・聴覚障害」(12.3%)、「関節の病気(リウマチ等)」(11.5%)の順となっている。
- ・前回調査に比べ、「高齢による衰弱」は9.1ポイント減少している。また「がん(悪性新生物)」は7.3ポイント減少している。

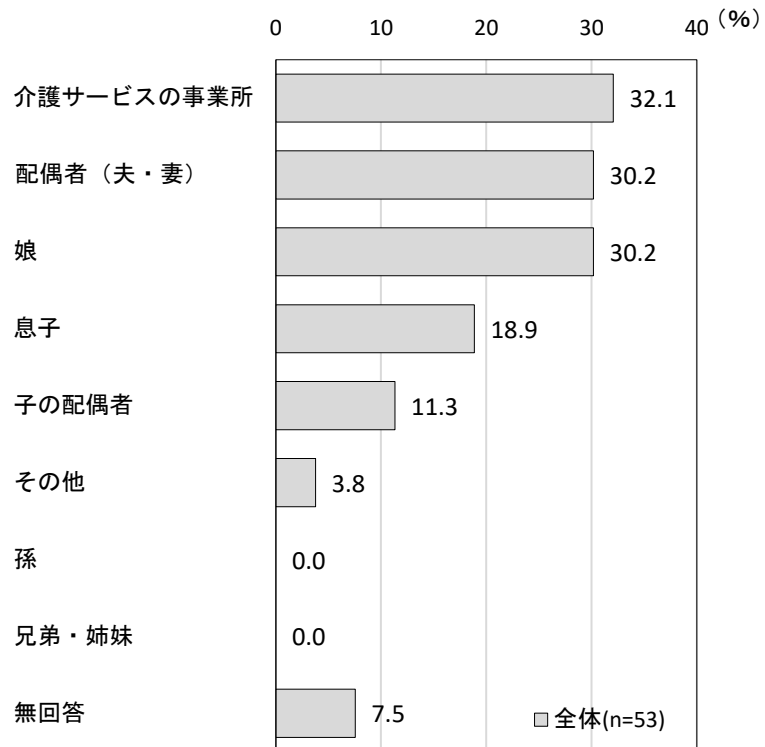


(2-2) 主に介護・介助している人

【(2)で「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみお答えください】

問 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

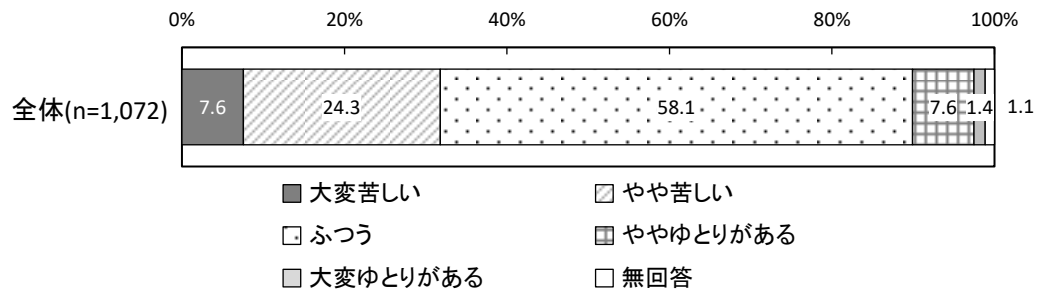
- ・介護・介助を受けている人の主な介護・介助者は、「介護サービスの事業所」が32.1%と3割を超えて最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」、「娘」（30.2%）、「息子」（18.9%）の順となっている。



(3) 現在の暮らしの経済的な状況

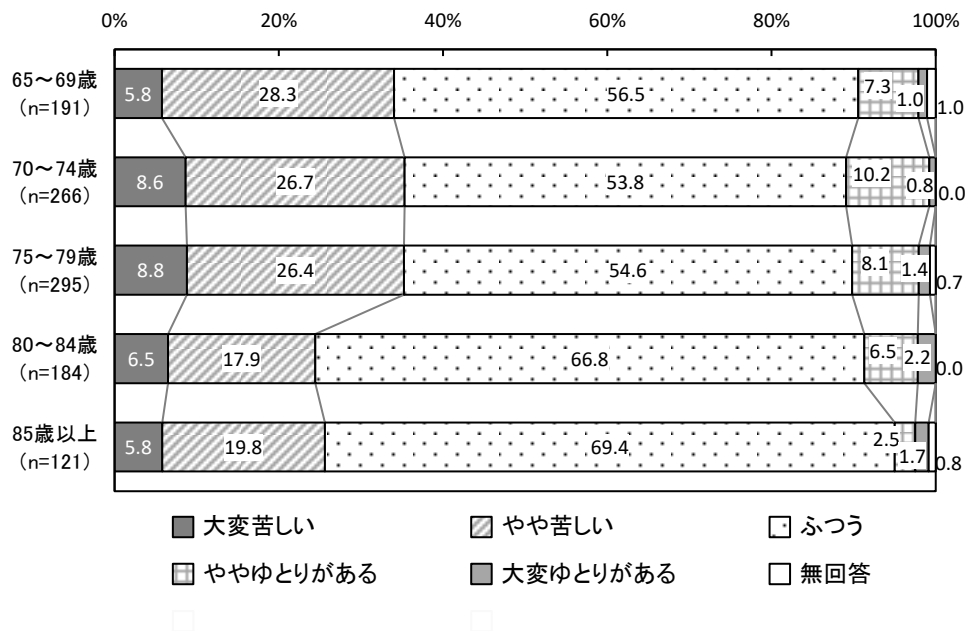
問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(ひとつだけ○)

- 現在の暮らしの経済的な状況は、「ふつう」が58.1%と約6割を占めて最も高くなっている。
- 「大変苦しい」(7.6%)と「やや苦しい」(24.3%)を合わせた『苦しい』が約3割となっている。
- 「ややゆとりがある」(7.6%)と「大変ゆとりがある」(1.4%)を合わせた『ゆとりがある』は1割未満となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、『ゆとりがある』と『苦しい』が70～74歳で最も高くなっている。

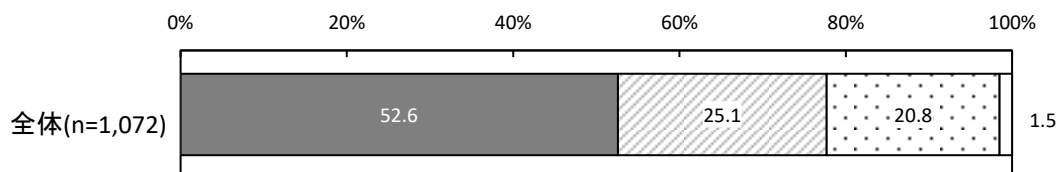


3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(ひとつだけ○)

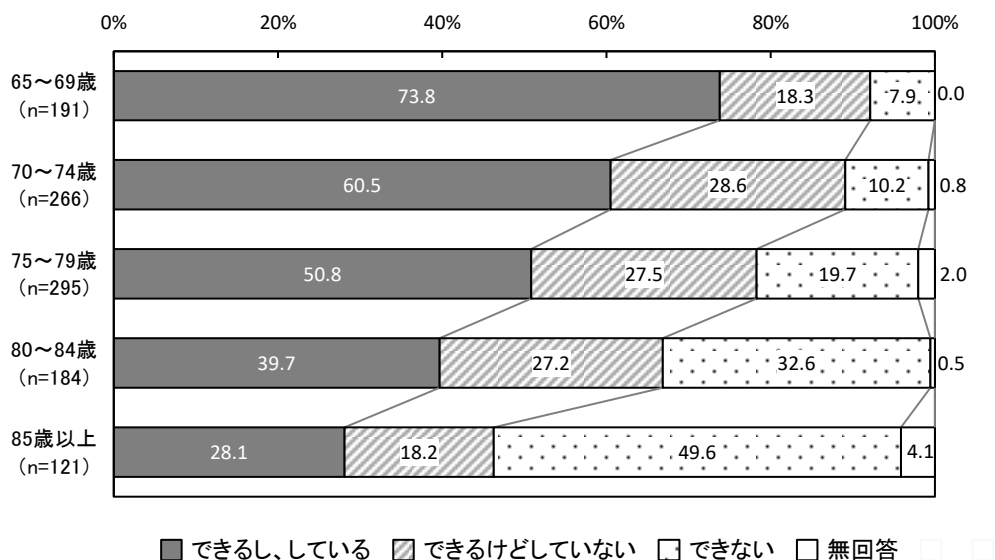
- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が52.6%と半数以上を占め、「できるけどしていない」(25.1%)と合わせると『できる』が7割を超えている。
- ・一方で、「できない」は20.8%となっている。



■ できるし、している ■ できるけどしていない □ できない □ 無回答

《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、80～84歳では3割程度、85歳以上では5割程度を占めている。

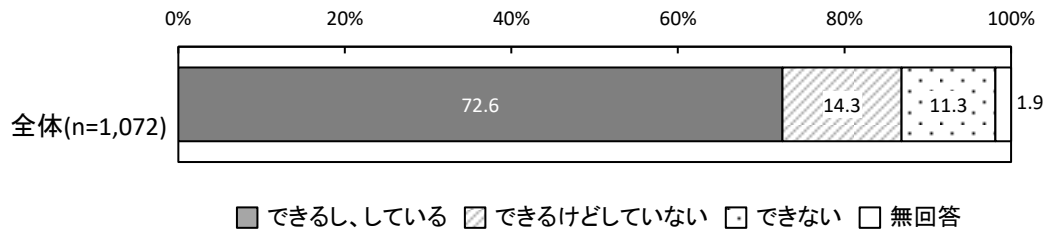


■ できるし、している ■ できるけどしていない □ できない □ 無回答 □

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

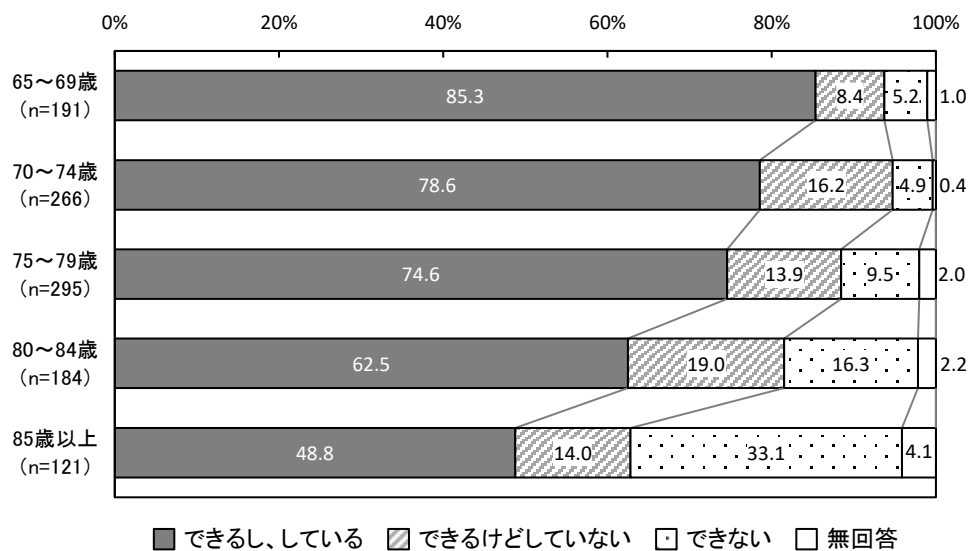
問 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(ひとつだけ○)

- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が72.6%と7割以上を占め、「できるけどしていない」(14.3%)と合わせると『できる』が約9割を占めている。
- 一方で、「できない」は11.3%となっている。



《年代別》

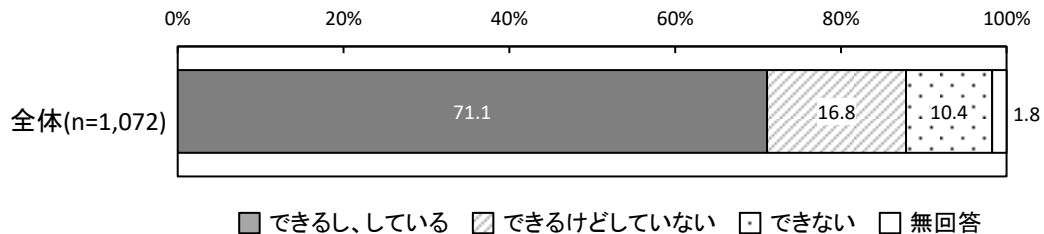
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、85歳以上では3割を超えている。



(3) 15 分位続けて歩いているか

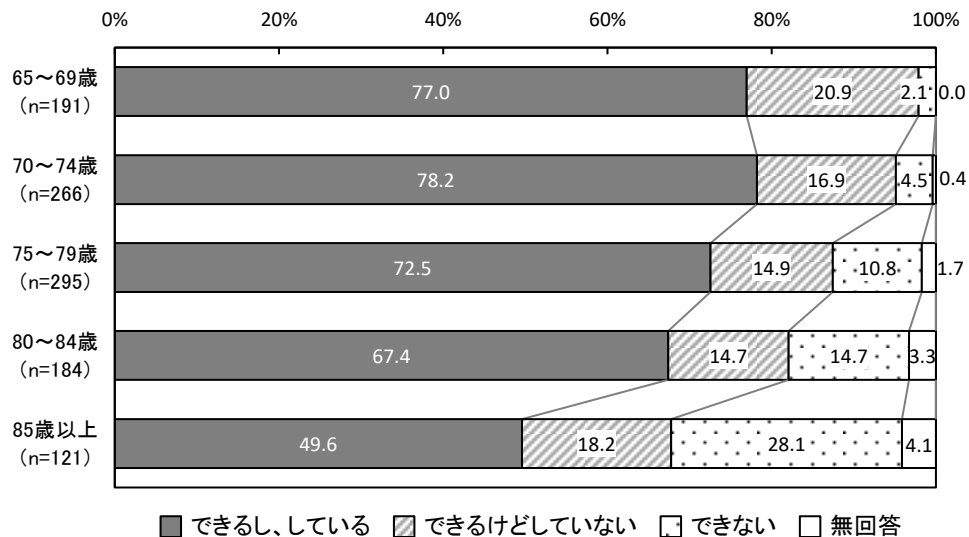
問 15 分位続けて歩いていますか。(ひとつだけ○)

- ・15 分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が 71.1%と 7 割を超えており、「できるけどしていない」(16.8%) と合わせると『できる』が 8 割以上を占めている。
- ・一方で、「できない」は 10.4%となっている。



《年代別》

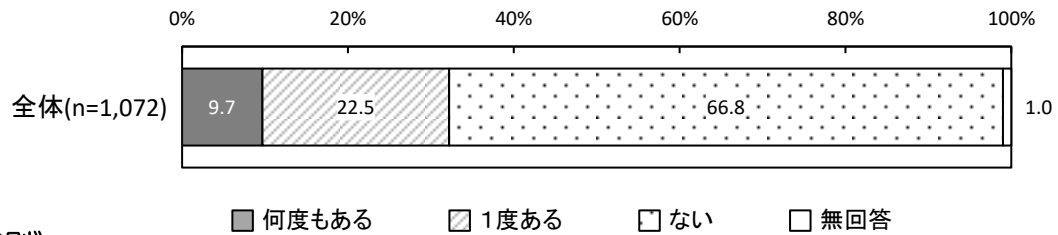
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、75 歳以上では 1 割を超えており、85 歳以上では 3 割近くとなっている。



(4) 過去 1 年間に転んだ経験があるか

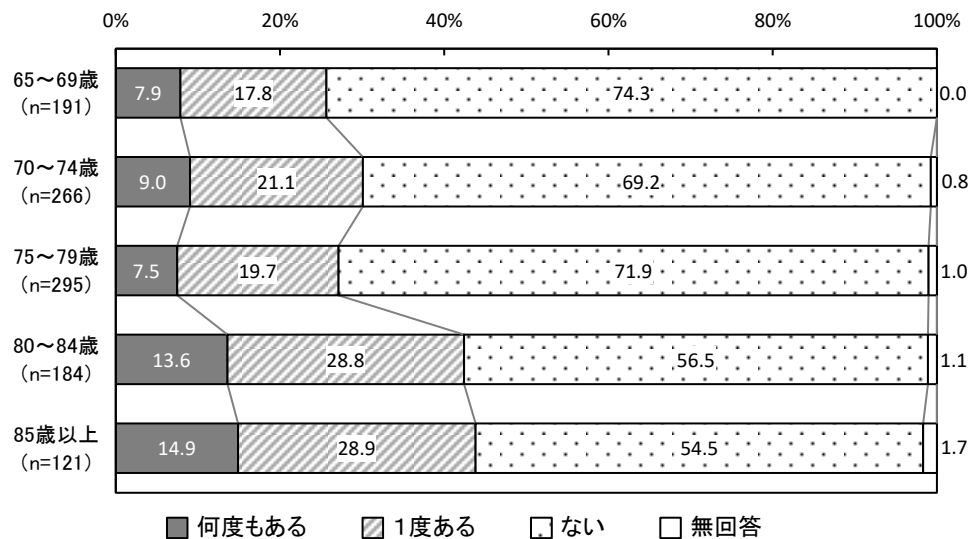
問 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(ひとつだけ○)

- ・過去 1 年間で転んだ経験は、「ない」が 66.8%と 6 割以上を占めているものの、「何度もある」(9.7%) と「1 度ある」(22.5%) を合わせると『ある』が 3 割を超えている。



《年代別》

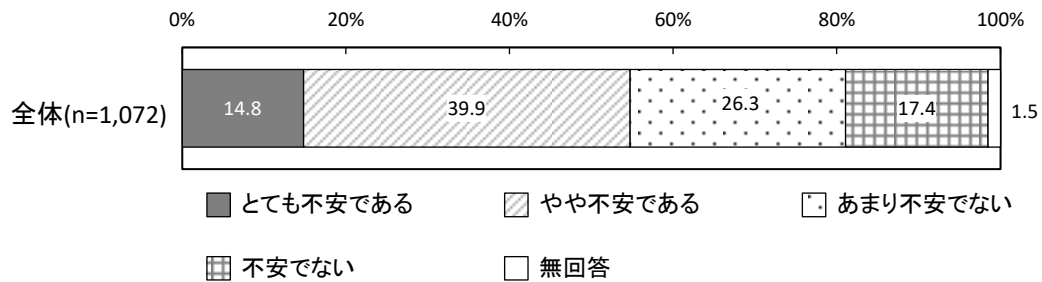
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『ある』が高くなっており、80 歳以上では 4 割を超えている。また、80 歳以上では「何度もある」が 1 割を超えており、その他の年代に比べて高くなっている。



(5) 転倒に対する不安は大きいか

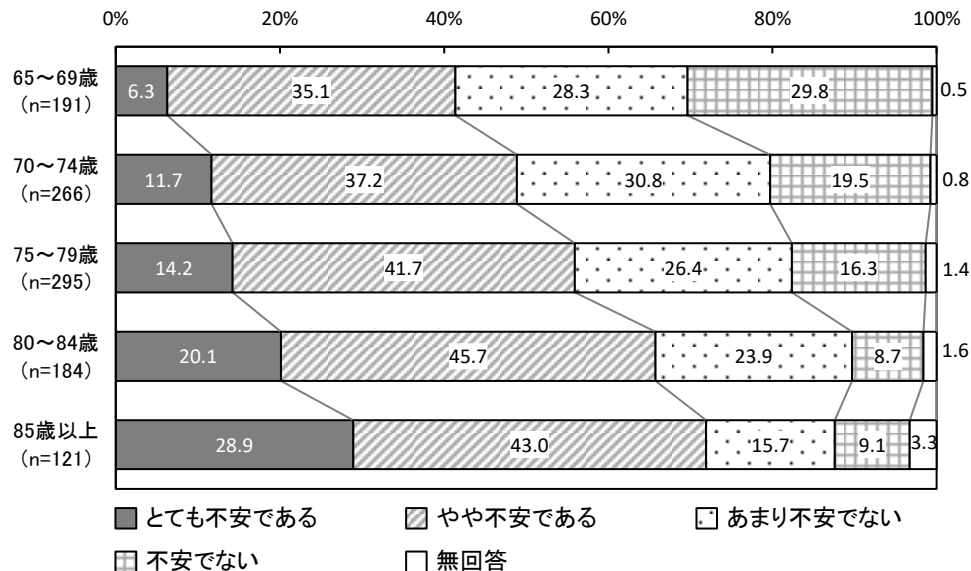
問 転倒に対する不安は大きいですか。(ひとつだけ○)

- ・転倒に対する不安では、「やや不安である」が39.9%と約4割程度を占め、「とても不安である」(14.8%)と合わせると『不安である』が5割を超えている。



《年代別》

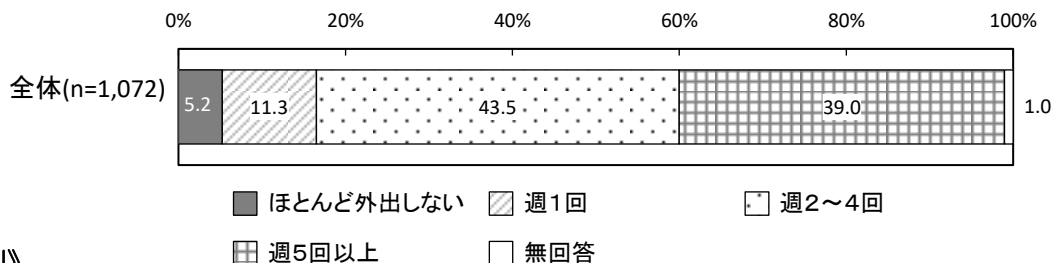
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『不安である』が高くなっており、80歳以上では7割以上を占めている。



(6) 週に1回以上は外出しているか

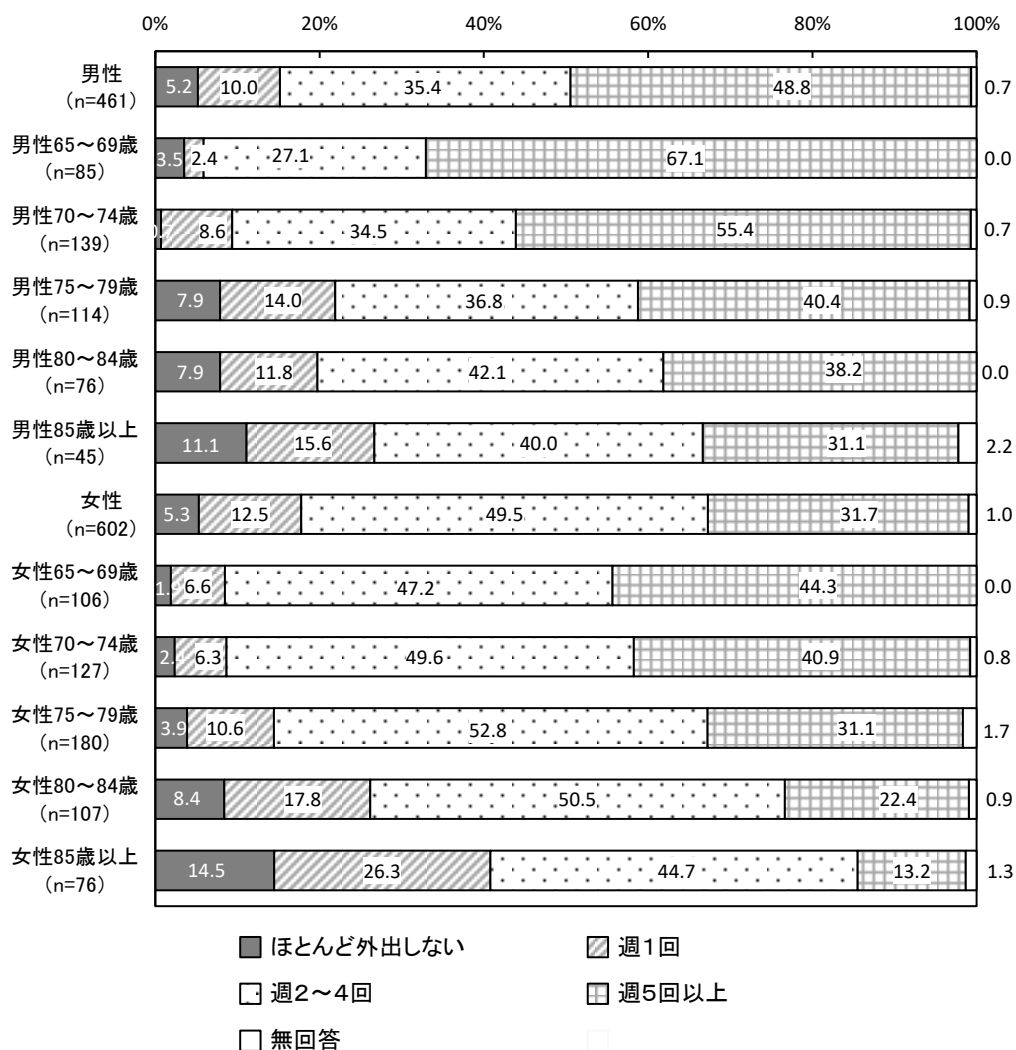
問 週に1回以上は外出していますか。(ひとつだけ○)

- ・週に1回以上は外出しているかは、「週2～4回」が43.5%と4割を超えて最も高く、「週5回以上」(39.0%)と合わせると『週2回以上』が8割を超えている。
- ・一方で、「ほとんど外出しない」は5.2%となっている。



《年代別》

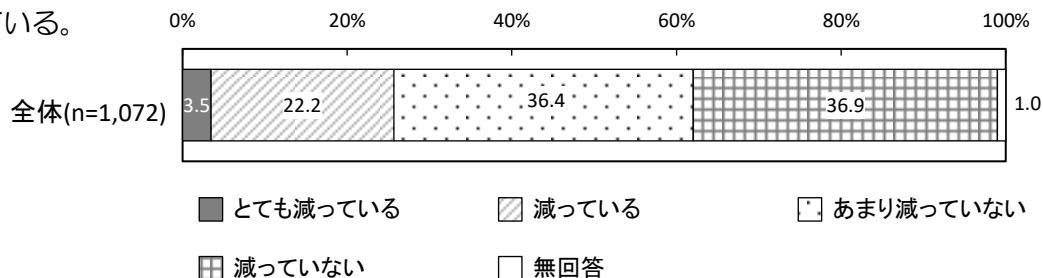
- ・年代・性別にみると、年代が上がるにつれて「男性」「女性」とともに「週5回以上」の割合が減少している。
- ・また「週5回以上」では「女性」の割合の方が低い傾向となっている。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

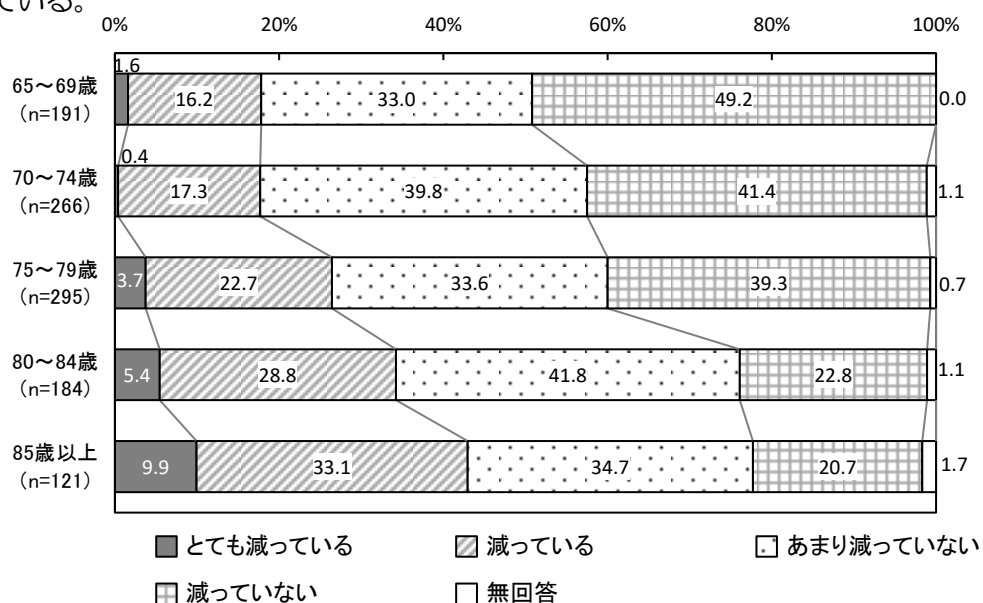
問 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(ひとつだけ○)

- ・昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「減っていない」が36.9%と3割を超えて最も高く、「あまり減っていない」(36.4%) と合わせると『減っていない』が7割を超えている。
- ・「とても減っている」(3.5%) と「減っている」(22.2%) を合わせた『減っている』が2割を超えている。



《年代別》

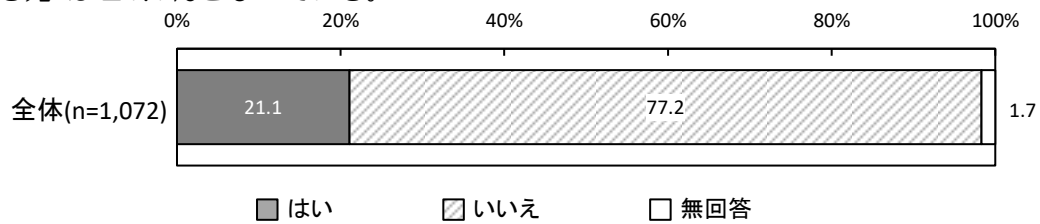
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『減っている』が高くなっており、85歳以上では4割を超えている。



(8) 外出を控えているか

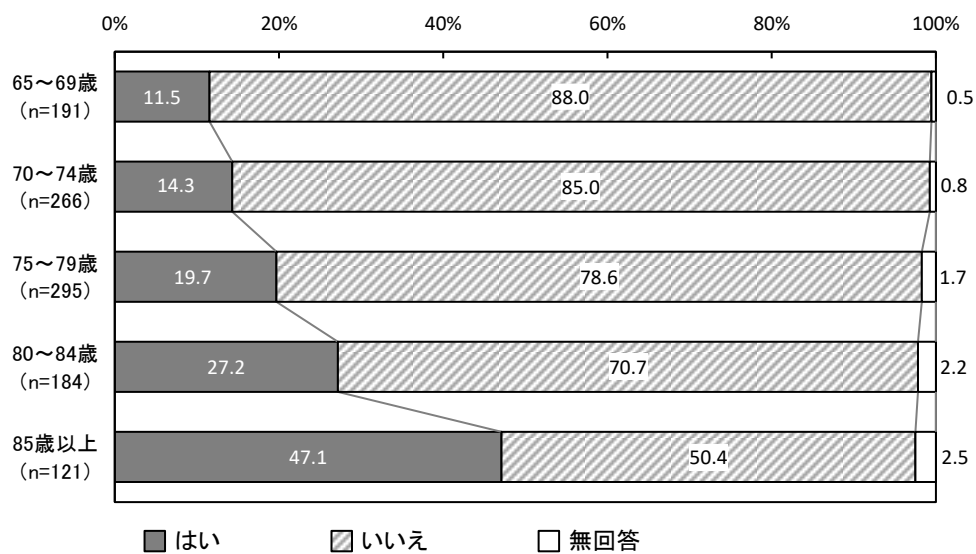
問 外出を控えていますか。(ひとつだけ○)

- 外出を控えているかは、「いいえ（控えていない）」が77.2%と7割を超えており、「はい（控えている）」は21.1%となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「はい（控えている）」が高くなっており、85歳以上では5割近くを占めている。

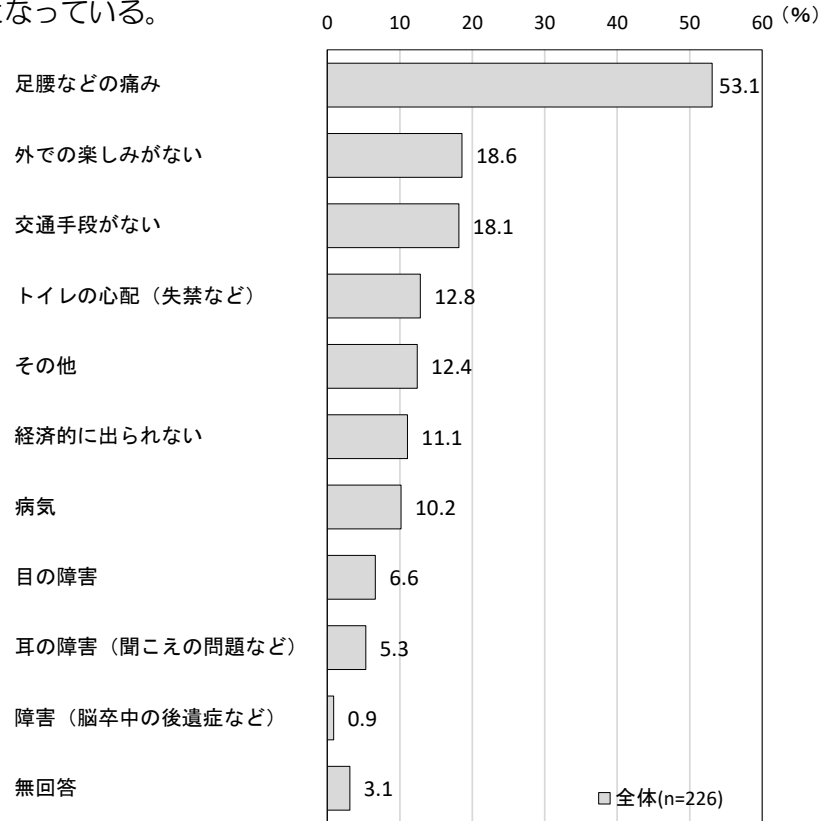


(8-1) 外出を控えている理由

【(8)で「はい(控えている)」を回答された方のみお答えください】

問 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- ・外出を控えている人の理由は、「足腰などの痛み」が53.1%と約5割を占めて最も高く、次いで「外での楽しみがない」(18.6%)、「交通手段がない」(18.1%)、「トイレの心配(失禁など)」(12.8%)の順となっている。



- ・校区別にみると、「東小学校区」、「北小学校区」では「交通手段がない」の割合が2番目に高くなっている。

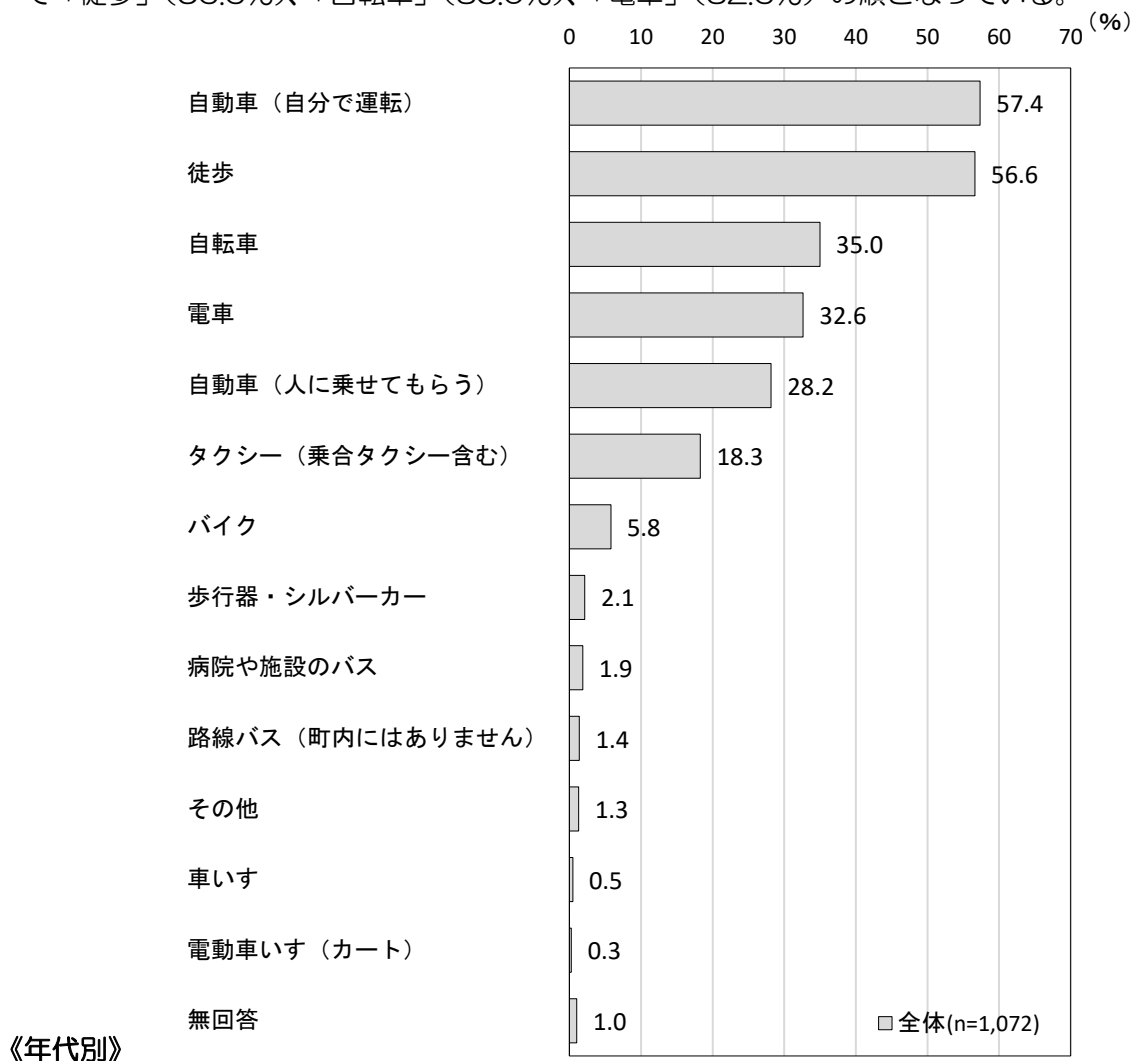
		(%)											
		回答者数(人)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
校区別	田原本小学校区	67	10.4	0.0	55.2	11.9	1.5	7.5	17.9	11.9	16.4	11.9	6.0
	東小学校区	20	15.0	0.0	55.0	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0	30.0	20.0	0.0
	北小学校区	32	9.4	0.0	50.0	12.5	3.1	6.3	18.8	12.5	28.1	12.5	3.1
	南小学校区	50	6.0	0.0	50.0	14.0	10.0	6.0	20.0	14.0	10.0	6.0	2.0
	平野小学校区	47	12.8	4.3	53.2	14.9	8.5	10.6	21.3	6.4	19.1	14.9	2.1
	わからない	8	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	25.0	0.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(9) 外出する際の移動手段

問 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が 57.4%と約6割を占めて最も高く、次いで「徒歩」(56.6%)、「自転車」(35.0%)、「電車」(32.6%)の順となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるほど「自動車（自分で運転）」が高く、概ね年代が上がるほど「自動車（人に乗せてもらう）」や「徒歩」などが高くなる傾向がみられる。

(%)

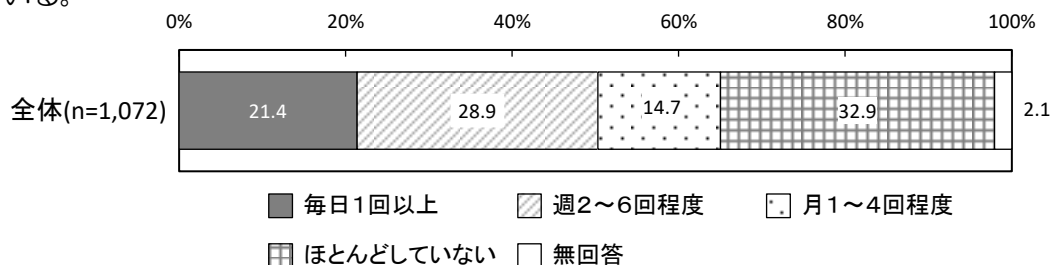
		回答者数（人）	自動車（自分で運転）	徒歩	自転車	電車	自動車（人に乗せてもらう）	タクシー（乗合タクシー含む）	バイク	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	路線バス（町内にはありません）	その他	車いす	電動車いす（カート）	無回答
年代別	65～69歳	191	79.6	60.7	34.6	42.9	23.6	1.6	5.8	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	266	75.9	60.9	33.8	38.7	22.2	10.2	6.8	0.0	0.8	2.6	1.1	0.4	0.0	0.4
	75～79歳	295	55.3	56.9	38.6	31.2	24.4	20.0	7.8	0.7	2.4	1.7	1.4	0.7	0.3	1.0
	80～84歳	184	38.0	53.3	39.1	27.2	33.2	30.4	4.9	5.4	2.2	1.1	1.6	0.5	0.0	1.1
	85歳以上	121	15.7	44.6	24.8	18.2	51.2	38.8	0.8	9.1	5.8	0.8	2.5	0.8	1.7	2.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(10) 定期的な運動習慣

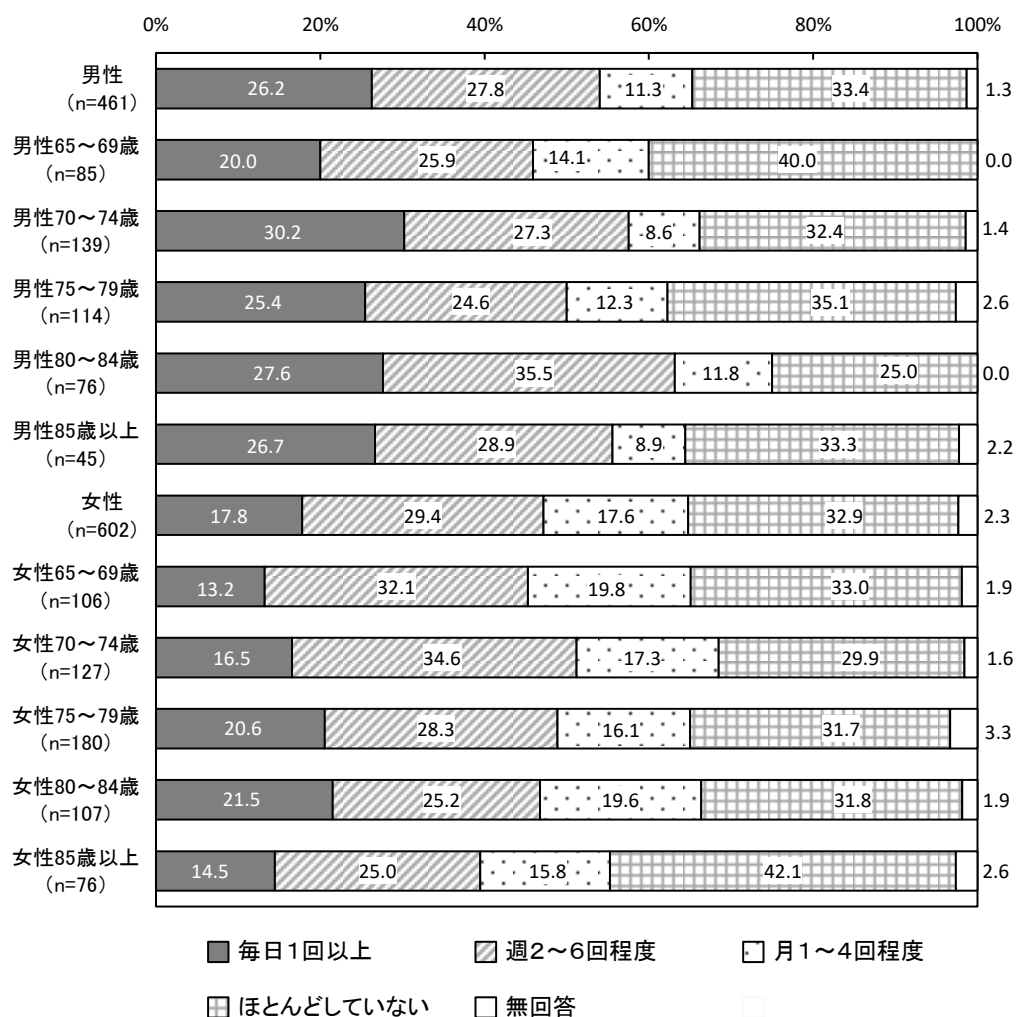
問 定期的に運動する習慣がありますか。(ひとつだけ○)

- 定期的な運動習慣は、「ほとんどしていない」が32.9%と3割を超えて最も高くなっている。
- 「毎日1回以上」(21.4%)と「週2～6回程度」(28.9%)を合わせた『週2回以上』が半数を超えている。



《年代別》

- 年代・性別にみると、「毎日1回以上」では「男性 70～74 歳」(30.2%)、「女性 80～84 歳」(21.5%) の割合が最も高くなっている。
- また「ほとんどしていない」では「男性 65～69 歳」(40.0%)、「女性 85 歳以上」(42.1%) の割合が最も高くなっている。



- ・校區別にみると、「東小学校区」、「北小学校区」では「毎日 1 回以上」の割合が2番目に高くなっている。

(%)

		回 答 者 数 (人)	毎 日 1 回 以 上	週 2 ～ 6 回 程 度	月 1 ～ 4 回 程 度	な ほ い と ん ど し て い	無 回 答
校 区 別	田原本小学校区	372	20.4	30.1	15.6	31.7	2.2
	東小学校区	109	25.7	23.9	18.3	31.2	0.9
	北小学校区	139	24.5	24.5	14.4	36.0	0.7
	南小学校区	205	21.0	28.8	15.1	32.7	2.4
	平野小学校区	207	21.7	32.4	12.1	32.9	1.0
	わからない	27	11.1	18.5	14.8	51.9	3.7

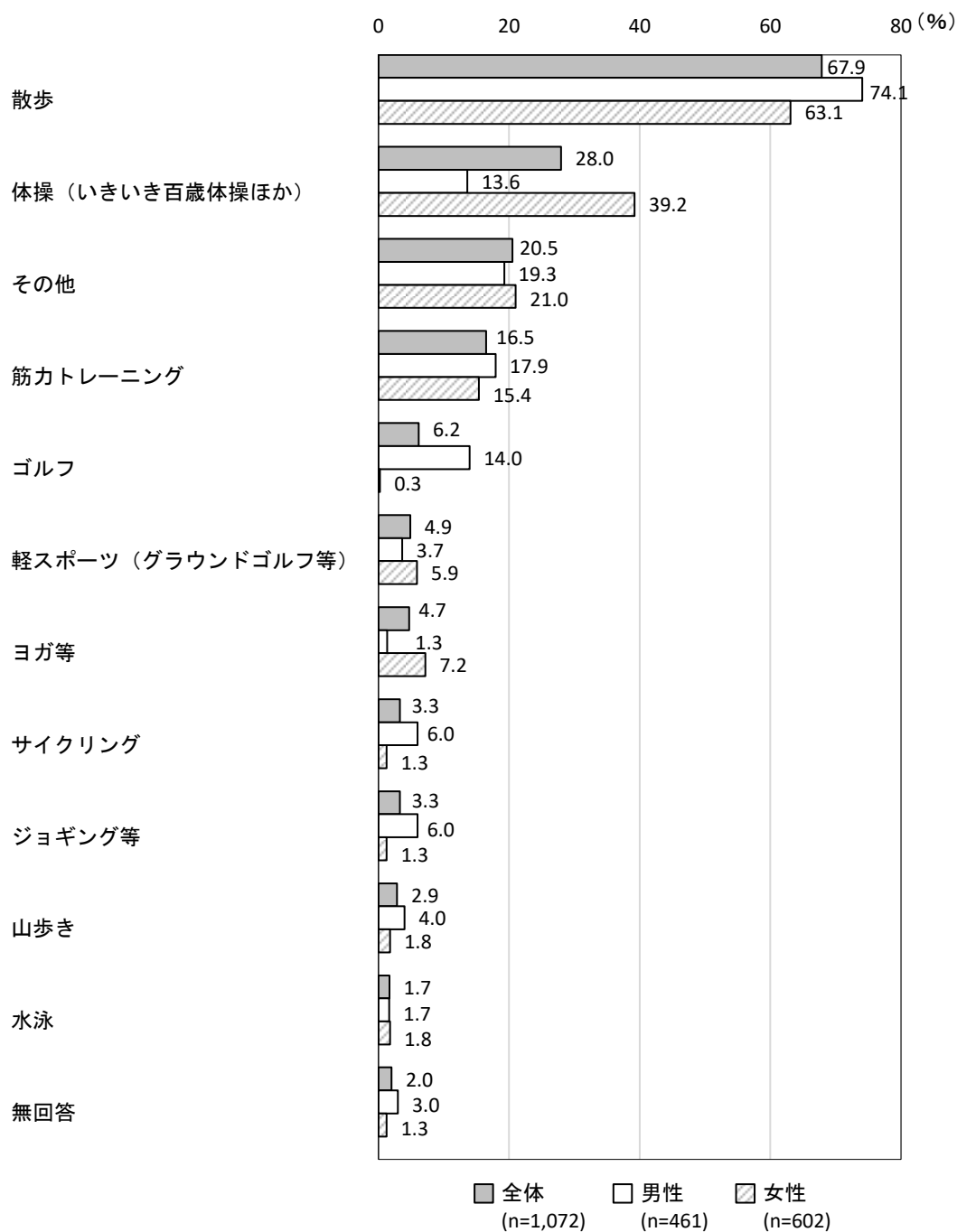
※ 1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(10-1) 定期的に行っている運動

【(10) で「毎日 1 回以上」「週 2～6 回程度」「月 1～4 回程度」を回答された方のみお答えください】

問 定期的に行っている運動は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・定期的に行っている運動は、「全体」では「散歩」が 67.9%と最も高くなっている。
- ・「男性」では「散歩」(74.1%) が「女性」を上回っている。
- ・「女性」では「体操 (いきいき百歳体操ほか)」(39.2%) が「男性」を上回っている。



《年代別》

- ・年代別にみると、85歳以上で「水泳」がその他の年代に比べて高くなっている。

(%)

		回答者数（人）	散歩	体操 （いきいき百歳体操ほか）	その他	筋力トレーニング	ゴルフ	軽スポーツ （グラウンドゴルフ等）	ヨガ等	サイクリング	ジョギング等	山歩き	水泳	無回答
年代別	65～69歳	120	67.5	17.5	18.3	24.2	5.0	1.7	5.0	4.2	0.8	5.0	2.5	0.0
	70～74歳	179	74.9	21.2	18.4	19.0	11.7	3.4	5.6	3.9	3.4	3.4	2.2	1.1
	75～79歳	189	67.2	30.7	20.1	16.9	4.2	3.7	7.4	1.6	3.7	2.1	1.6	2.6
	80～84歳	129	65.1	38.8	24.8	9.3	4.7	11.6	0.8	4.7	4.7	1.6	0.0	3.9
	85歳以上	71	56.3	38.0	23.9	9.9	1.4	5.6	1.4	2.8	4.2	1.4	2.8	2.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・校区别にみると、「南小学校区」が「散歩」の割合が最も高くなっている。

(%)

		回答者数（人）	散歩	体操 （いきいき百歳体操ほか）	その他	筋力トレーニング	ゴルフ	軽スポーツ （グラウンドゴルフ等）	ヨガ等	サイクリング	ジョギング等	山歩き	水泳	無回答
校区别	田原本小学校区	246	68.3	28.9	20.7	15.9	4.1	5.3	4.9	2.4	1.6	1.6	2.4	2.4
	東小学校区	74	64.9	31.1	21.6	21.6	5.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	0.0	1.4
	北小学校区	88	63.6	33.0	26.1	14.8	6.8	10.2	3.4	3.4	4.5	1.1	0.0	1.1
	南小学校区	133	74.4	23.3	18.0	12.0	8.3	2.3	4.5	5.3	3.0	3.8	2.3	2.3
	平野小学校区	137	65.7	29.2	18.2	20.4	8.0	3.6	5.8	2.9	5.8	3.6	1.5	1.5
	わからない	12	58.3	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3

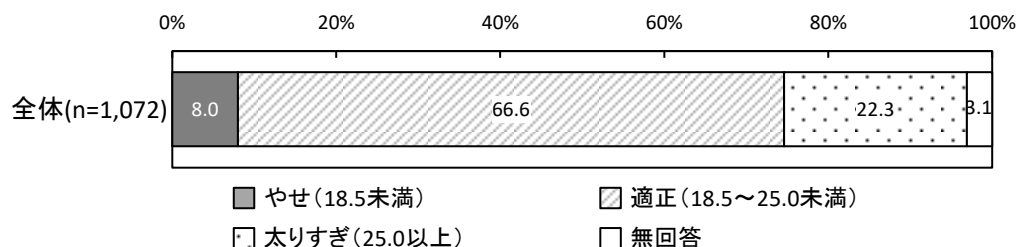
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

4. 食べることにについて

(1) 身長・体重 ※BMI 算出

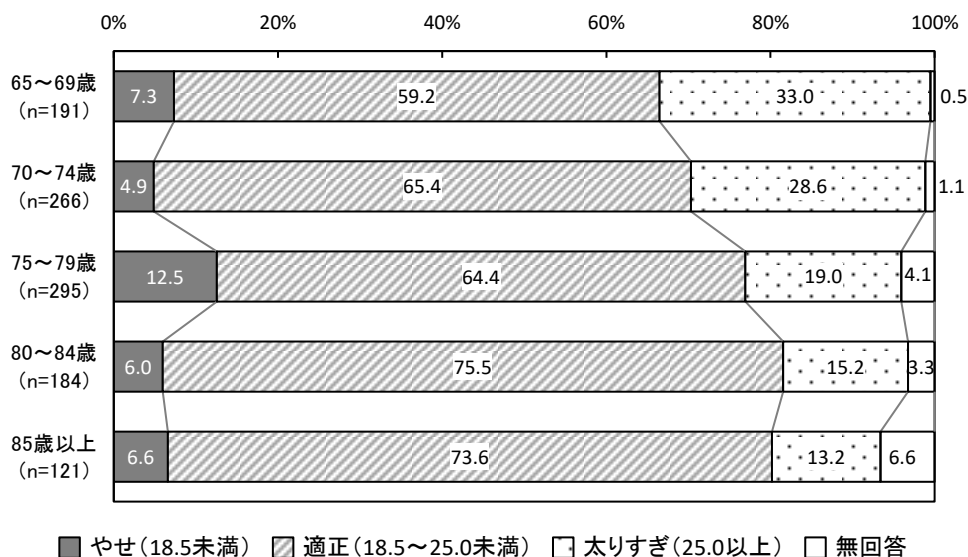
問 あなたの身長と体重を教えてください。(数字を記入)

- 身長・体重から BMI を算出すると、「適正（18.5～25.0 未満）」が 66.6%と約7割を占めているものの、「やせ（18.5 未満）」は 8.0%、「太りすぎ（25.0 以上）」は 22.3%となっている。



《年代別》

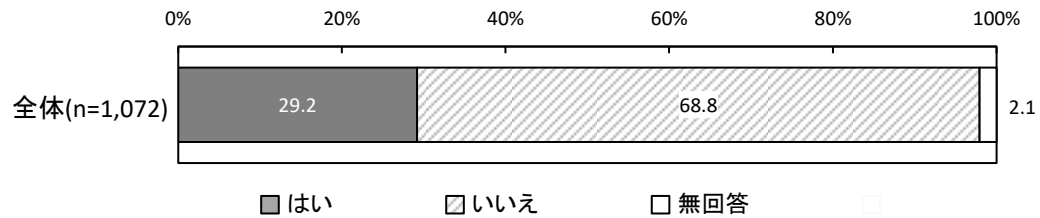
- 年代別にみると、年代が下がるにつれて「太りすぎ（25.0 以上）」が高くなっており、65～69 歳では3割を超えている。
- また、75～79 歳で「やせ（18.5 未満）」が（12.5%）と1割を超えており、その他の年代に比べてやや高くなっている。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

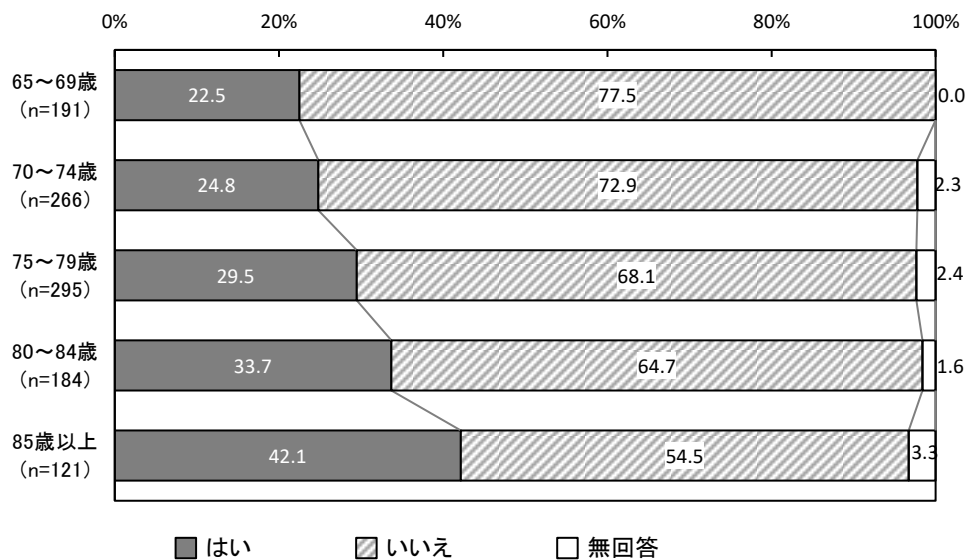
問 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(ひとつだけ○)

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「いいえ（食べにくくはなっていない）」が68.8%と7割近くを占め、「はい（食べにくくなった）」は29.2%となっている。



《年代別》

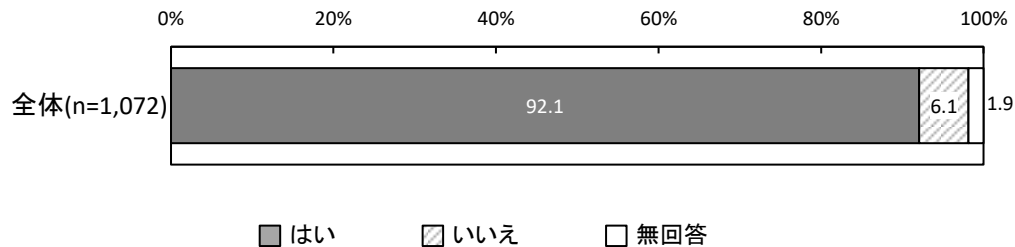
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「はい（食べにくくなった）」が高くなっており、85歳以上では4割を超えている。



(3) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているか

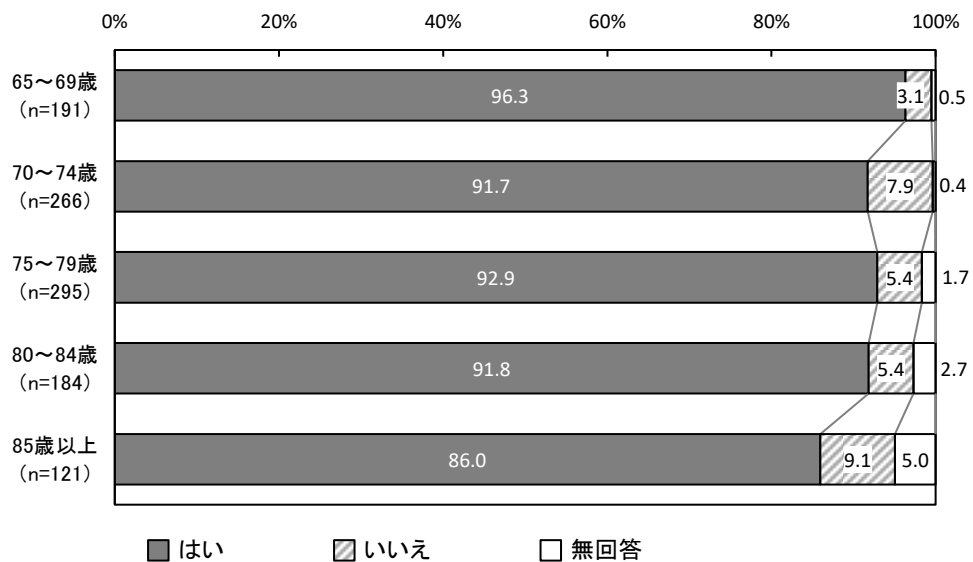
問 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（ひとつだけ○）

- 毎日の歯磨きは、「はい（している）」が92.1%と9割を超え、「いいえ（していない）」は6.1%となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「はい（している）」が高くなっている。
- 85歳以上で「いいえ（していない）」が9.1%と1割近くとなっており、その他の年代に比べてやや高くなっている。

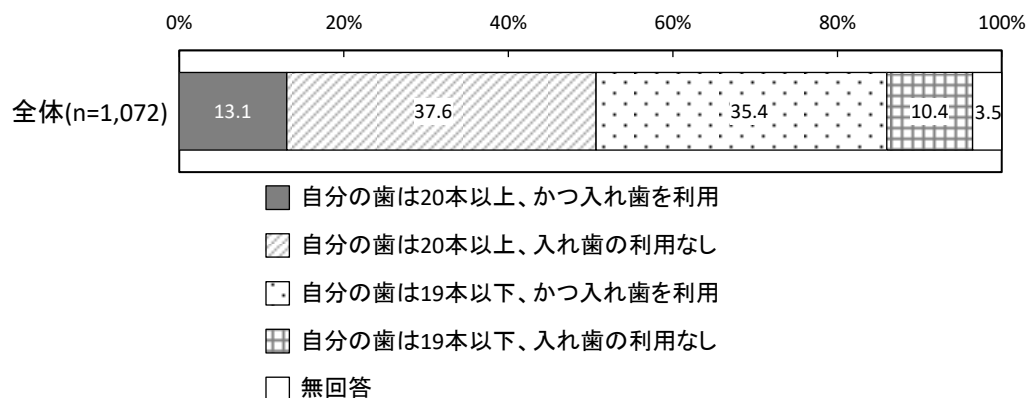


(4) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(ひとつだけ○)

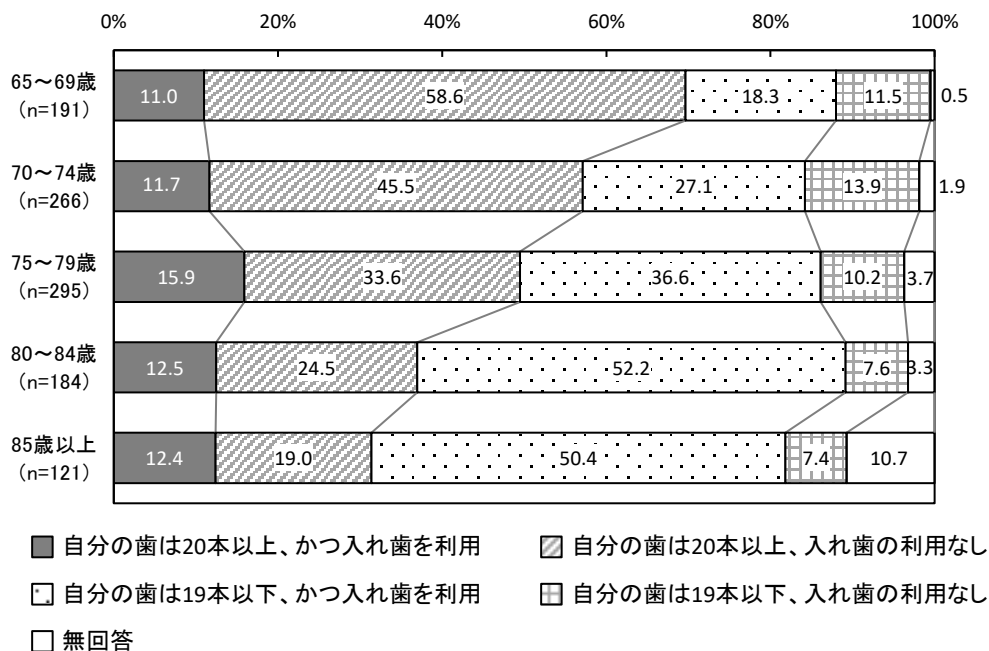
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

- 歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 37.6%と4割近くを占めて最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 35.4%となっている。
- 「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯が 20 本以上』は 50.7%と約半数となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『自分の歯が 20 本以上』が低くなっており、85 歳以上では約 3 割となっている。

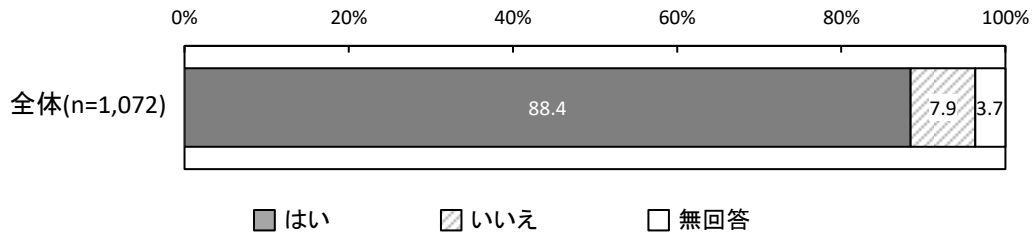


(4-1) 毎日の入れ歯の手入れの有無

【(4)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人のみお答えください】

問 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(ひとつだけ○)

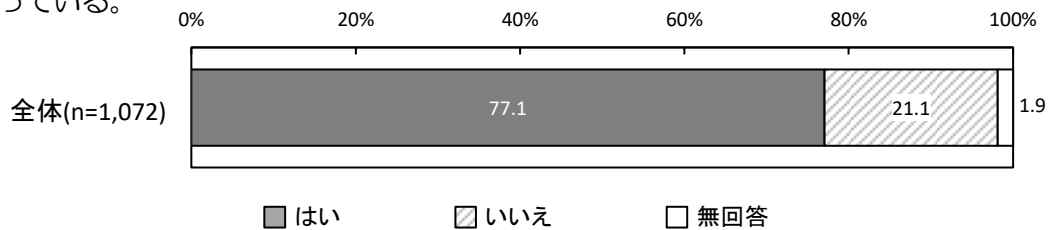
- ・入れ歯を利用している人の毎日の手入れの状況は、「はい(している)」が88.4%と9割近くを占め、「いいえ(していない)」は7.9%となっている。



(5) 噛み合わせは良いか

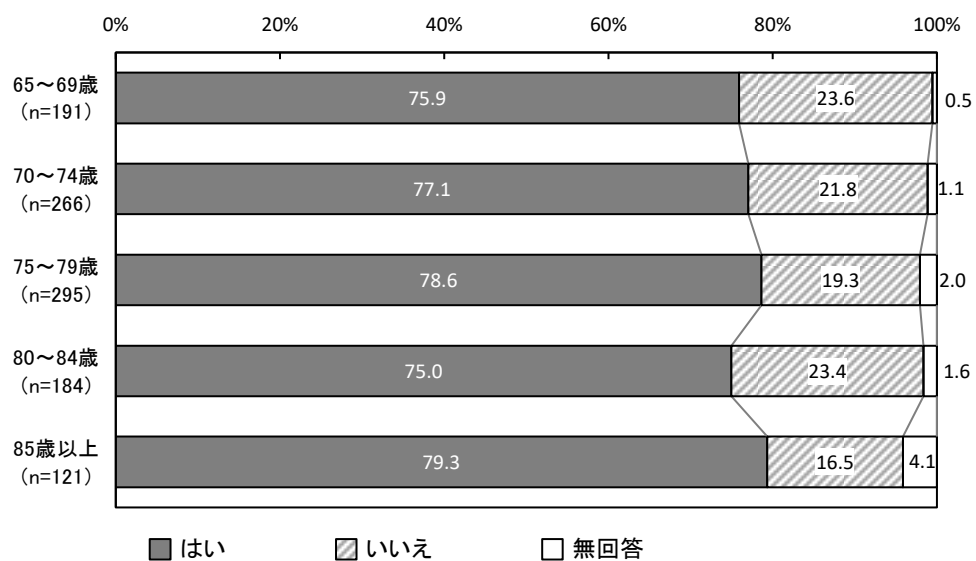
問 噛み合わせは良いですか。(ひとつだけ○)

- ・噛み合わせは良いかは、「はい(良い)」が77.1%と約8割を占め、「いいえ(良くない)」は21.1%となっている。



《年代別》

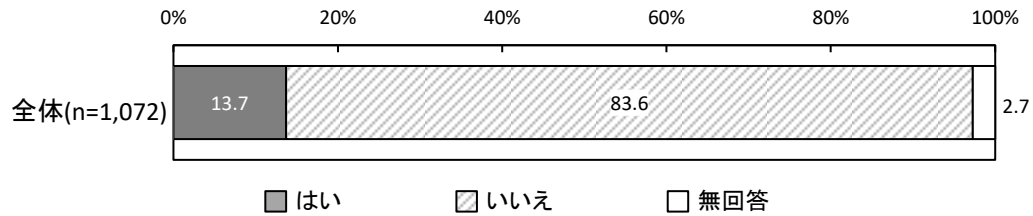
- ・年代別にみると、「いいえ(良くない)」の割合が65～69歳で23.6%、80～84歳で23.4%と、その他の年代に比べてやや高くなっている。



(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか

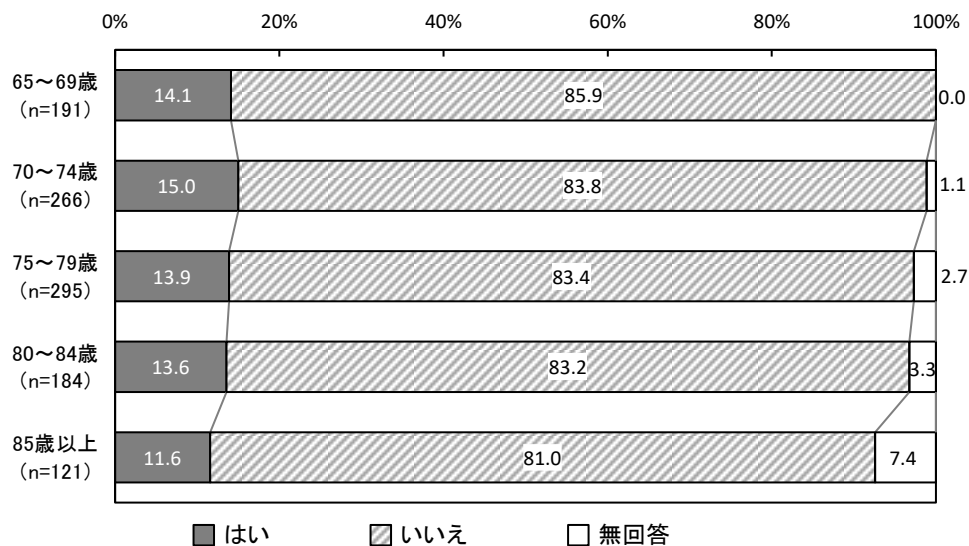
問 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(ひとつだけ○)

- ・6か月間での2～3kg以上の体重減少は、「いいえ（ない）」が83.6%と8割近くを占め、「はい（ある）」は13.7%となっている。



《年代別》

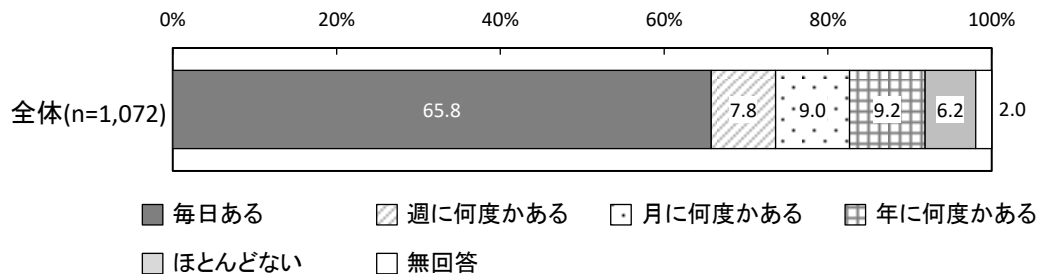
- ・年代別にみると、6か月間での2～3kg以上の体重減少には大きな差異はみられない。



(7) 食事をとにもする機会の有無

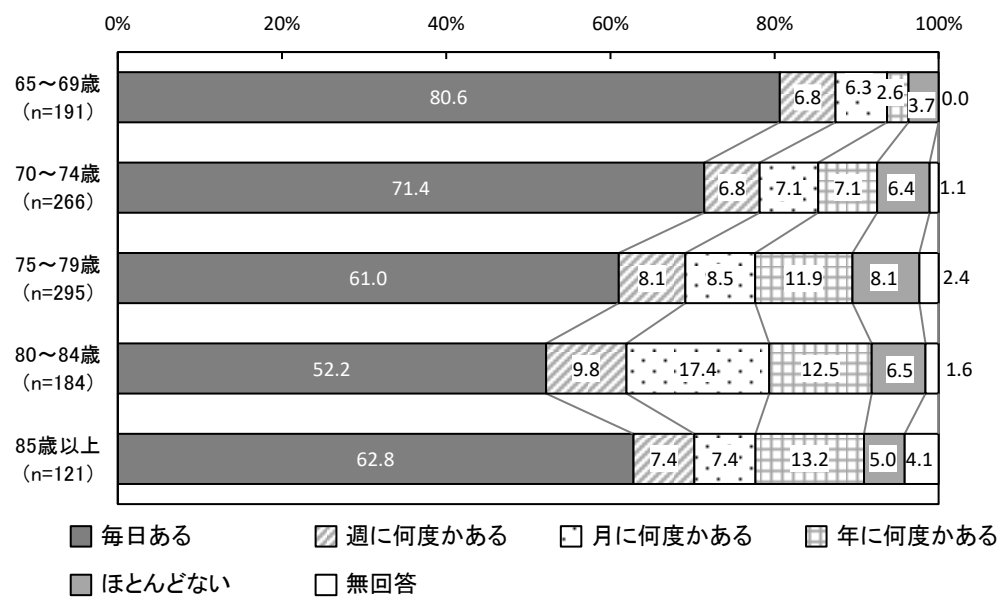
問 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(ひとつだけ○)

- ・食事をとにもする機会は、「毎日ある」が65.8%と6割を超えて最も高くなっている。
- ・一方で、「年に何度かある」が9.2%、「ほとんどない」が6.2%となっており、食事をとにもする機会が『月に1回未満』の人が2割近くとなっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「毎日ある」が高く、年代が上がるにつれて頻度が少なくなっており、75歳以上では『月に1回未満』の人が約2割となっている。

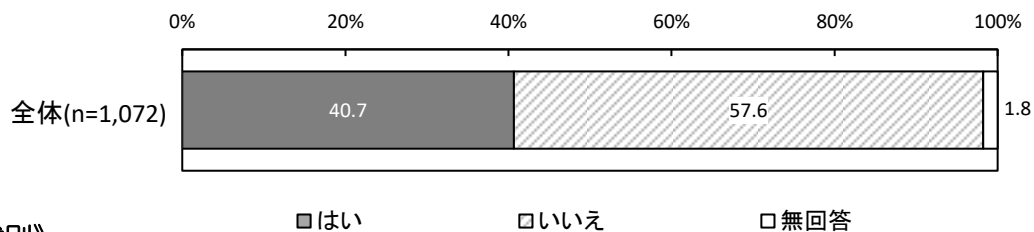


5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

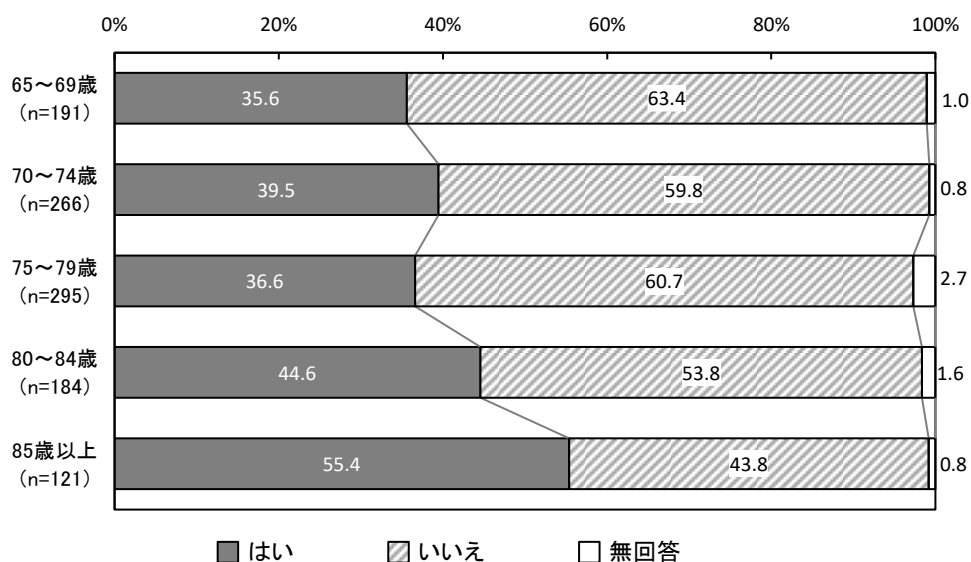
問 物忘れが多いと感じますか。(ひとつだけ○)

- ・物忘れが多いと感じるかは、「いいえ（感じない）」が57.6%と5割を超えており、「はい（感じる）」は40.7%となっている。



《年代別》

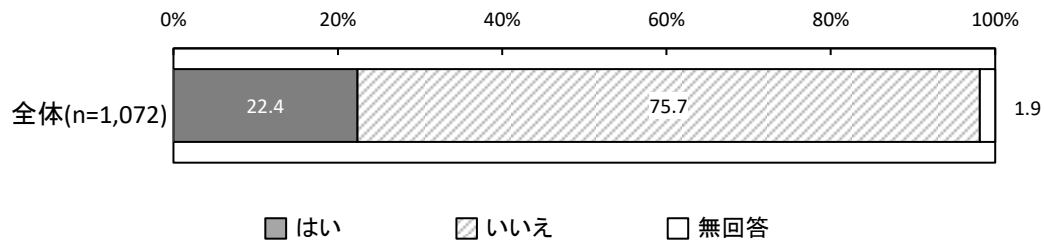
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「はい（感じる）」が高くなる傾向がみられ、85歳以上では55.4%と約5割を占めている。



(2) 今日が何月何日かわからない時があるか

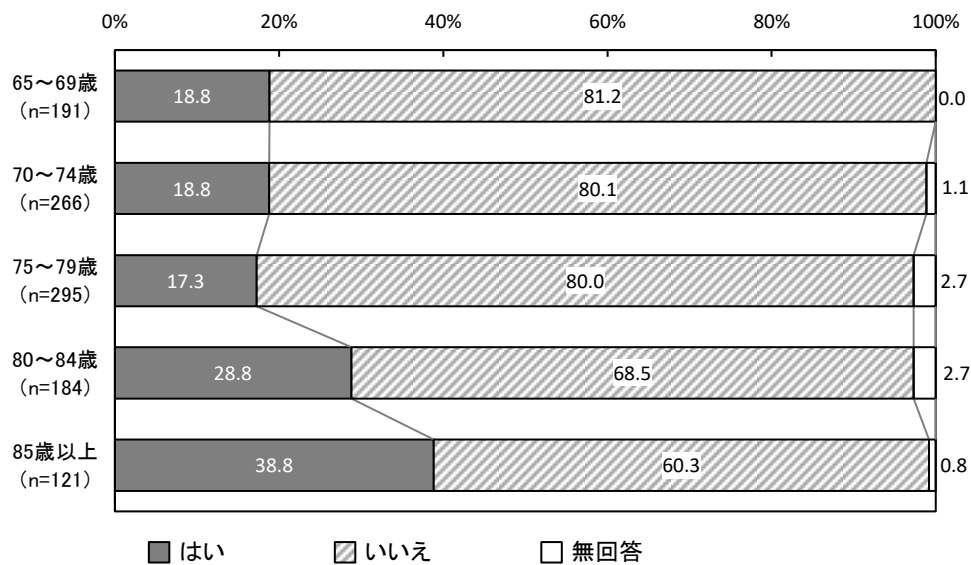
問 今日が何月何日かわからない時がありますか。(ひとつだけ○)

- 今日が何月何日かわからない時があるかは、「いいえ（ない）」が 75.7%と約8割近くを占め、「はい（ある）」は 22.4%となっている。



《年代別》

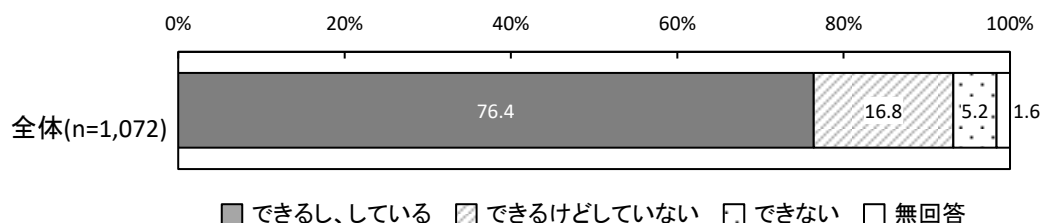
- 年代別にみると、85歳以上で「はい（ある）」が 38.8%と約4割となっており、その他の年代に比べて高くなっている。



(3) タクシーや電車を使って1人で外出しているか

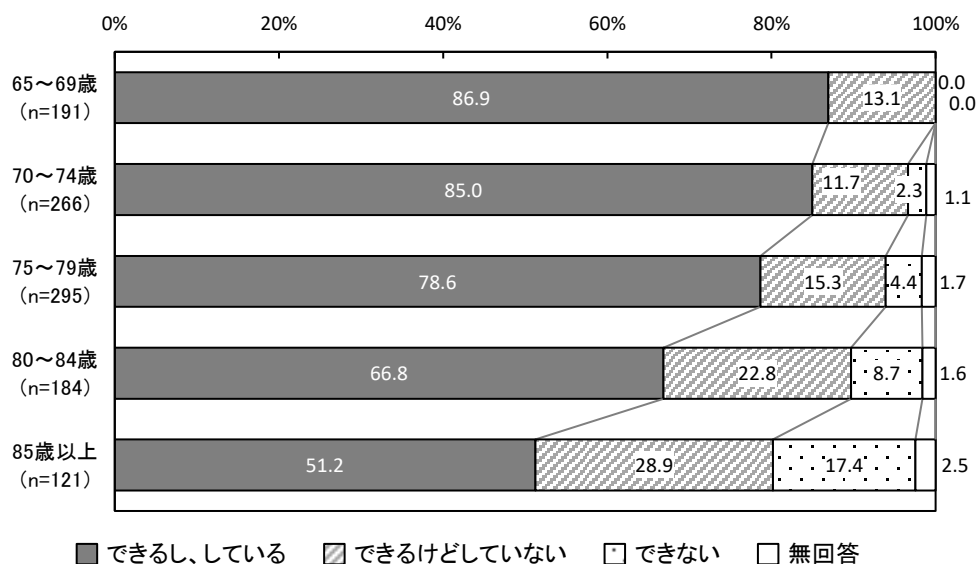
問 タクシーや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（ひとつだけ○）

- ・バスや電車を使って1人で外出しているかは、「できるし、している」が76.4%と7割を超え、「できるけどしていない」（16.8%）と合わせると『できる』が9割を超えている。
- ・一方で、「できない」は5.2%となっている。



《年代別》

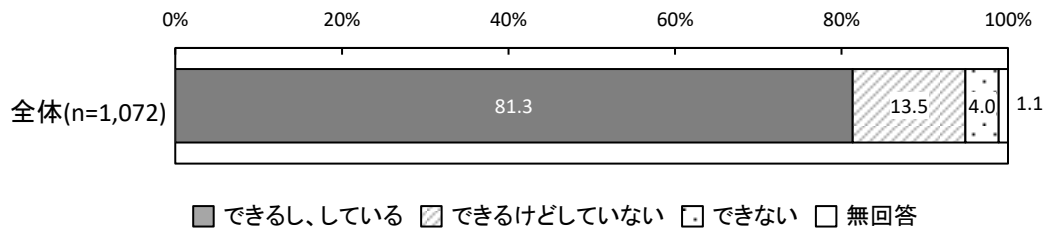
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、85歳以上では1割を超えている。



(4) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

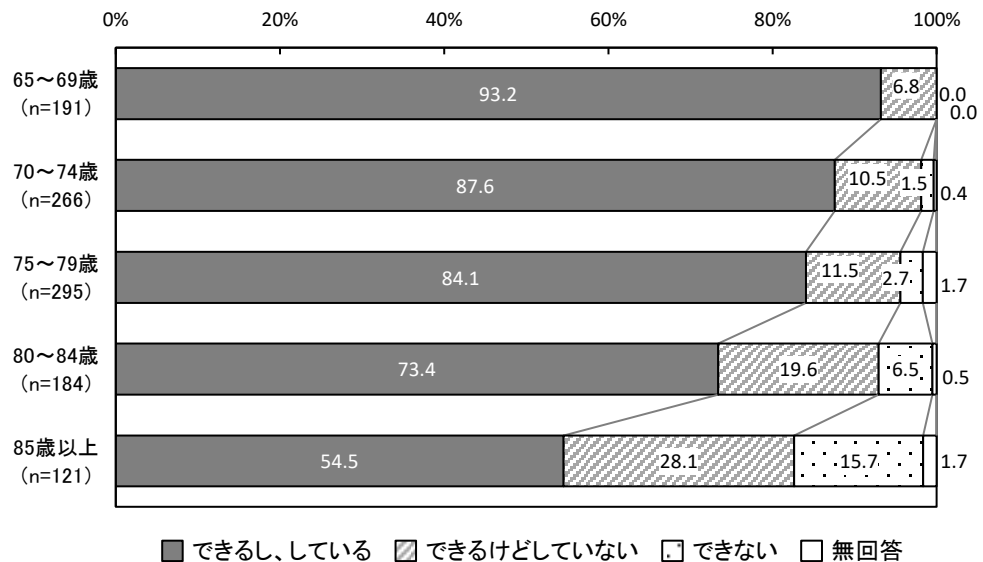
問 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(ひとつだけ○)

- ・自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が 81.3%と8割を超え、「できるけどしていない」(13.5%) と合わせると『できる』がほぼ全数となっている。
- ・一方で、「できない」は 4.0%となっている。



《年代別》

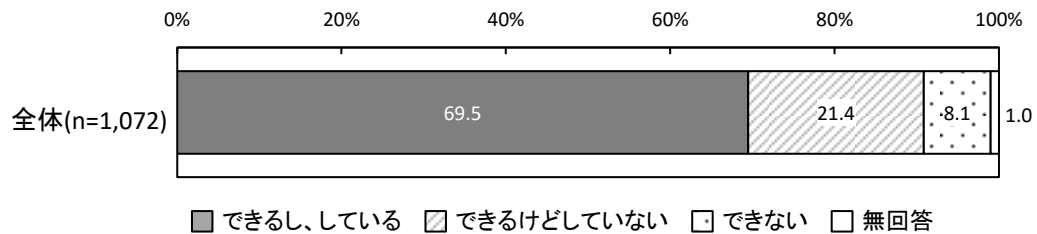
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、85 歳以上では1割以上となっている。



(5) 自分で食事の用意をしているか

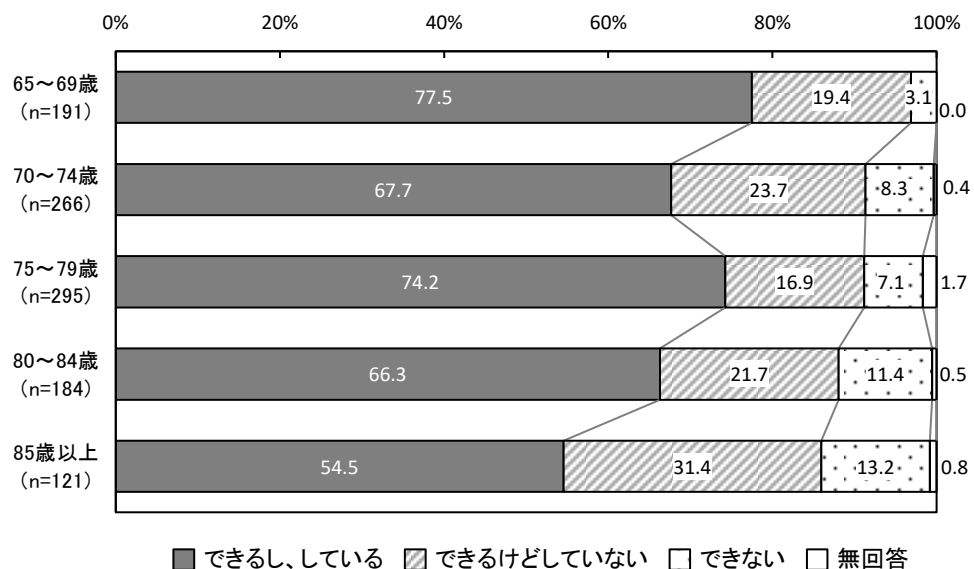
問 自分で食事の用意をしていますか。(ひとつだけ○)

- ・自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が 69.5%と約7割を占め、「できるけどしていない」(21.4%)と合わせると『できる』が9割を超えている。
- ・一方で、「できない」は 8.1%となっている。



《年代別》

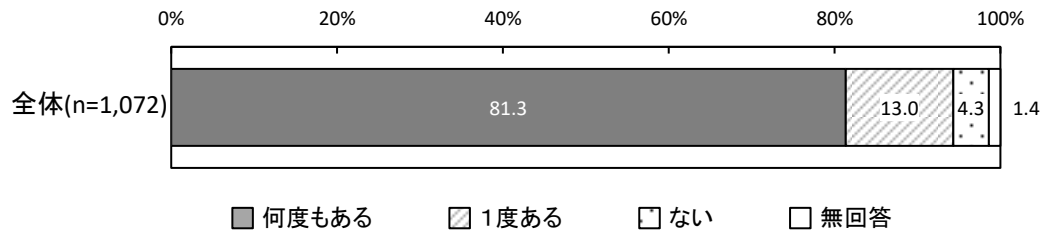
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「できない」が高くなっており、80歳を境に1割を超えている。



(6) 自分で請求書の支払いをしているか

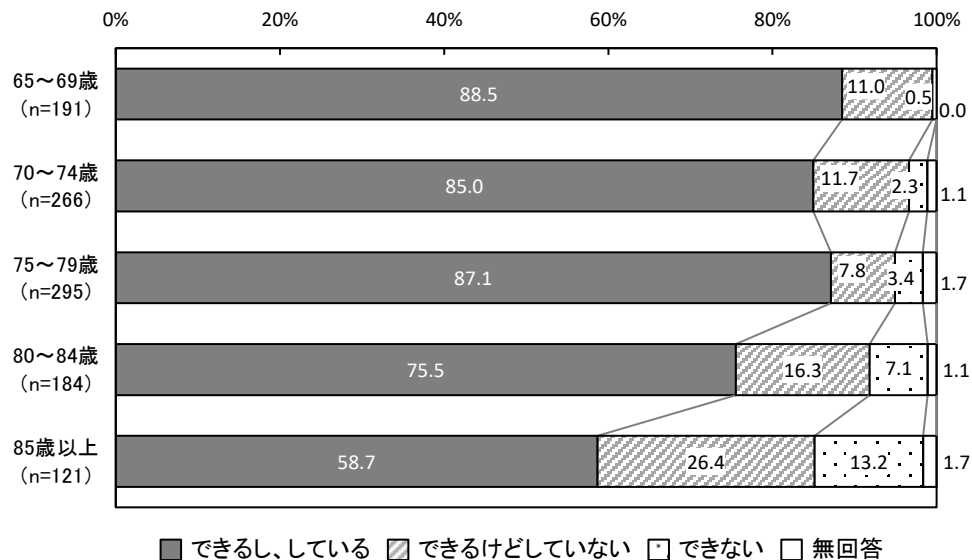
問 自分で請求書の支払いをしていますか。(ひとつだけ○)

- ・自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が 81.3%と8割を超え、「できるけどしていない」(13.0%)と合わせると『できる』がほぼ全数となっている。
- ・一方で、「できない」は 4.3%となっている。



《年代別》

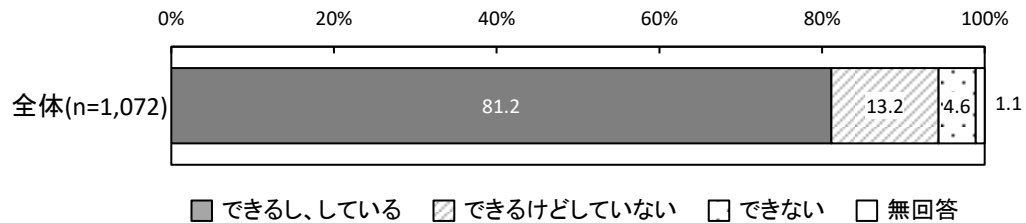
- ・年代別にみると、85歳以上では「できない」が 13.2%と1割以上となっており、その他の年代に比べて高くなっている。



(7) 自分で預貯金の出し入れをしているか

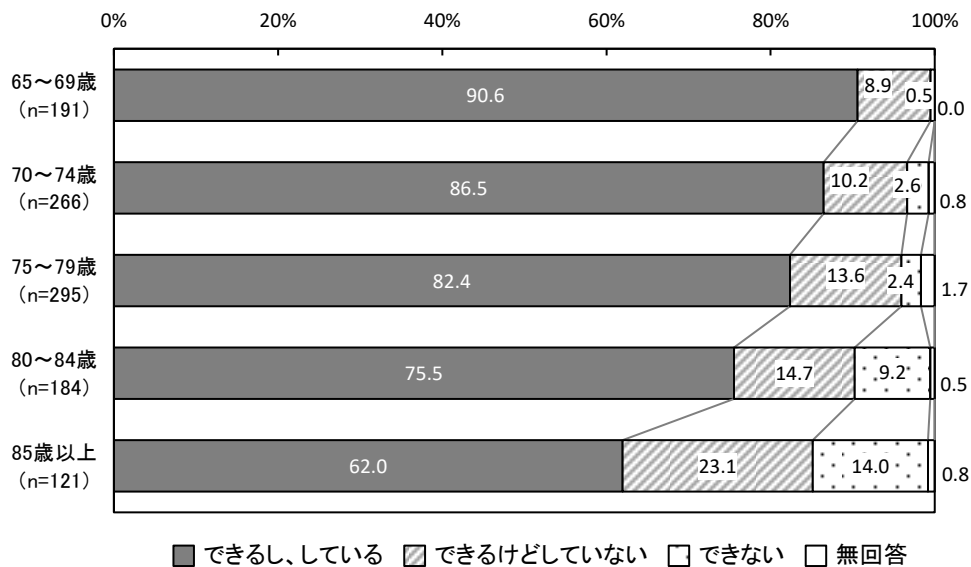
問 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(ひとつだけ○)

- ・自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が 81.2%と8割を超え、「できるけどしていない」(13.2%)と合わせると『できる』が9割を超えている。
- ・一方で、「できない」は 4.6%となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、85歳以上では「できない」が23.1%と2割以上となっており、その他の年代に比べて高くなっている。



6. 地域での活動について

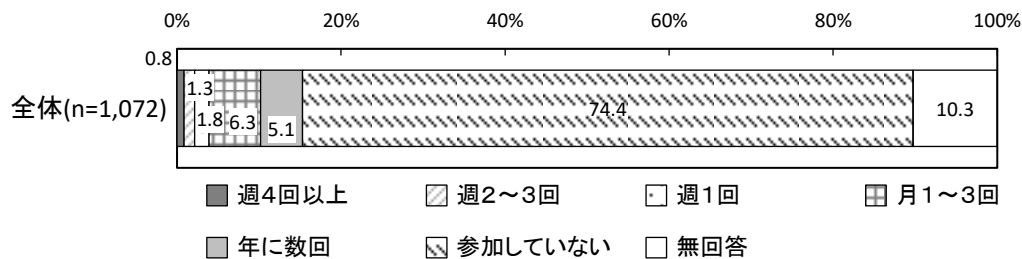
(1) 地域等の会・グループへの参加頻度

問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(〇は1つつ)

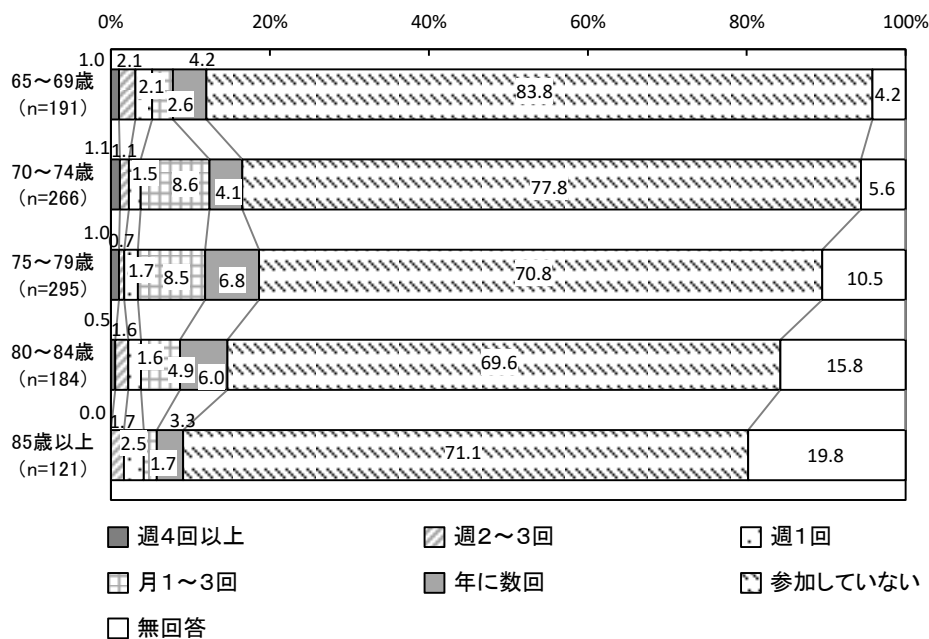
① ボランティアのグループ

- ・ボランティアのグループへの参加状況は、「参加していない」が74.4%と7割を超え、次いで「月1～3回」が6.3%となっており、『月1回以上』参加している人は1割程度となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、『月1回以上』参加している人は70～84歳で1割近くを占めてやや高くなっている。



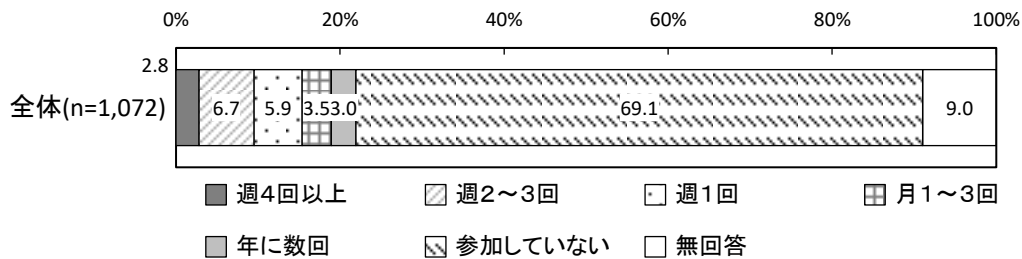
(%)

		回答者数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
年代別	65～69歳	191	1.0	2.1	2.1	2.6	4.2	83.8	4.2
	70～74歳	266	1.1	1.1	1.5	8.6	4.1	77.8	5.6
	75～79歳	295	1.0	0.7	1.7	8.5	6.8	70.8	10.5
	80～84歳	184	0.5	1.6	1.6	4.9	6.0	69.6	15.8
	85歳以上	121	0.0	1.7	2.5	1.7	3.3	71.1	19.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

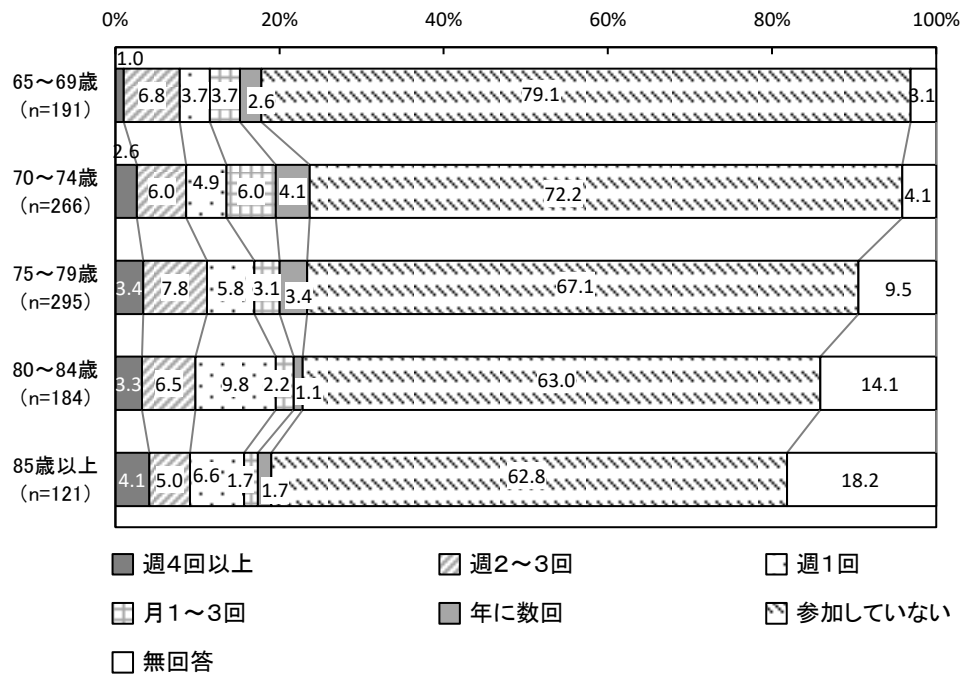
② スポーツ関係のグループやクラブ

- ・スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況は、「参加していない」が69.1%と半数以上を占めている。
- ・「週4回以上」（2.8%）と「週2～3回」（6.7%）、「週1回」（5.9%）とを合わせると、『週1回以上』参加している人が1割を超えている。



《年代別》

- ・年代別にみると、『週1回以上』参加している人は80～84歳で19.6%と最も高くなっている。

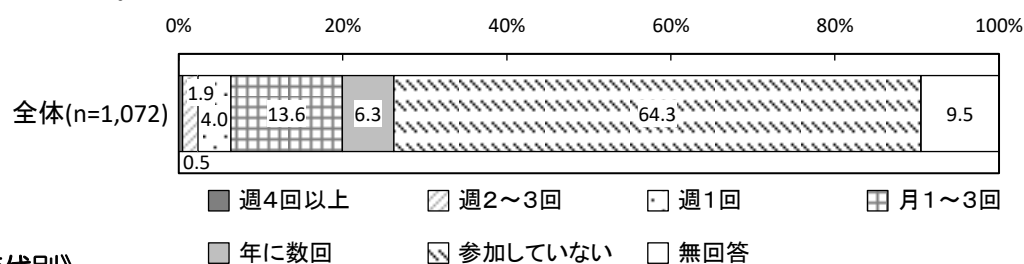


		(%)							
年代別	65～69歳	回答者数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	65～69歳	191	1.0	6.8	3.7	3.7	2.6	79.1	3.1
	70～74歳	266	2.6	6.0	4.9	6.0	4.1	72.2	4.1
	75～79歳	295	3.4	7.8	5.8	3.1	3.4	67.1	9.5
	80～84歳	184	3.3	6.5	9.8	2.2	1.1	63.0	14.1
	85歳以上	121	4.1	5.0	6.6	1.7	1.7	62.8	18.2

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

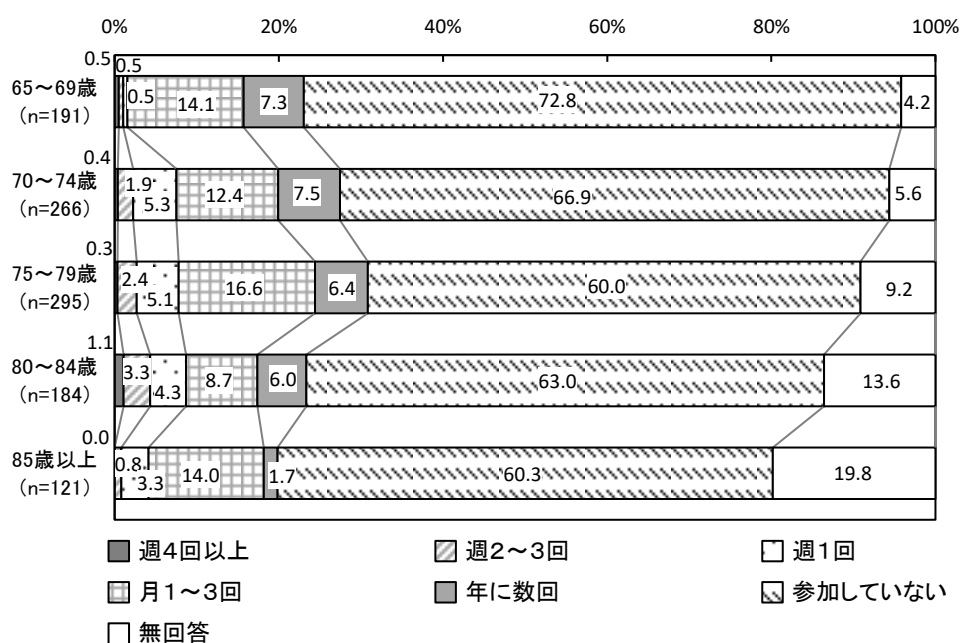
③ 趣味関係のグループ

- 趣味関係のグループへの参加状況は、「参加していない」が64.3%と半数以上を占めている。
- 一方で、「月1～3回」が13.6%と約1割を占め、『月1回以上』参加している人は2割近くとなっている。



《年代別》

- 年代別にみると、『月1回以上』参加している人はすべての年代で2割近くとなっており75～79歳では2割を超えている。



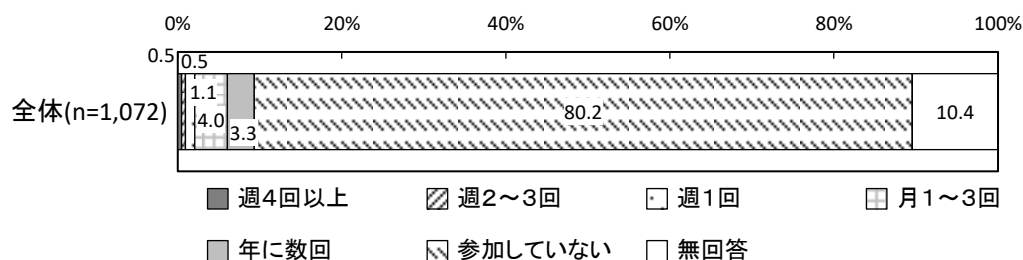
(%)

		回答者数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
年代別	65～69歳	191	0.5	0.5	0.5	14.1	7.3	72.8	4.2
	70～74歳	266	0.4	1.9	5.3	12.4	7.5	66.9	5.6
	75～79歳	295	0.3	2.4	5.1	16.6	6.4	60.0	9.2
	80～84歳	184	1.1	3.3	4.3	8.7	6.0	63.0	13.6
	85歳以上	121	0.0	0.8	3.3	14.0	1.7	60.3	19.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

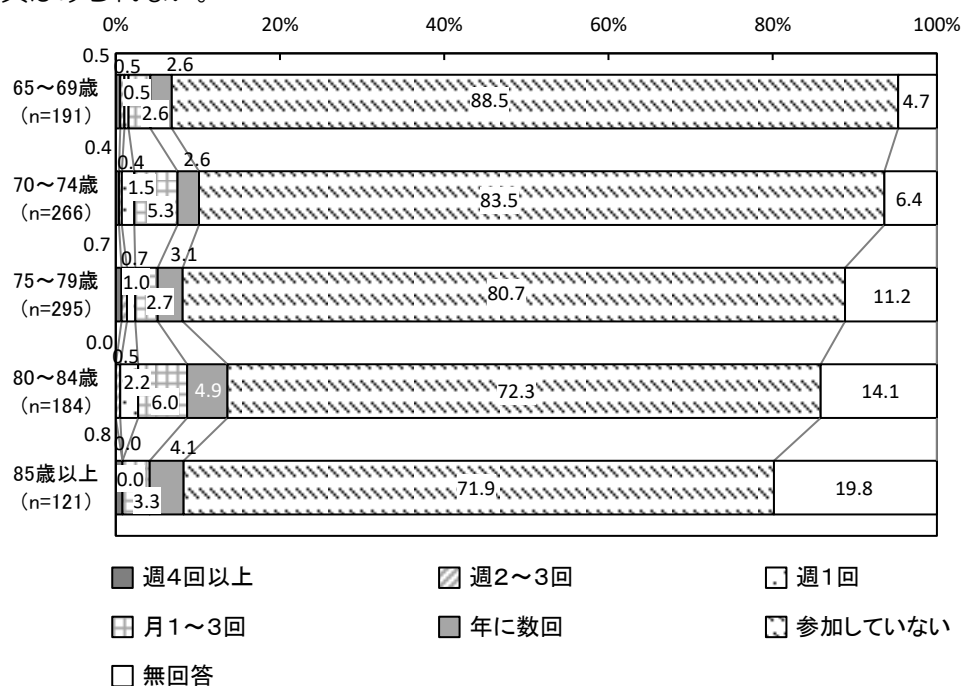
④ 学習・教養サークル

- ・学習・教養サークルへの参加状況は、「参加していない」が80.2%と8割を超え、次いで「月1～3回」が4.0%となっており、『月1回以上』参加している人は1割未満となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、『月1回以上』参加している人はすべての年代で1割未満となっており、大きな差異はみられない。



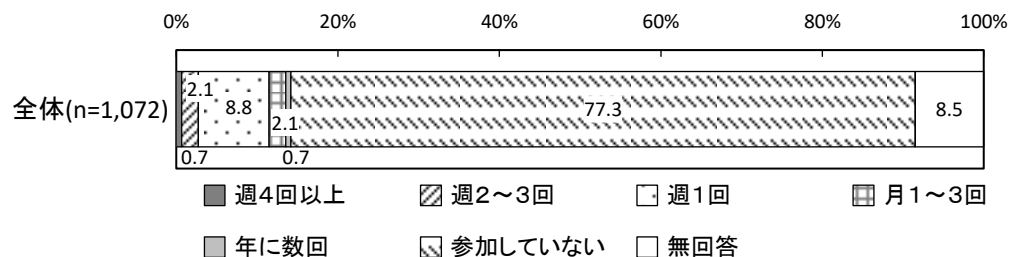
(%)

		回答者数（人）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
年代別	65～69歳	191	0.5	0.5	0.5	2.6	2.6	88.5	4.7
	70～74歳	266	0.4	0.4	1.5	5.3	2.6	83.5	6.4
	75～79歳	295	0.7	0.7	1.0	2.7	3.1	80.7	11.2
	80～84歳	184	0.0	0.5	2.2	6.0	4.9	72.3	14.1
	85歳以上	121	0.8	0.0	0.0	3.3	4.1	71.9	19.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

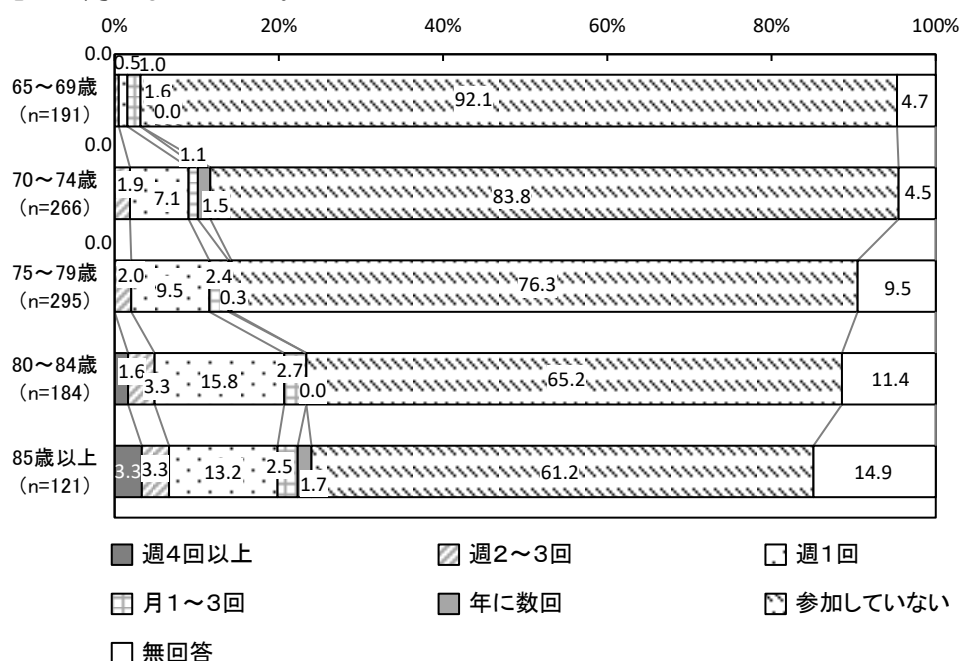
⑤ いきいき百歳体操等の介護予防のための通いの場

- いきいき百歳体操等の介護予防のための通いの場への参加状況は、「参加していない」が77.3%と7割を超えており、『参加している』人は2割未満となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、『週1回以上』参加している人は80歳以上で約2割となっており、その他の年代に比べて高くなっている。



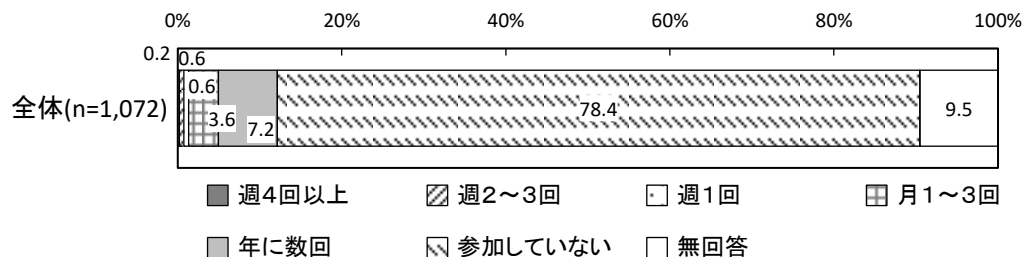
(%)

		回答者数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
年代別	65～69歳	191	0.0	0.5	1.0	1.6	0.0	92.1	4.7
	70～74歳	266	0.0	1.9	7.1	1.1	1.5	83.8	4.5
	75～79歳	295	0.0	2.0	9.5	2.4	0.3	76.3	9.5
	80～84歳	184	1.6	3.3	15.8	2.7	0.0	65.2	11.4
	85歳以上	121	3.3	3.3	13.2	2.5	1.7	61.2	14.9

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

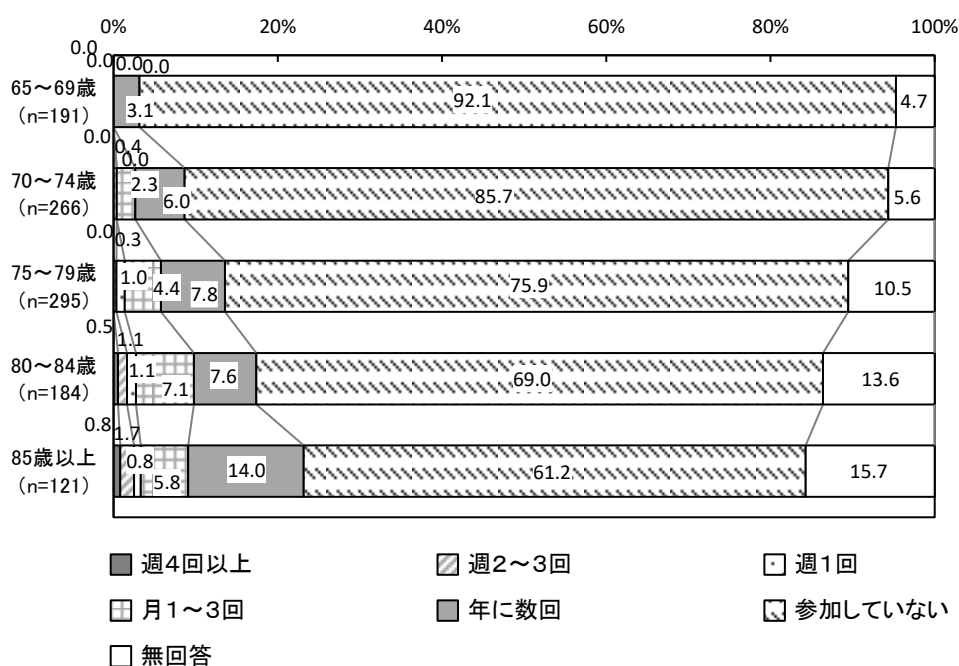
⑥ 老人クラブ

- 老人クラブへの参加状況は、「参加していない」が78.4%と7割を超え、次いで「年に数回」が7.2%となっており、『月1回以上』参加している人は1割未満となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「年に数回」が高くなる傾向となっており、85歳以上では『参加している』人が約2割となっている。



(%)

		回答者数 (人)	週4回以上	週1回	週2～3回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
年代別	65～69歳	191	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	92.1	4.7
	70～74歳	266	0.0	0.0	0.4	2.3	6.0	85.7	5.6
	75～79歳	295	0.0	1.0	0.3	4.4	7.8	75.9	10.5
	80～84歳	184	0.5	1.1	1.1	7.1	7.6	69.0	13.6
	85歳以上	121	0.8	0.8	1.7	5.8	14.0	61.2	15.7

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・校区别にみると、「田原本小学校区」が「参加していない」の割合が最も高くなっている。

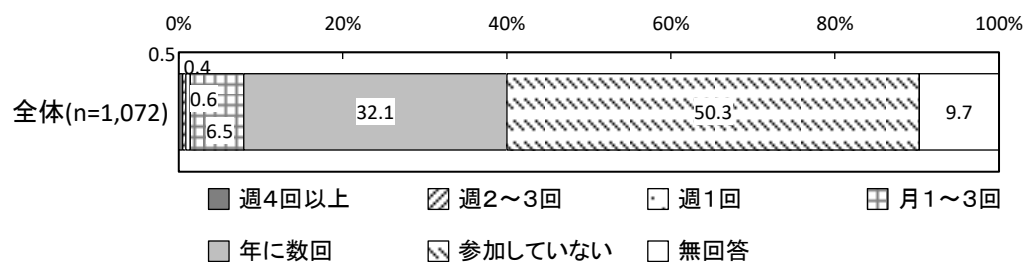
(%)

		回答者数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
校区别	田原本小学校区	372	0.3	0.5	0.8	3.8	3.5	83.9	7.3
	東小学校区	109	0.0	0.0	0.0	7.3	16.5	66.1	10.1
	北小学校区	139	0.7	1.4	0.7	4.3	15.8	72.7	4.3
	南小学校区	205	0.0	0.5	0.5	2.9	3.4	80.5	12.2
	平野小学校区	207	0.0	0.5	0.5	2.4	7.7	77.3	11.6
	わからない	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.2	14.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

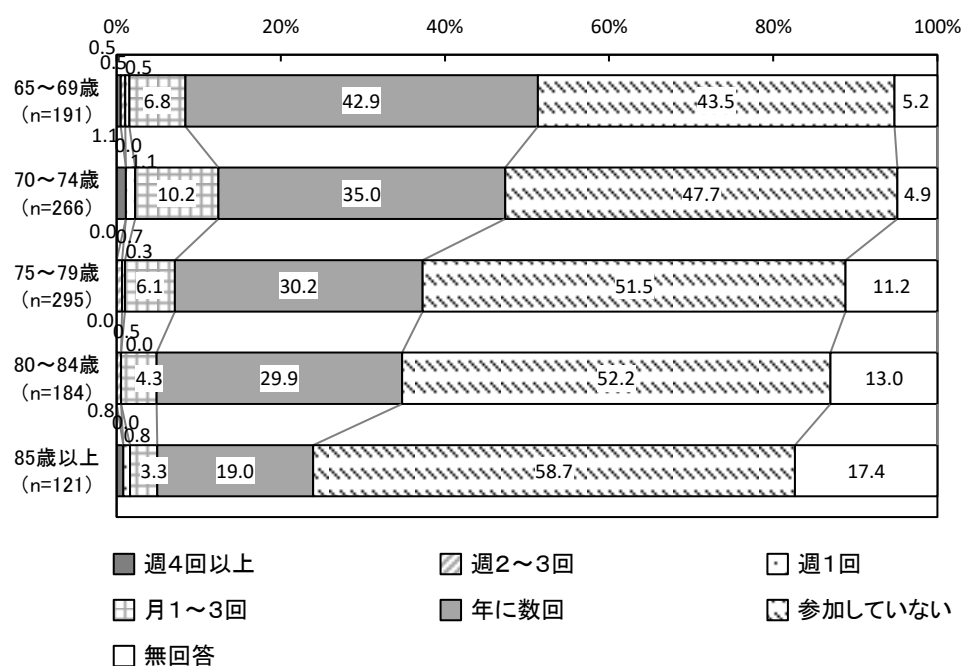
⑦ 町内会・自治会

- ・町内会・自治会への参加状況は、「参加していない」が50.3%と5割近くを占めているものの、次いで「年に数回」が32.1%となっており、『参加している』人が4割を超えている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『参加している』人が少なくなっており、65～79歳では4割近くを占めているのに対し、85歳以上では約2割となっている。



(%)

		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 1 回	週 2 ～ 3 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
年 代 別	65～69歳	191	0.5	0.5	0.5	6.8	42.9	43.5	5.2
	70～74歳	266	1.1	1.1	0.0	10.2	35.0	47.7	4.9
	75～79歳	295	0.0	0.3	0.7	6.1	30.2	51.5	11.2
	80～84歳	184	0.0	0.0	0.5	4.3	29.9	52.2	13.0
	85歳以上	121	0.8	0.8	0.0	3.3	19.0	58.7	17.4

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・校區別にみると、「平野小学校区」が「参加していない」の割合が最も高くなっている。

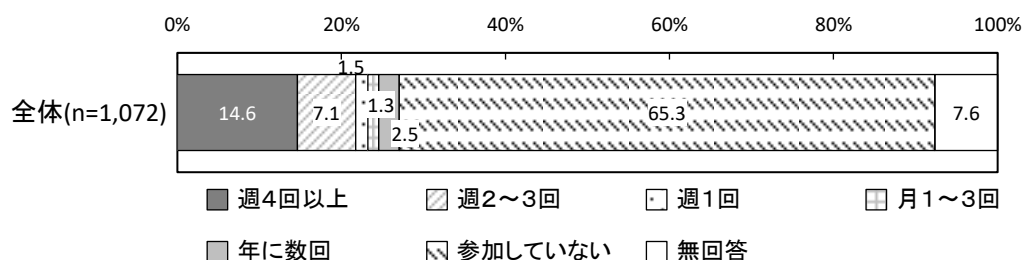
(%)

		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
校 区 別	田原本小学校区	372	0.5	0.8	1.1	5.9	33.3	49.7	8.6
	東小学校区	109	0.9	0.0	0.0	4.6	39.4	44.0	11.0
	北小学校区	139	0.7	0.0	0.7	8.6	37.4	48.2	4.3
	南小学校区	205	0.5	0.5	0.0	8.3	34.6	46.3	9.8
	平野小学校区	207	0.0	0.0	0.5	5.8	23.7	57.5	12.6
	わからない	27	0.0	0.0	0.0	7.4	14.8	66.7	11.1

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

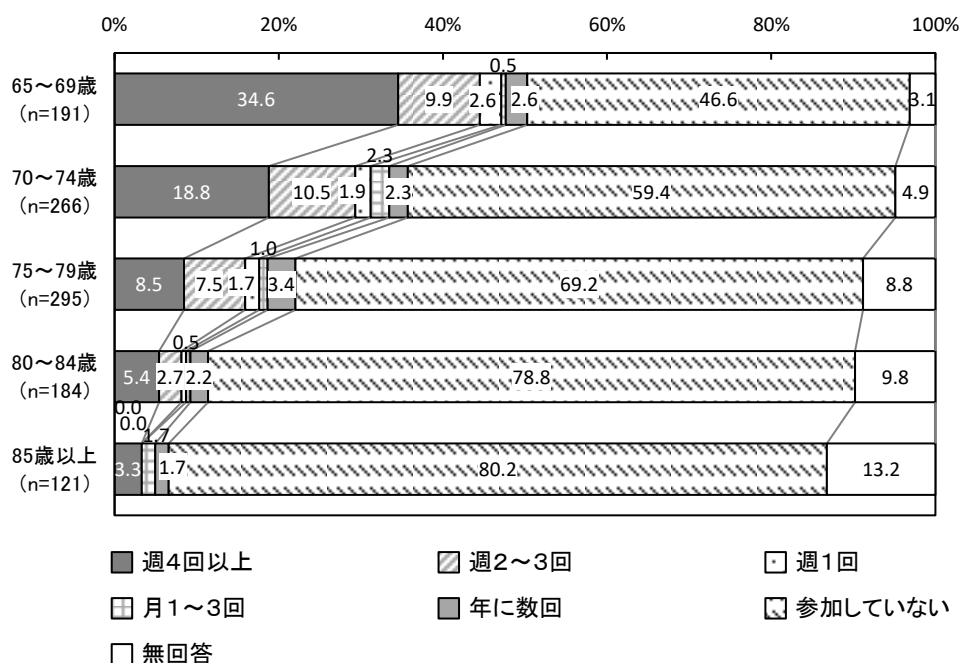
⑧ 収入のある仕事

- 収入のある仕事では、「参加していない」が65.3%と半数以上を占めているものの、次いで「週4回以上」が14.6%となっており、「週2～3回」(7.1%)と「週1回」(1.5%)を合わせると、『週1回以上』参加している人が2割近くを占めている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて『週1回以上』参加している人が多くなっており、65～69歳では5割近くを占めている。



		(%)							
年代別	65～69歳	回答者数 (人)	週4回以上	週1回	週2～3回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	65～69歳	191	34.6	2.6	9.9	0.5	2.6	46.6	3.1
	70～74歳	266	18.8	1.9	10.5	2.3	2.3	59.4	4.9
	75～79歳	295	8.5	1.7	7.5	1.0	3.4	69.2	8.8
	80～84歳	184	5.4	0.5	2.7	0.5	2.2	78.8	9.8
	85歳以上	121	3.3	0.0	0.0	1.7	1.7	80.2	13.2

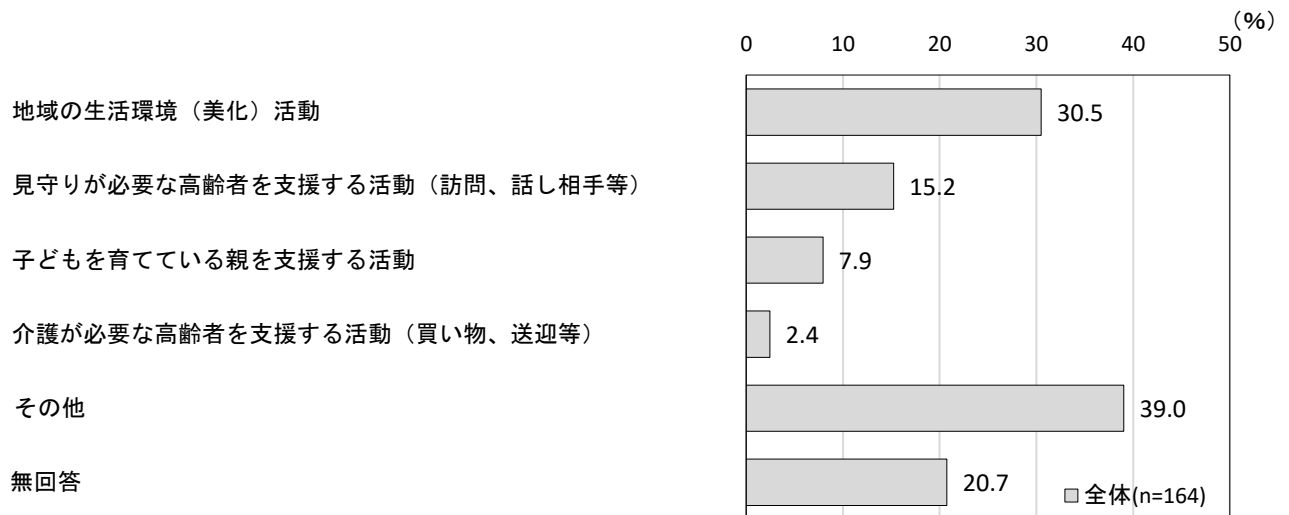
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

（１－１）参加しているボランティア活動の内容

【（１）①で「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月１～３回」「年に数回」のいずれかを回答された方のみお答えください】

問 ボランティアではどのような活動をしていますか。（〇はいくつでも）

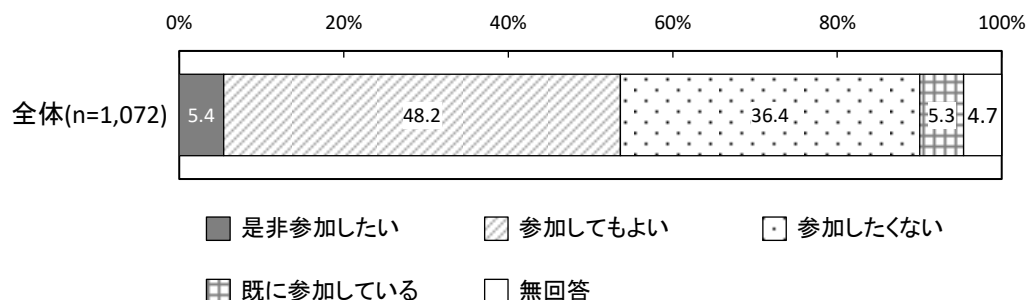
- ・参加しているボランティア活動の内容は、「地域の生活環境（美化）活動」が30.5%と３割を超えて最も高く、次いで「見守りが必要な高齢者を支援する活動（訪問、話し相手等）」（15.2%）、「子どもを育てている親を支援する活動」（7.9%）の順となっている。



(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向

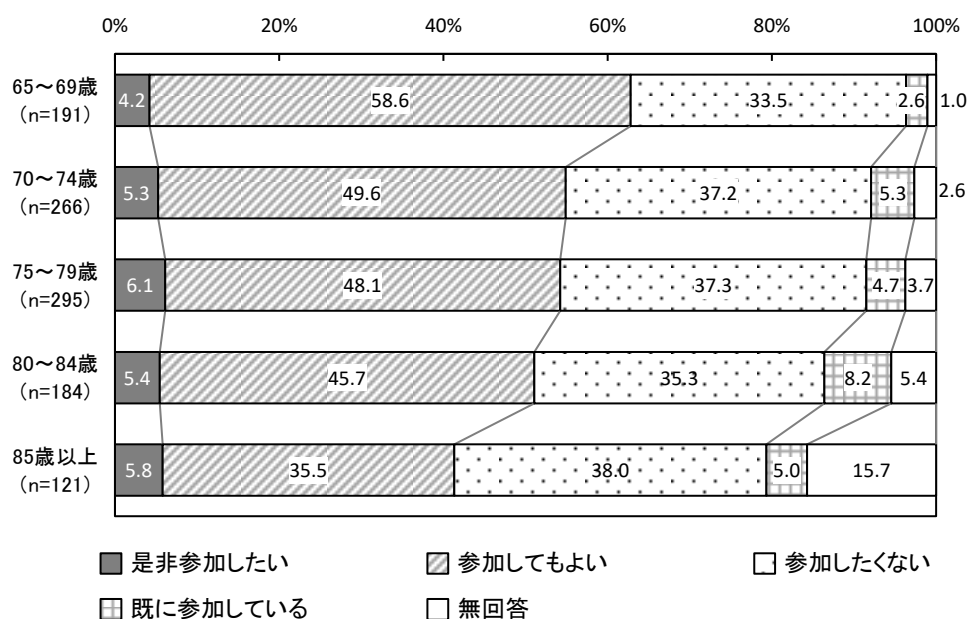
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(ひとつだけ○)

- 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向は、「参加してもよい」が48.2%と約5割を占め、「是非参加したい」(5.4%)と合わせると『参加したい』が5割を超えている。



《年代別》

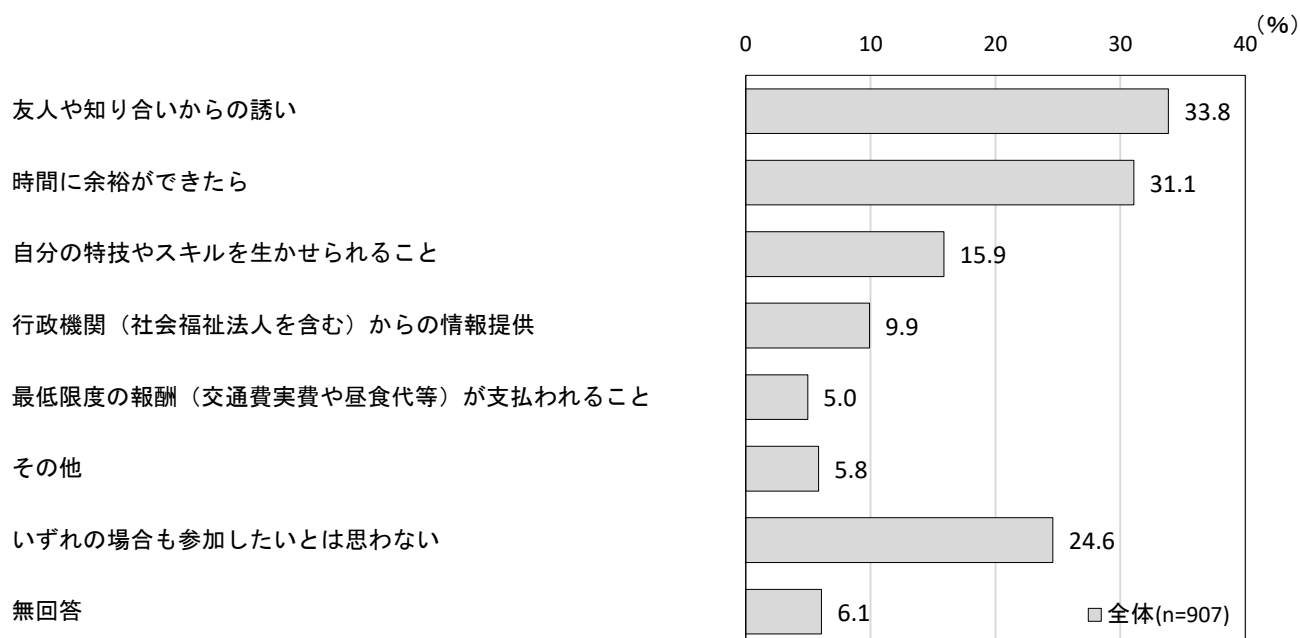
- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて『参加したい』が高くなっており、65～69歳では62.8%となっている。



(2-1) 参加するためのきっかけ

【(2)で「参加してもよい」または「参加したくない」を回答された方のみお答えください】
問 どのようなきっかけがあれば、参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・参加するためのきっかけでは、「友人や知り合いからの誘い」が33.8%と3割を超えて最も高く、次いで「時間に余裕ができたら」(31.1%)、「自分の特技やスキルを生かされること」(15.9%)、「行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供」(9.9%)の順となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「時間に余裕ができたら」や「自分の特技やスキルを生かされること」などが高くなる傾向がみられる。

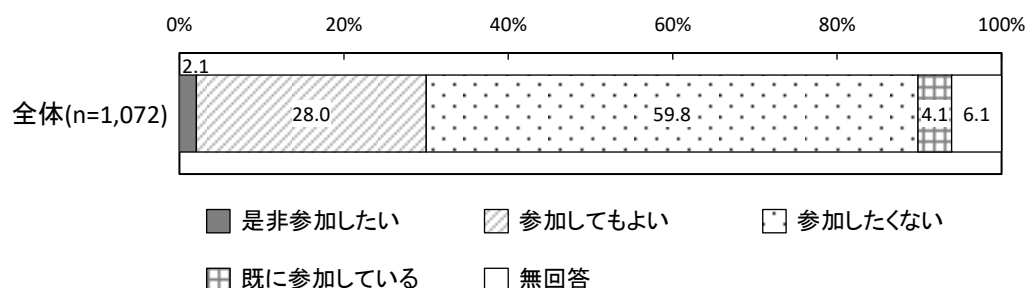
		(%)								
		回答者数(人)	友人や知り合いからの誘い	時間に余裕ができたら	自分の特技やスキルを生かされること	行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供	最低限度の報酬(交通費実費や昼食代等)が支払われること	その他	いずれの場合も参加したいとは思わない	無回答
年代別	65～69歳	176	34.1	48.9	19.9	9.1	6.8	5.7	17.6	3.4
	70～74歳	231	34.2	40.3	17.3	13.0	7.8	5.2	22.5	3.0
	75～79歳	252	34.1	26.2	14.3	8.7	4.4	6.0	24.6	7.5
	80～84歳	149	30.9	16.8	14.8	8.1	2.7	6.7	26.2	10.1
	85歳以上	89	37.1	12.4	10.1	11.2	0.0	6.7	39.3	5.6

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向

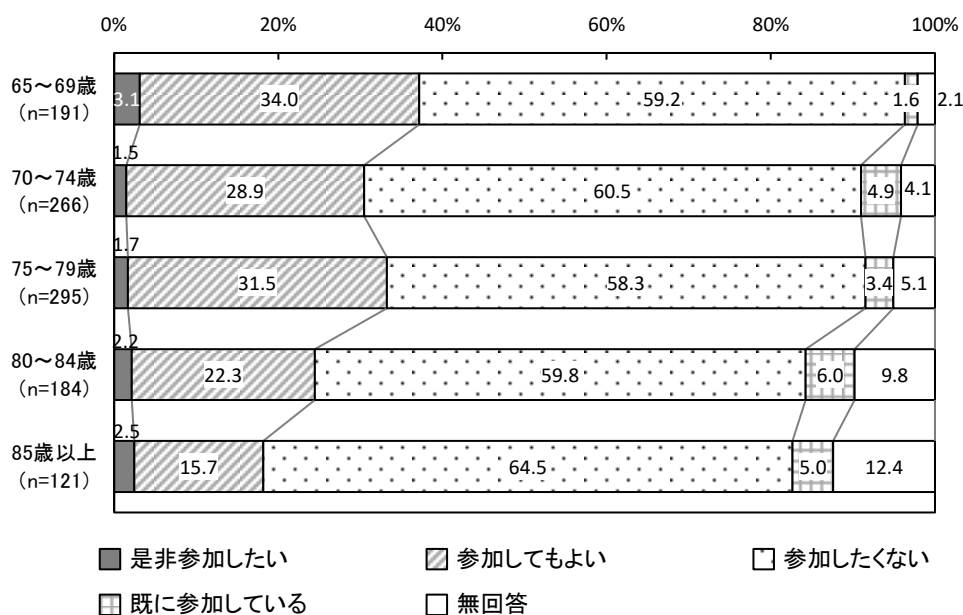
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（ひとつだけ○）

- 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向は、「参加したくない」が59.8%と半数を超えて最も高く、「是非参加したい」（2.1%）と「参加してもよい」（28.0%）を合わせた『参加したい』が約3割となっている。



《年代別》

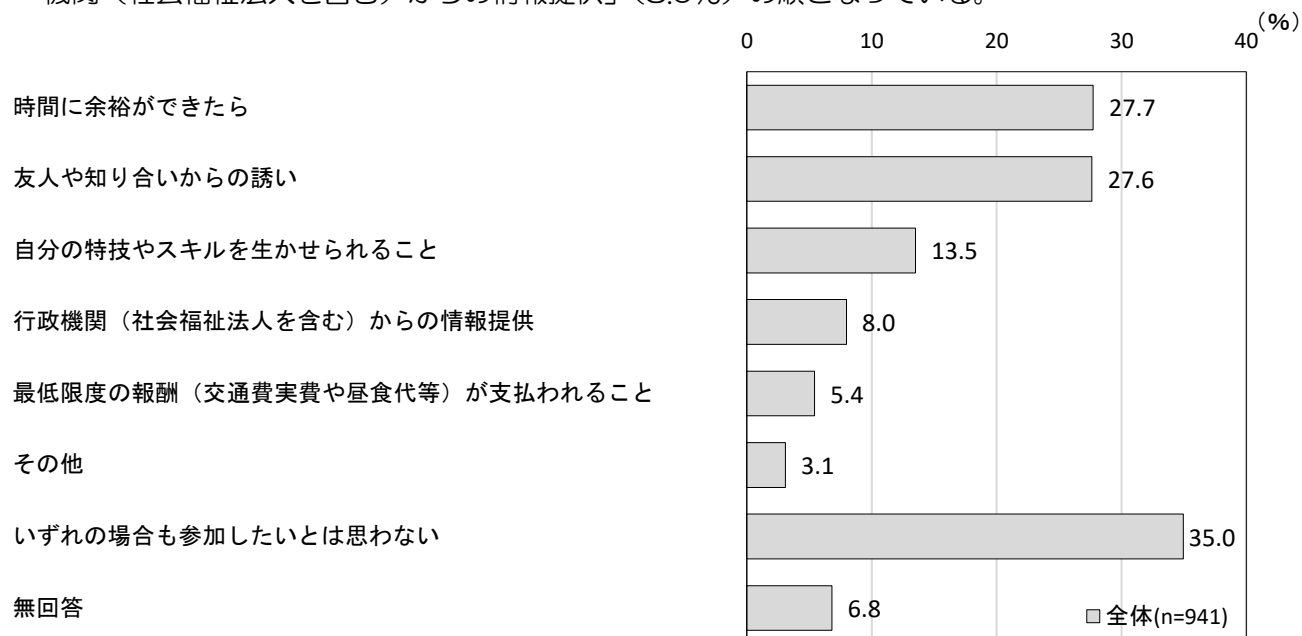
- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて『参加したい』が高くなっており、65～79歳で約4割近くとなっている。



(3-1) 参加するためのきっかけ

【(3)で「参加してもよい」または「参加したくない」を回答された方のみお答えください】
問 どのようなきっかけがあれば、参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・参加するためのきっかけでは、「時間に余裕ができれば」が27.7%で最も高く、次いで「友人や知り合いからの誘い」(27.6%)、「自分の特技やスキルを生かされること」(13.5%)、「行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供」(8.0%)の順となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「時間に余裕ができれば」や「自分の特技やスキルを生かされること」などが高くなる傾向がみられる。

		(%)								
		回答者数(人)	友人や知り合いからの誘い	時間に余裕ができれば	自分の特技やスキルを生かされること	行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供	最低限度の報酬(交通費実費や昼食代等)が支払われること	その他	いずれの場合も参加したいとは思わない	無回答
年代別	65～69歳	178	30.3	46.1	22.5	5.6	9.0	2.2	28.1	1.7
	70～74歳	238	29.8	33.2	11.8	10.9	8.0	2.9	31.1	4.2
	75～79歳	265	28.3	24.9	9.8	8.7	4.5	3.4	35.5	6.0
	80～84歳	151	22.5	13.9	15.2	7.3	1.3	2.6	40.4	11.9
	85歳以上	97	24.7	11.3	9.3	5.2	1.0	5.2	47.4	14.4

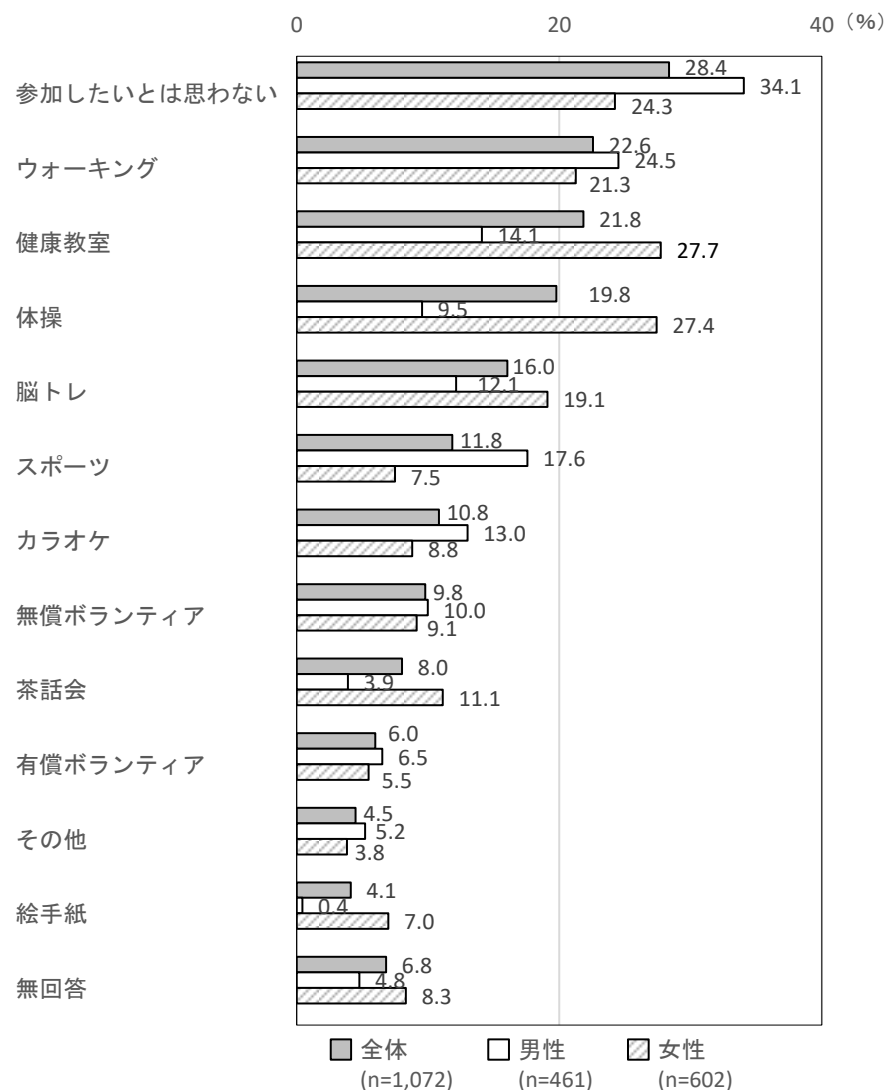
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 参加してみたいと思う健康づくり活動や趣味等のグループ活動

問 参加してみたいと思う健康づくり活動や趣味等のグループ活動はありますか。

(○はいくつでも)

- ・参加してみたいと思う健康づくり活動は、「全体」では「参加したいとは思わない」が28.4%と最も高くなっている。
- ・「男性」では「スポーツ」(17.6%)が「女性」を上回っている。
- ・「女性」では「体操」(27.4%)が「男性」を上回っている。



《年代別》

- ・年代別にみると、80歳以上で「いずれも参加したいとは思わない」が最も高くなっている。

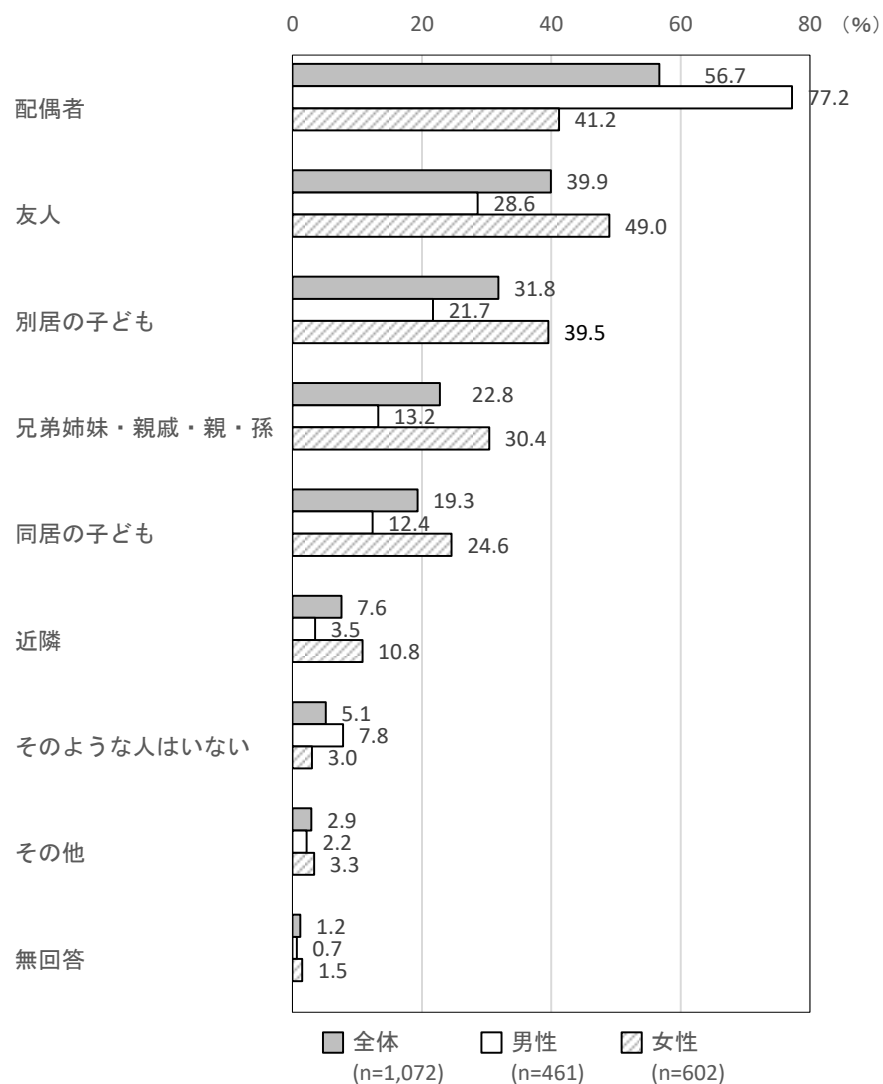
		回答者数(人)	参加したいとは思わない	ウォーキング	健康教室	体操	脳トレ	スポーツ	カラオケ	無償ボランティア	茶話会	有償ボランティア	その他	絵手紙	無回答
年代別	65～69歳	191	27.2	25.7	14.7	22.0	17.3	18.3	5.2	15.7	6.3	12.0	6.3	4.2	3.7
	70～74歳	266	25.9	29.7	25.2	20.3	17.3	13.9	7.1	12.0	7.1	7.5	3.0	4.9	3.4
	75～79歳	295	26.4	21.4	23.4	18.3	18.0	10.5	14.6	7.8	7.1	5.1	4.1	3.4	7.8
	80～84歳	184	29.3	19.6	21.7	19.6	13.0	6.5	14.1	6.0	12.0	1.6	3.8	3.8	10.3
	85歳以上	121	38.0	9.9	22.3	19.0	12.4	8.3	12.4	3.3	8.3	0.8	6.6	5.0	11.6

7. 助け合いについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人を教えてください。(〇はいくつでも)

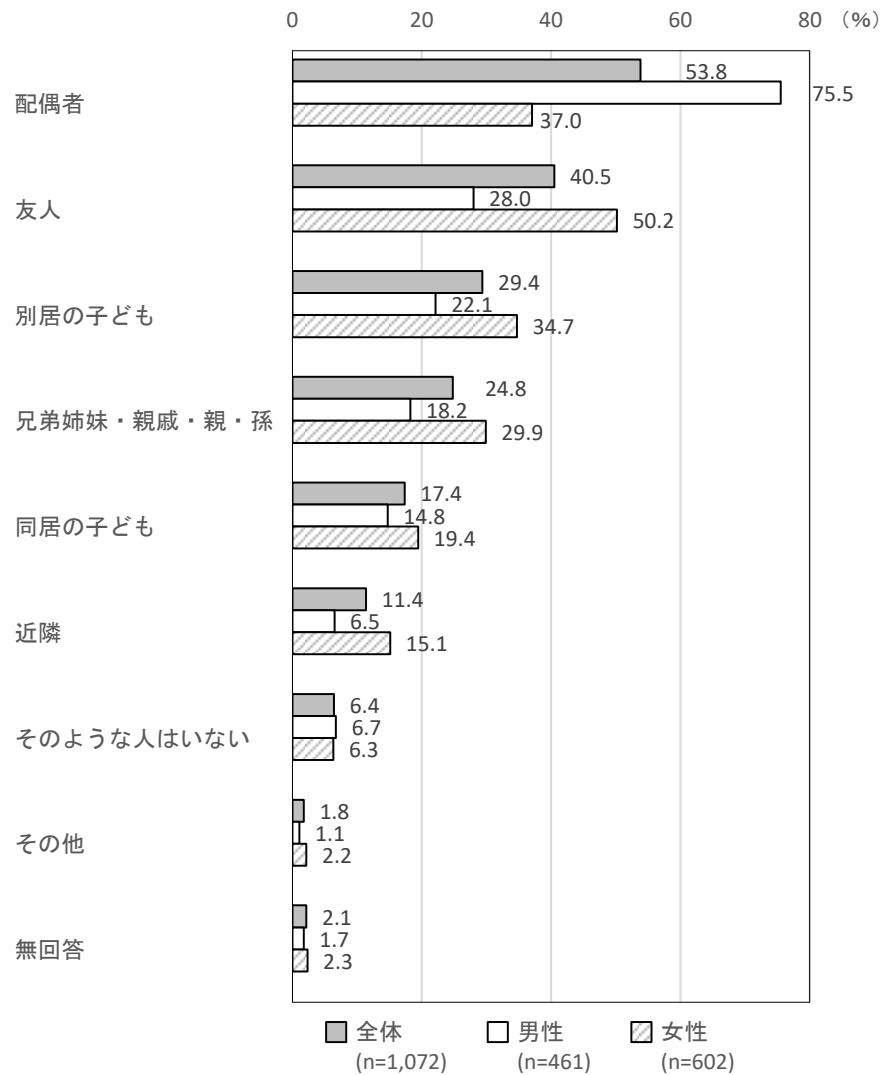
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「全体」では「配偶者」が56.7%と最も高くなっている。
- 「男性」では「そのような人はいない」(7.8%)が「女性」を上回っている。
- 「女性」では、概ねの項目で「男性」を上回っている。



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人を教えてください。(〇はいくつでも)

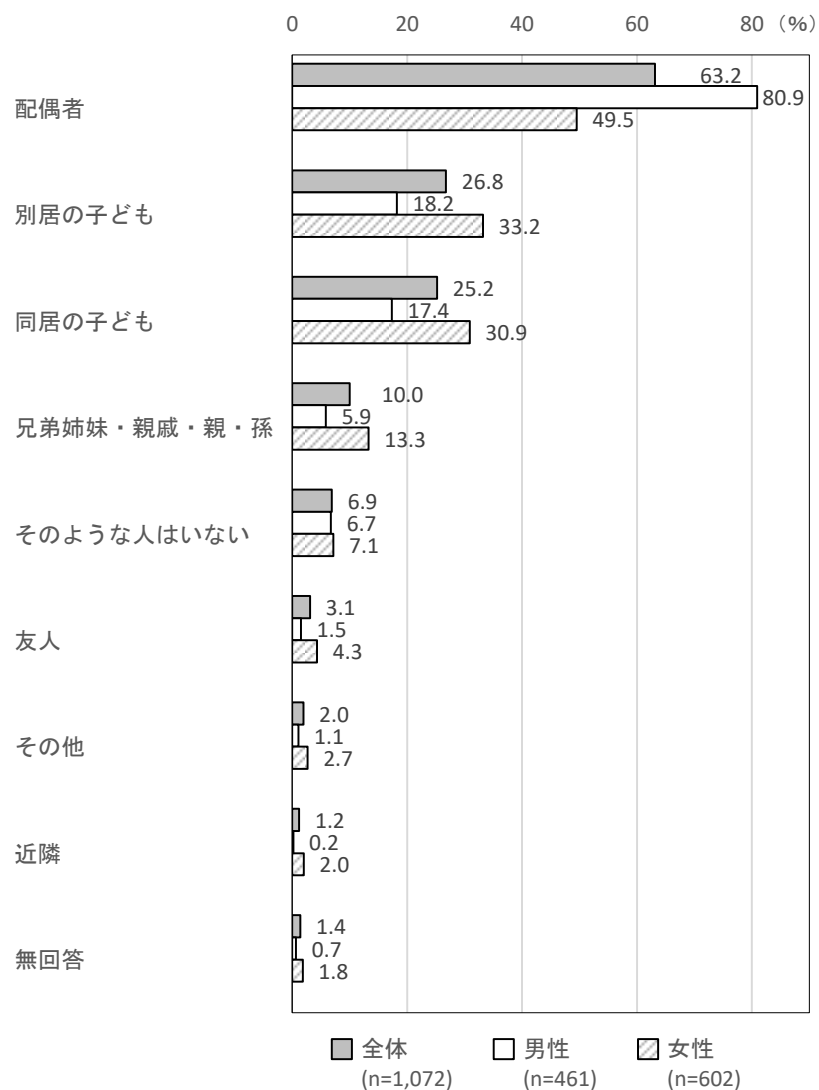
- 心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「全体」では「配偶者」が53.8%と最も高くなっている。
- 「男性」では「配偶者」(75.5%)が「女性」を上回っている。
- 「女性」では、概ねの項目で「男性」を上回っている。



(3) 看病や世話をしてくれる人

問 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人を教えてください。
(○はいくつでも)

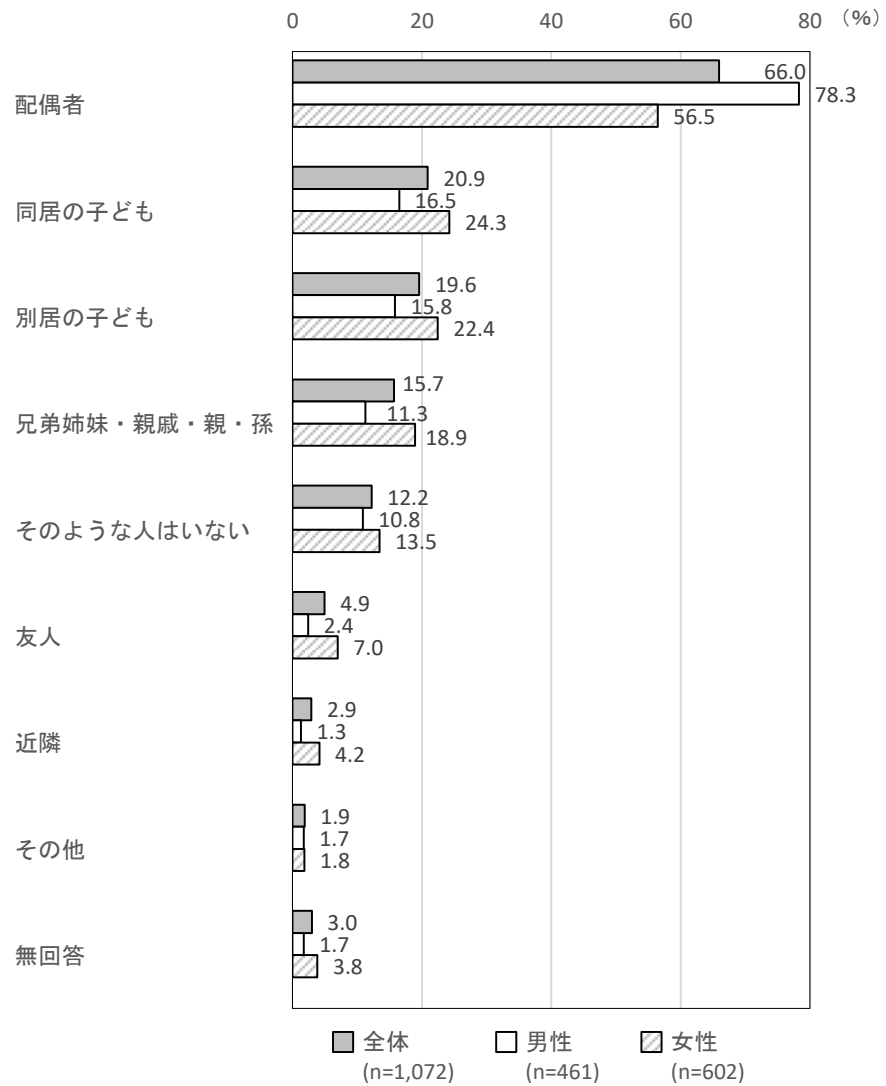
- 看病や世話をしてくれる人は、「全体」では「配偶者」が63.2%と最も高くなっている。
- 「男性」では「配偶者」(80.9%)が「女性」を上回っている。
- 「女性」では、「そのような人はいない」(7.1%)が若干「男性」を上回っている。



(4) 看病や世話をしあける人

問 反対に、看病や世話をしあける人を教えてください。(○はいくつでも)

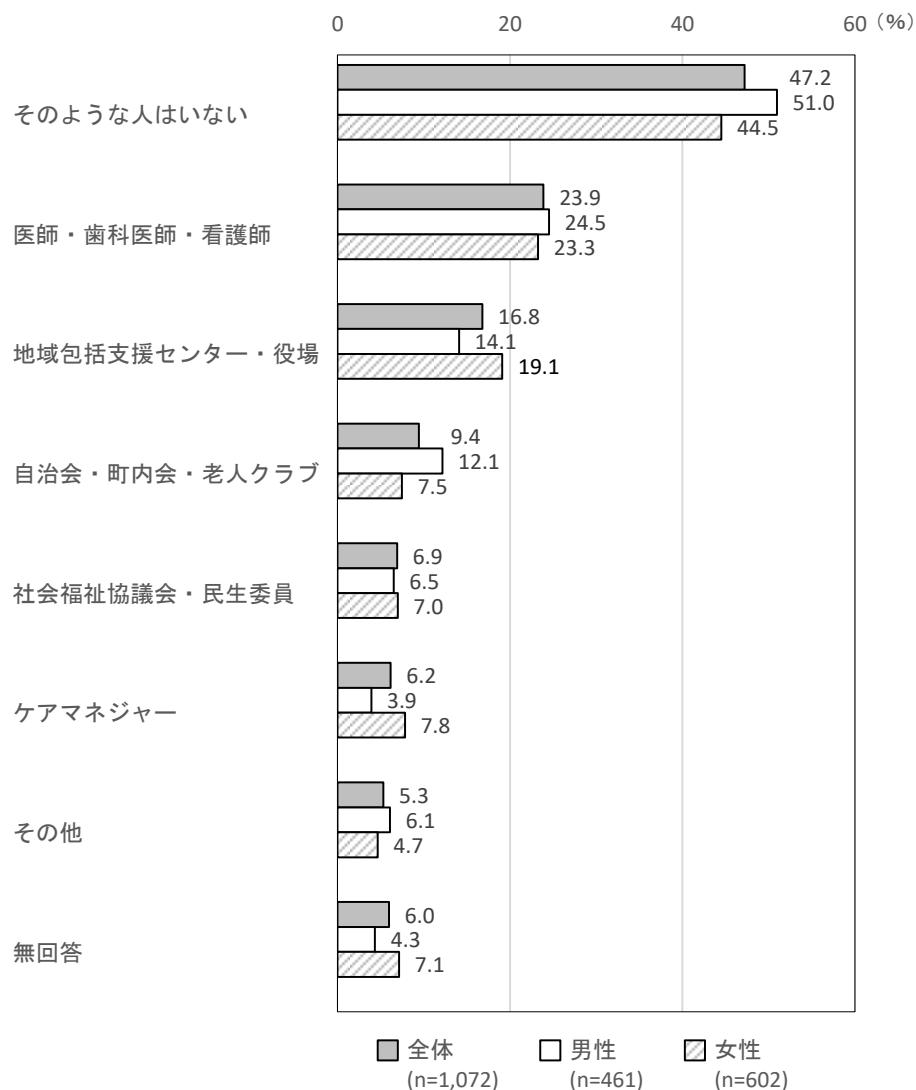
- 看病や世話をしあける人は、「全体」では「配偶者」が66.0%と最も高くなっている。
- 「男性」では「配偶者」(78.3%)が「女性」を上回っている。
- 「女性」では、概ねの項目で「男性」を上回っている。



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手

問 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

- ・家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手は、「全体」では「そのような人はいない」が47.2%と最も高くなっている。
- ・「男性」では「医師・歯科医師・看護師」(24.5%)が「女性」を上回っている。
- ・「女性」では、「地域包括支援センター・役場」(19.1%)が「男性」を上回っている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるほど「そのような人はいない」が高くなっている。特に「65～69 歳」「70～75 歳」では半数以上を占めている。
- 「80～84 歳」では「地域包括支援センター・役場」が2 番目に高くなっている。
- その他、「85 歳以上」では他の年代に比べて「ケアマネジャー」が高くなる傾向がみられる。

(%)

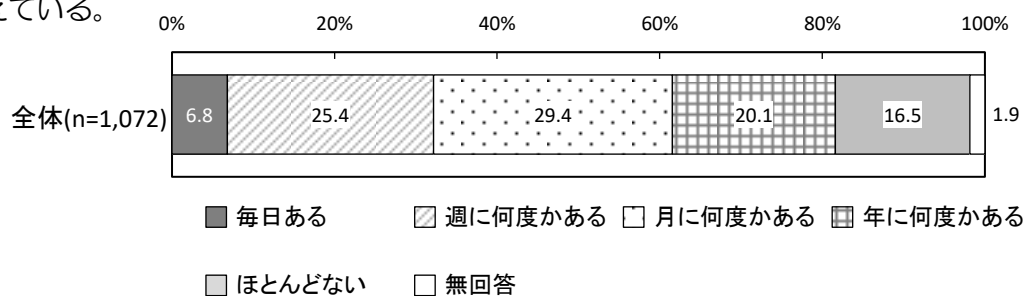
		回答者数（人）	そのような人はいない	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	53.4	27.7	14.1	10.5	3.1	3.1	3.7	3.7
	70～74歳	266	53.4	24.8	15.0	9.0	6.0	3.8	6.4	2.3
	75～79歳	295	42.7	24.1	19.0	9.5	7.8	5.4	4.7	6.8
	80～84歳	184	42.4	19.6	20.7	8.7	11.4	7.1	5.4	8.7
	85歳以上	121	43.0	23.1	14.9	9.9	5.0	16.5	6.6	9.9

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 友人・知人と会う頻度

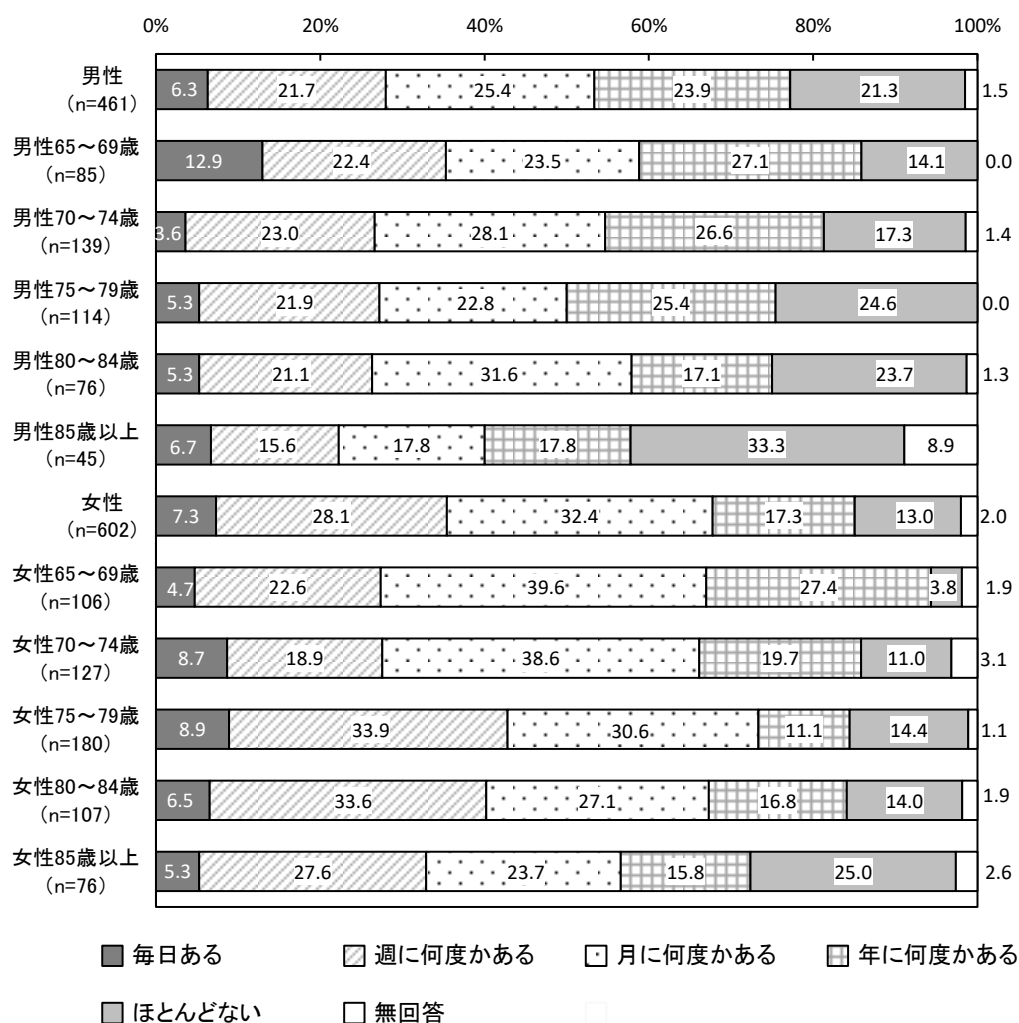
問 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(ひとつだけ○)

- ・友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が29.4%と3割近くを占めて最も高く、「毎日ある」(6.8%)と合わせると、『週に1度以上』が3割を超えている。
- ・「年に何度かある」(20.1%)と「ほとんどない」(16.5%)を合わせた『年に数回以下』が3割を超えている。



《年代別》

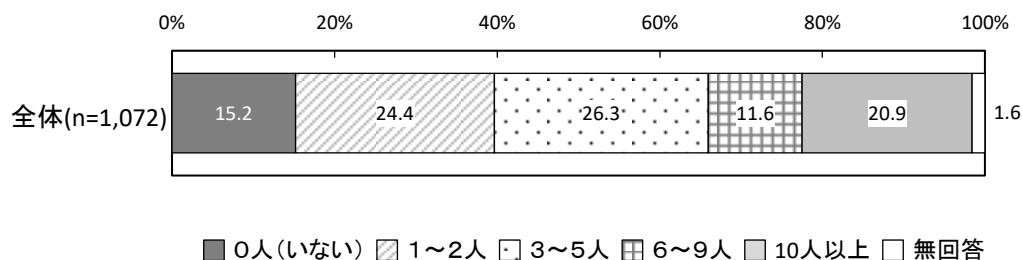
- ・年代・性別にみると、「月に何度かある」が「男性」(25.4%)、「女性」(32.4%)の割合が最も高くなっている。
- ・一方で「ほとんどない」は「男性」「女性」ともに、年齢があがると増加傾向となっている。またいずれの年代でも「男性」の割合が高くなっている。



(7) この1か月間で会った友人・知人の人数

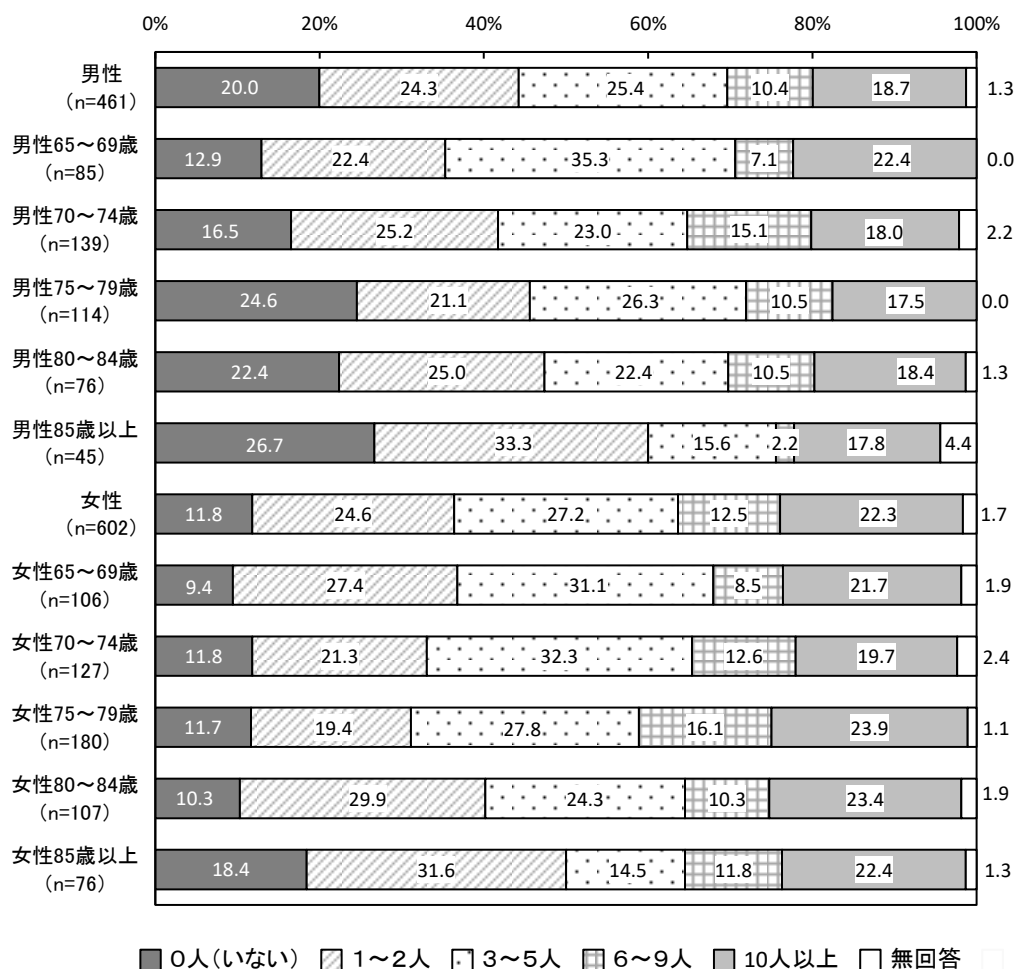
問 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(ひとつだけ○)

- ・この1か月間で会った友人・知人の人数は、「3～5人」が26.3%と最も高く、次いで「1～2人」(24.4%)、「10人以上」(20.9%)の順となっており、『3人以上』が6割近くを占めている。
- ・一方で、「0人(いない)」が15.2%と1割を超えている。



《年代別》

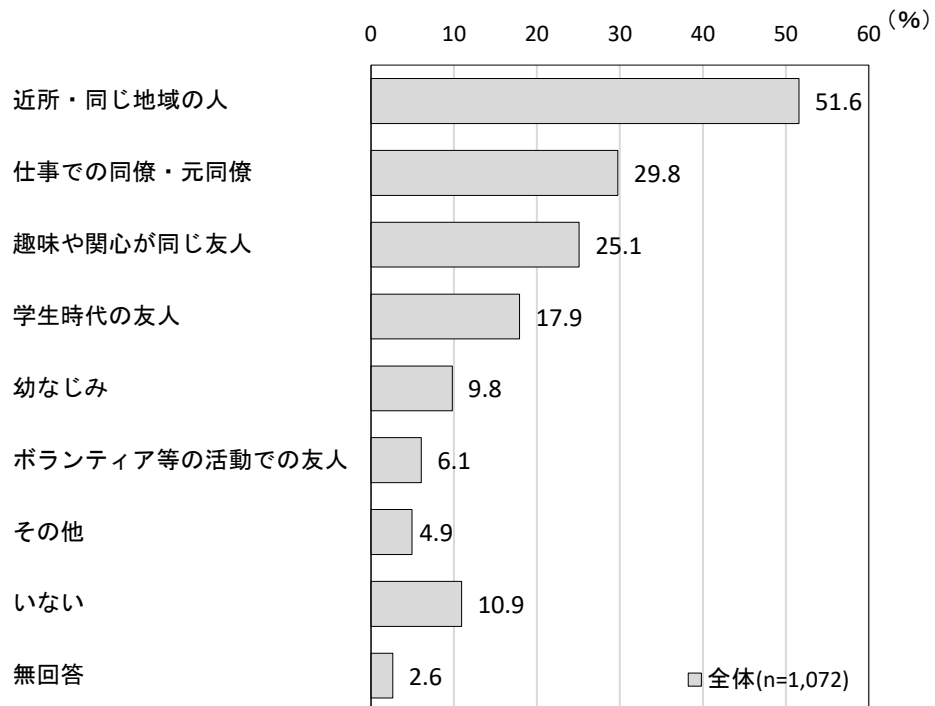
- ・年代・性別にみると、「0人(いない)」は、いずれの年代でも「男性」の割合の方が高くなっている。
- ・また、「0人(いない)」は、「男性」「女性」ともに、年代が上がると増加傾向となっている。



(8) よく会う友人・知人との関係

問 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

- よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が 51.6%と半数を超えて最も高くなっており、次いで「仕事での同僚・元同僚」(29.8%)、「趣味や関心が同じ友人」(25.1%) の順となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、65～69 歳では「仕事での同僚・元同僚」が最も高く、その他の年代では「近所・同じ地域の人」が最も高くなっている。
- 概ね年代が下がるほど「仕事での同僚・元同僚」や「学生時代の友人」が高くなっており、特に 65～69 歳では約 7 割を占めている。
- その他、85 歳以上では「いない」がその他の年代に比べてやや高くなっている。

(%)

		回答者数 (人)	近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	学生時代の友人	いない	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人等	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	44.0	50.3	22.0	26.7	5.2	12.6	7.9	3.7	0.5
	70～74歳	266	47.7	41.4	25.9	22.2	10.5	12.0	6.0	3.8	1.5
	75～79歳	295	55.3	22.7	28.1	16.9	12.2	7.5	7.1	4.7	3.1
	80～84歳	184	57.6	17.4	26.6	10.3	13.0	10.3	5.4	4.9	1.6
	85歳以上	121	53.7	9.1	17.4	8.3	14.9	5.8	2.5	9.9	7.4

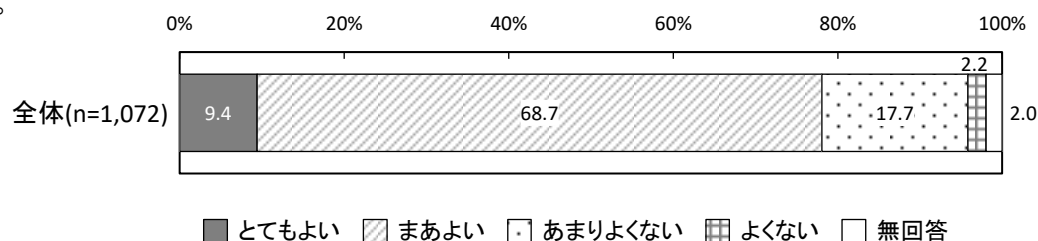
※ 1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

8. 健康について

(1) 健康状態

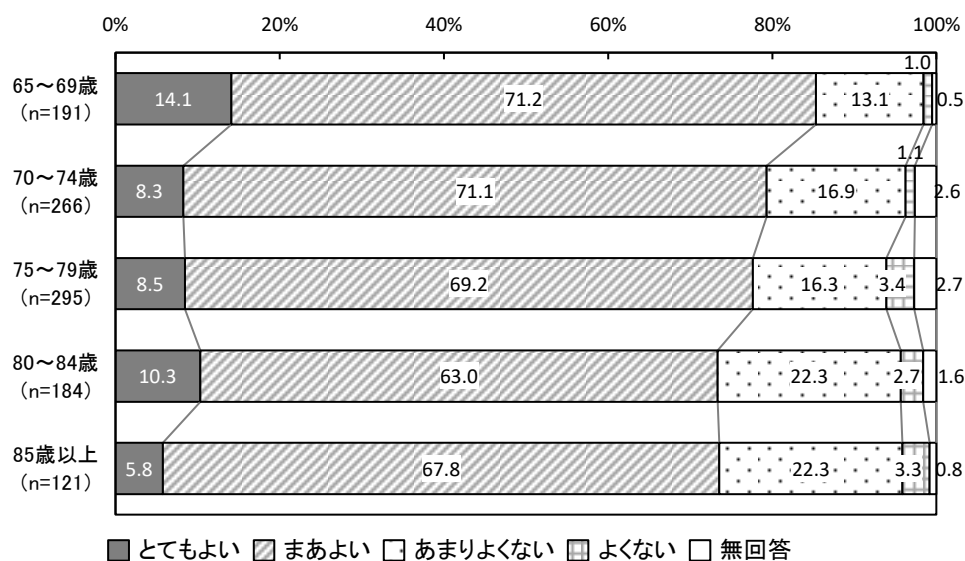
問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけ○)

- 健康状態は、「まあよい」が68.7%と約8割を占め、「とてもよい」(9.4%)と合わせると『よい』が7割を超えている。
- 「あまりよくない」(17.7%)と「よくない」(2.2%)を合わせた『よくない』は約2割となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、『よい』は65～69歳で85.3%と約8割以上を占めて最も高く、次いで70～74歳(79.4%)、75～79歳(77.7%)と続いている。
- 一方で、80～85歳以上では『よくない』が約3割近くを占め、その他の年代に比べて高くなっている。

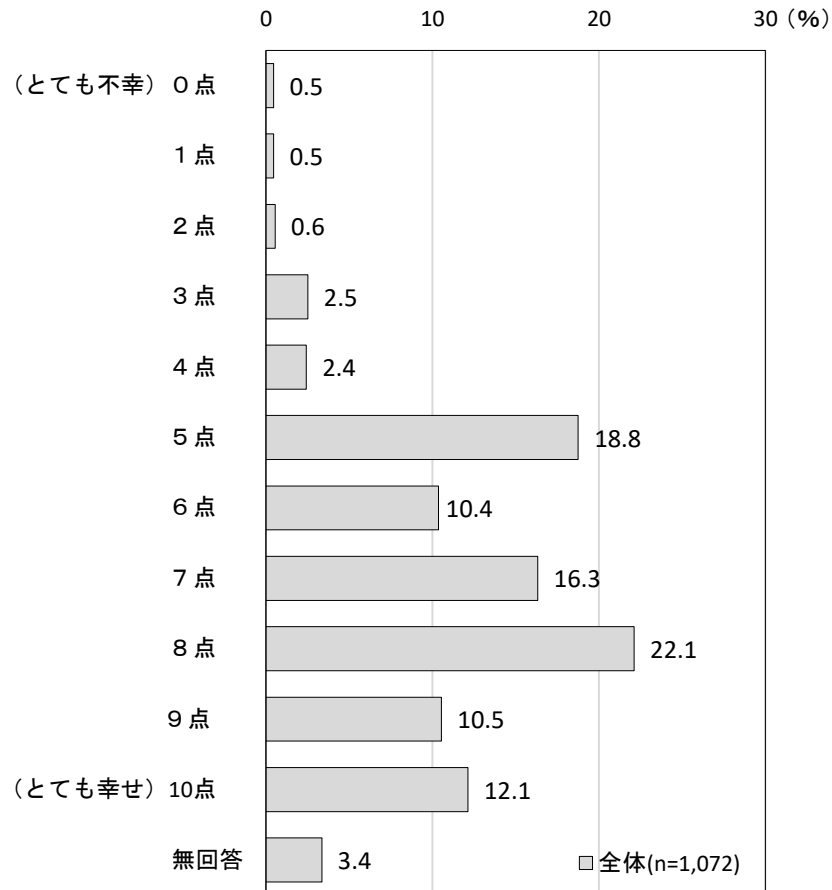


(2) 幸福度

問 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字に○をつけてください)

- 幸福度は、「8点」が22.1%と2割以上を占めて最も高く、次いで「5点」(18.8%)となっており、平均点は8.09点となっている。
- また、「10点(とても幸せ)」は12.1%となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、平均点では85歳以上が8.22点と最も高く、次いで65～69歳と80～84歳が8.13点となっている。また、「10点(とても幸せ)」が85歳以上で15.7%となっており、その他の年代に比べて高くなっている。

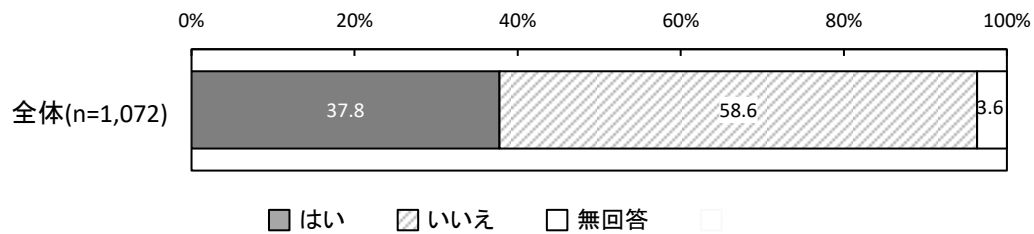
		(人)	と0点 も不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	と10点 も幸せ	無回答	(点) 平均点
年代別	65～69歳	191	0.0	0.0	1.0	1.0	1.6	20.4	8.9	18.8	26.7	8.4	11.0	2.1	8.13
	70～74歳	266	0.4	1.1	0.8	2.3	3.0	16.2	10.5	20.7	22.2	10.2	10.5	2.3	8.00
	75～79歳	295	0.7	0.3	0.7	3.7	2.4	19.3	11.2	15.3	17.3	12.2	11.9	5.1	7.95
	80～84歳	184	0.0	0.5	0.0	2.7	3.8	20.7	9.2	12.0	21.7	13.0	13.6	2.7	8.13
	85歳以上	121	1.7	0.0	0.0	1.7	0.8	17.4	12.4	12.4	26.4	7.4	15.7	4.1	8.22

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 1か月のうち、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか

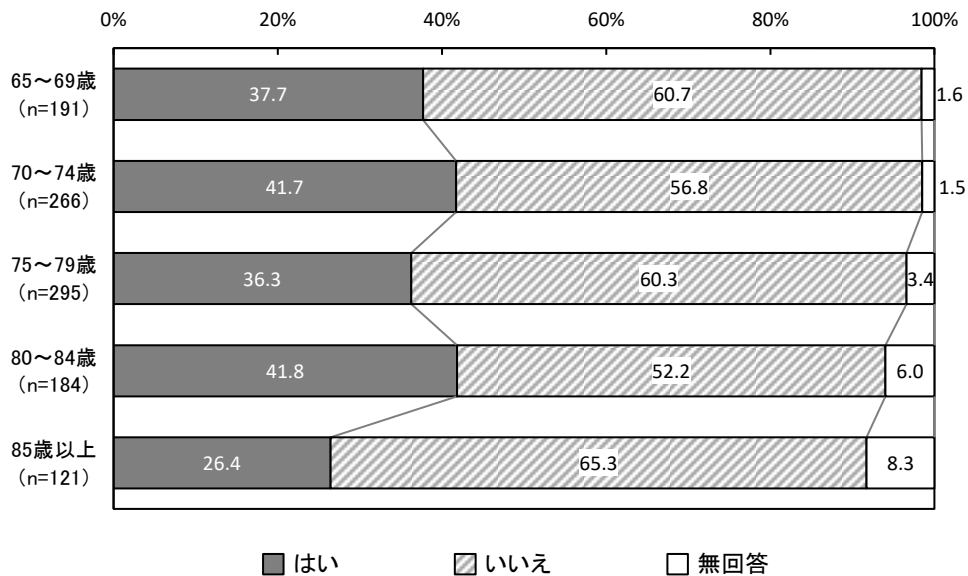
問 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(ひとつだけ○)

- ・1か月のうち、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることは、「いいえ（なかった）」が58.6%と半数以上を占め、「はい（あった）」は37.8%となっている。



《年代別》

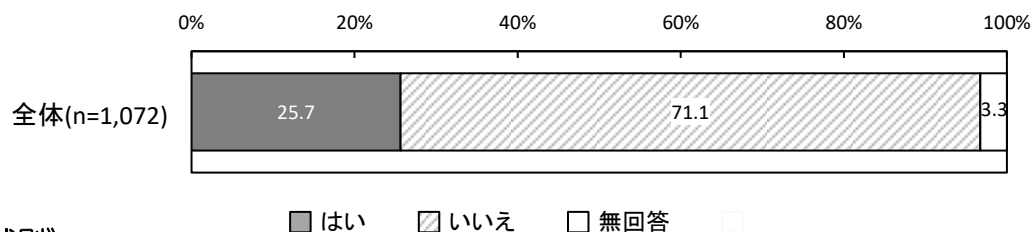
- ・年代別にみると、70～74歳と80～84歳で「はい（あった）」が4割以上を占め、その他の年代に比べて高くなっている。



(4) 1か月間のうち、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが、よくあったか

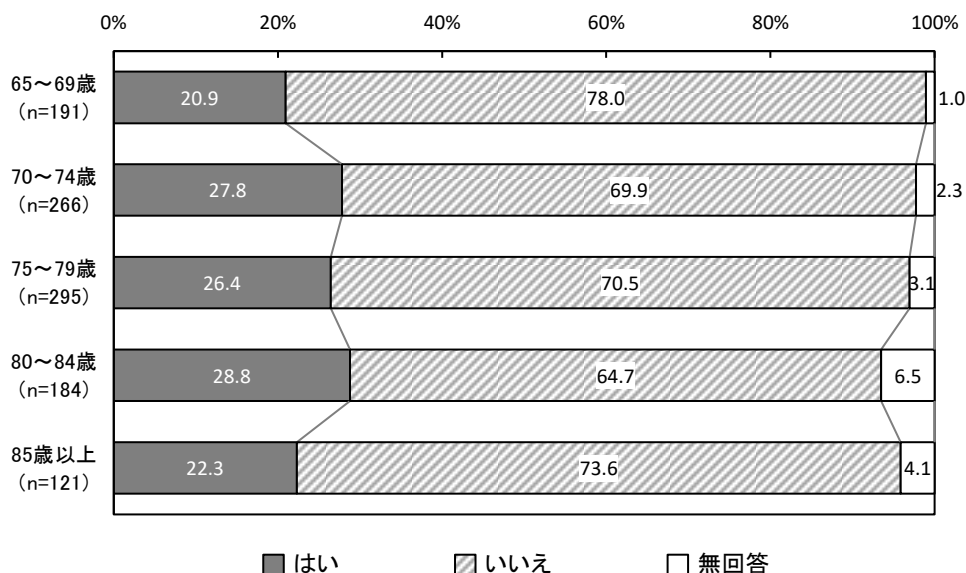
問 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが、よくありましたか。(ひとつだけ○)

- ・ 1か月間のうち、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じは、「いいえ（なかった）」が71.1%と約7割を占め、「はい（あった）」は25.7%となっている。



《年代別》

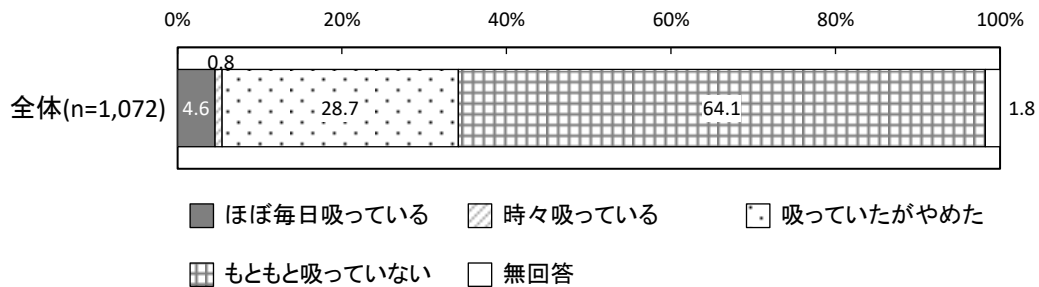
- ・ 年代別にみると、80～84歳で「はい（あった）」が28.8%となっており、その他の年代に比べて最も高くなっている。



(5) 喫煙状況

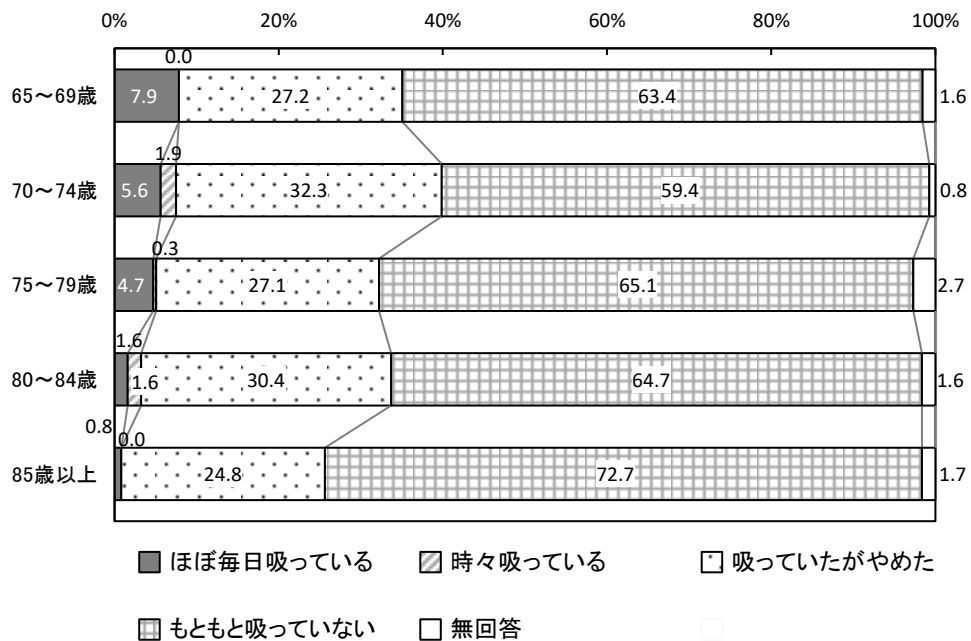
問 タバコは吸っていますか。(ひとつだけ○)

- 喫煙状況は、「もともと吸っていない」が 64.1%と6割を超え、次いで「吸っていたがやめた」(28.7%)となっており、『吸っていない』が9割近くを占めている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」）が高くなっており、65～74 歳では 7.9%となっている。



(6) 現在治療中、または後遺症のある病気

問 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

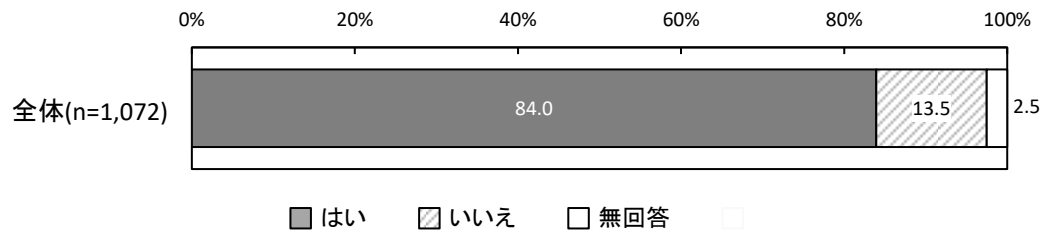
- ・現在治療中、または後遺症のある病気は、「ない」が 14.4%となっており、8割近くの人が何かしらの病気があることが分かる結果となっている。
- ・病気のある人では「高血圧」が 46.8%と4割以上を占めて最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」(17.3%)、「糖尿病」(17.0%)、「目の病気」(15.8%)の順となっている。



(7) 病院・医院（診療所、クリニック）への通院状況

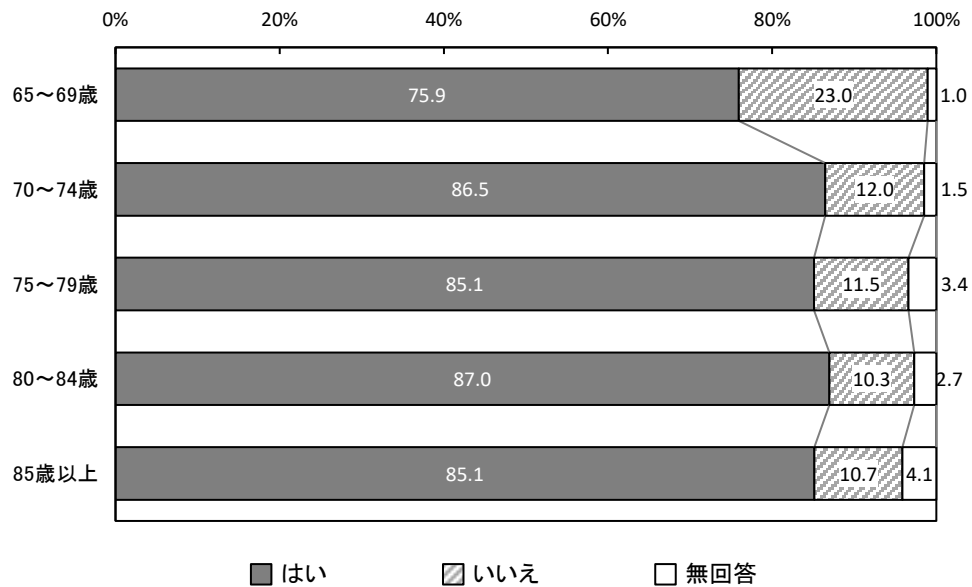
問 あなたは現在、病院、医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（ひとつだけ○）

- ・病院・医院（診療所、クリニック）への通院は、「はい（通院している）」が84.0%と約8割を占め、「いいえ（通院していない）」は13.5%となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、85歳以上を除いて、年代が上がるにつれて「はい（通院している）」が高くなっており、80～84歳では9割近くを占めている。

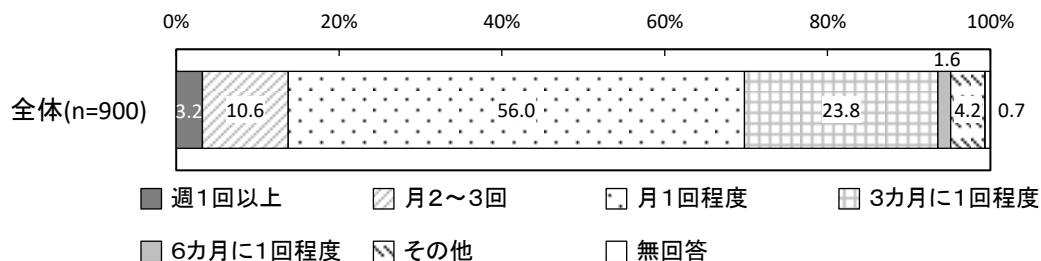


(7-1) 通院頻度

【(8)で「はい(通院している)」を回答された方のみお答えください】

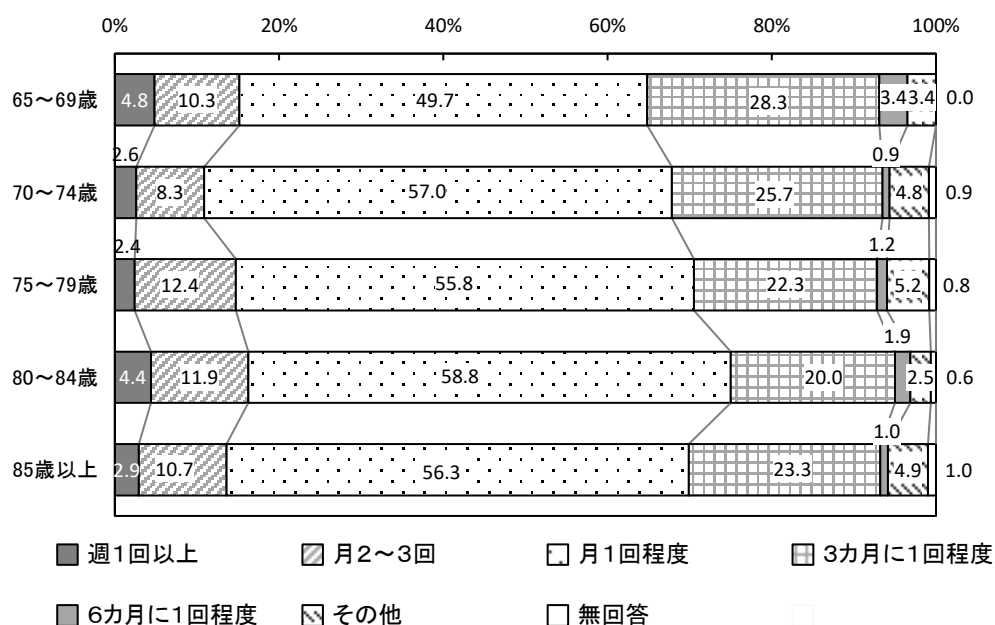
問 あなたはどのくらいの頻度で通院していますか。(ひとつだけ○)

- 通院している人の通院頻度は、「月1回程度」が56.0%と半数を超え、次いで「3カ月に1回程度」(23.8%)、「月2～3回」(10.6%)の順となっている。



《年代別》

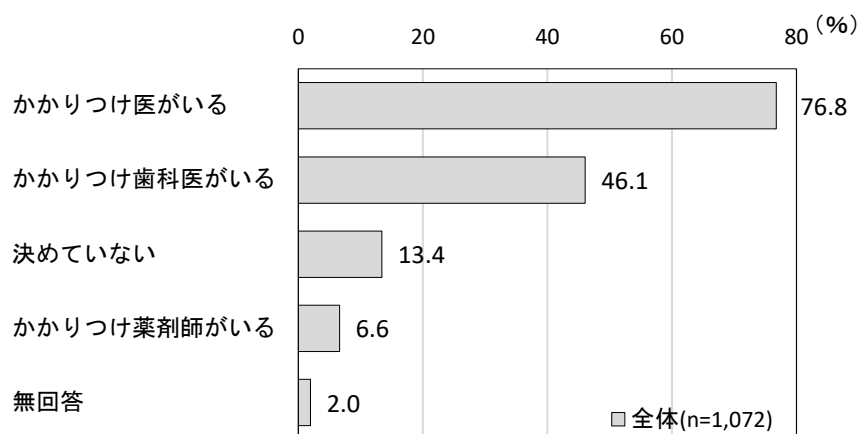
- 年代別にみると、概ね年代が上がるほど通院頻度が高くなる傾向がみられる。



(8) かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の有無

問 あなたは、かかりつけ医・歯科医師・薬剤師を決めていますか。(総合病院など診療科目が多い病院の医師は除く)(〇はいくつでも)

- ・かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の有無は、「かかりつけ医がいる」が76.8%と7割を超えて最も高く、次いで「かかりつけ歯科医がいる」(46.1%)となっており、「かかりつけ薬剤師がいる」は1割未満(6.6%)となっている。
- ・また、「決めていない」が13.4%と約1割となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「決めていない」が高くなっており、85歳以上の若く年代では1割を超えている。

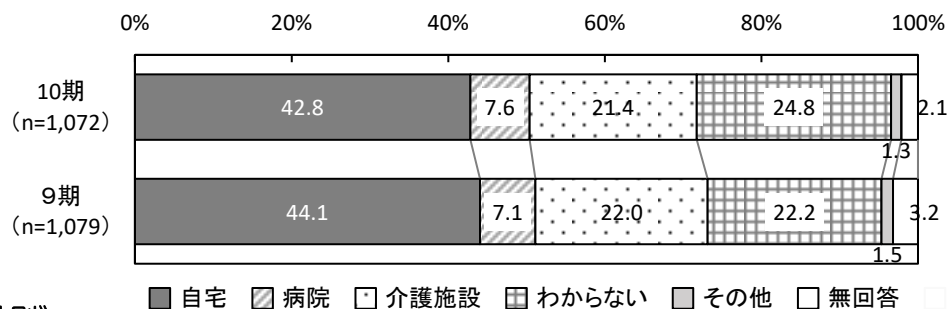
		(%)					
		回答者数(人)	かかりつけ医がいる	かかりつけ歯科医がいる	決めていない	かかりつけ薬剤師がいる	無回答
年代別	65～69歳	191	76.4	42.4	14.7	4.7	1.0
	70～74歳	266	71.8	45.9	15.8	4.1	1.1
	75～79歳	295	74.6	52.9	15.3	10.5	2.4
	80～84歳	184	80.4	43.5	11.4	5.4	2.7
	85歳以上	121	88.4	40.5	5.0	7.4	2.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(9) 療養介護が必要となったときに生活したいところ

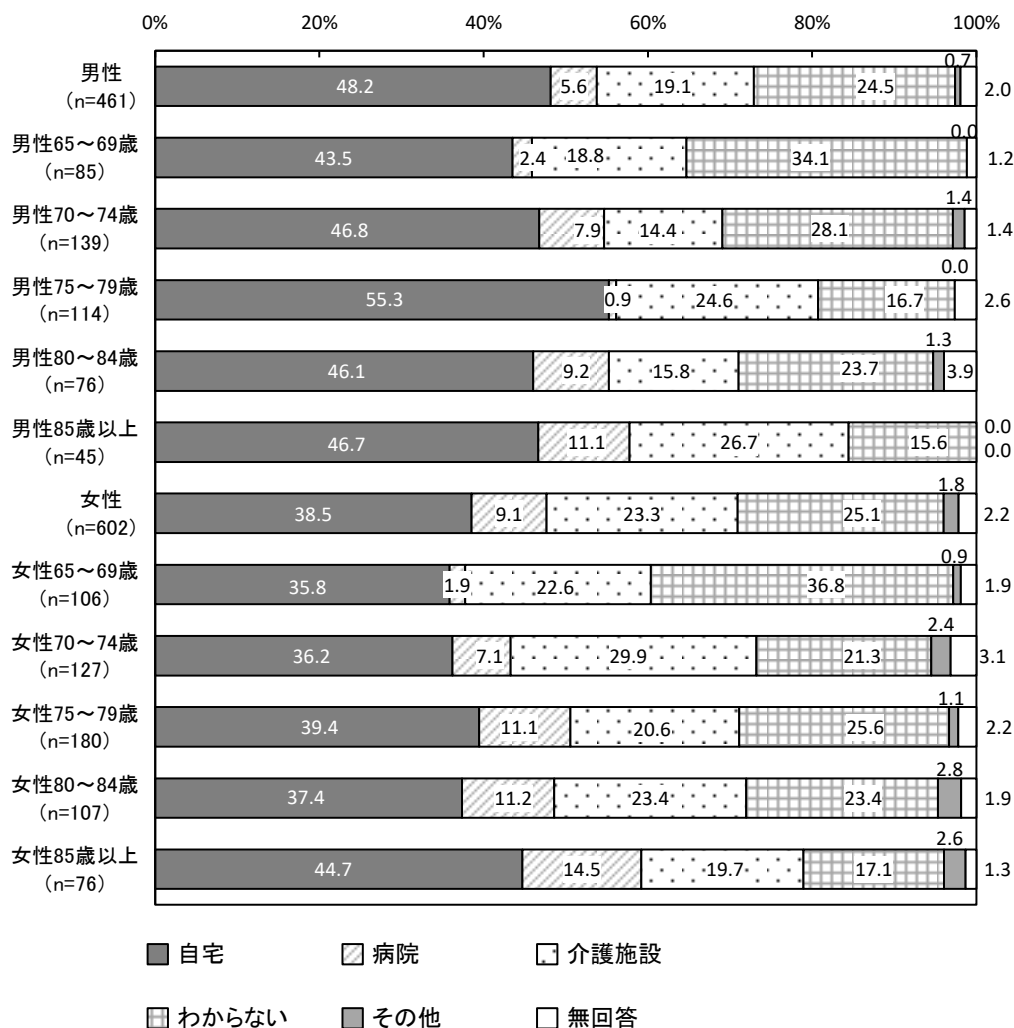
問 療養介護が必要となったときに、あなたはどこで生活したいと思いますか。(ひとつだけ○)

- ・療養介護が必要となったときに生活したいところは、「自宅」が42.8%と4割を超えて最も高く、次いで「介護施設」(21.4%)、「病院」(7.6%)の順となっている。
- ・また、「わからない」が24.8%と2割を超えている。
- ・前回調査に比べ、「自宅」は1.3ポイント減少している。



《年代・性別》

- ・年代・性別にみると、「男性」「女性」ともに、「自宅」の割合の方が高くなっている。
- ・また、いずれの年代でも「自宅」の割合の方が高くなっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「病院」が高くなっており、年代が下がるにつれて「わからない」が高くなっている。

(%)

		(人) 回答者数	自宅	わからない	介護施設	病院	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	39.3	35.6	20.9	2.1	0.5	1.6
	70～74歳	266	41.7	24.8	21.8	7.5	1.9	2.3
	75～79歳	295	45.4	22.0	22.4	7.1	0.7	2.4
	80～84歳	184	41.3	23.4	20.1	10.3	2.2	2.7
	85歳以上	121	45.5	16.5	22.3	13.2	1.7	0.8

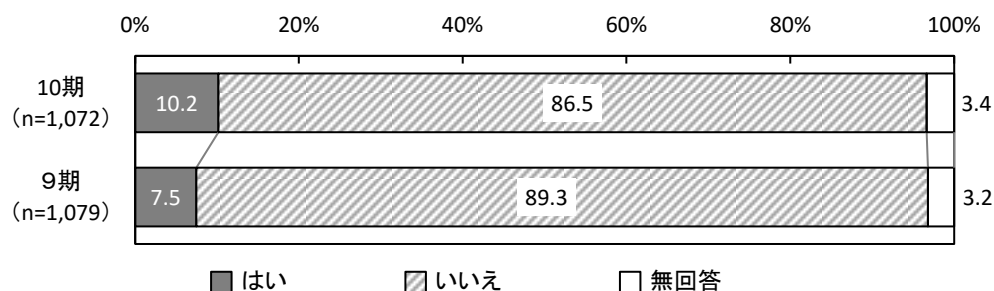
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

9. 認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか

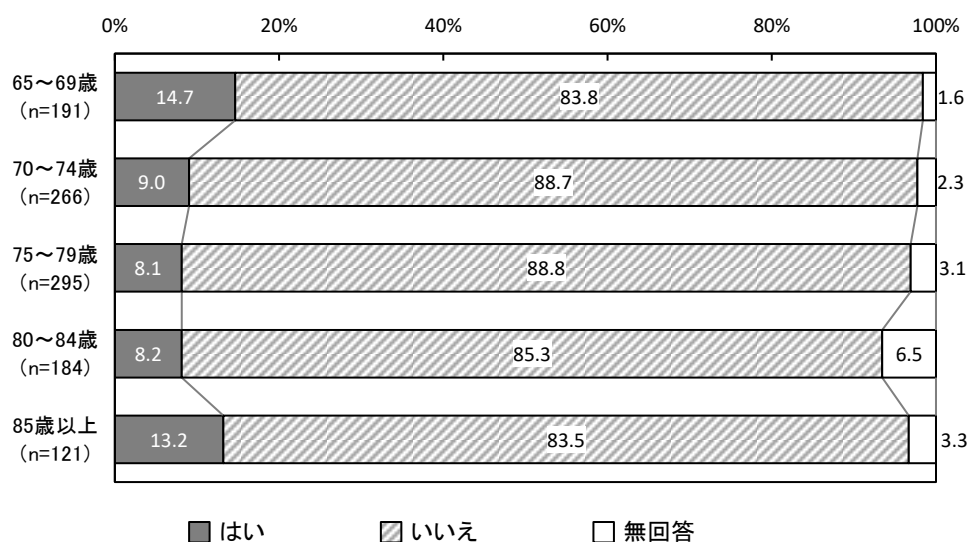
問 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(ひとつだけ○)

- ・認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかは、「いいえ (いない)」が 86.5%と大半を占め、「はい (いる)」は 10.2%となっている。
- ・前回調査に比べ、「はい」は 2.7 ポイント増加している。



《年代別》

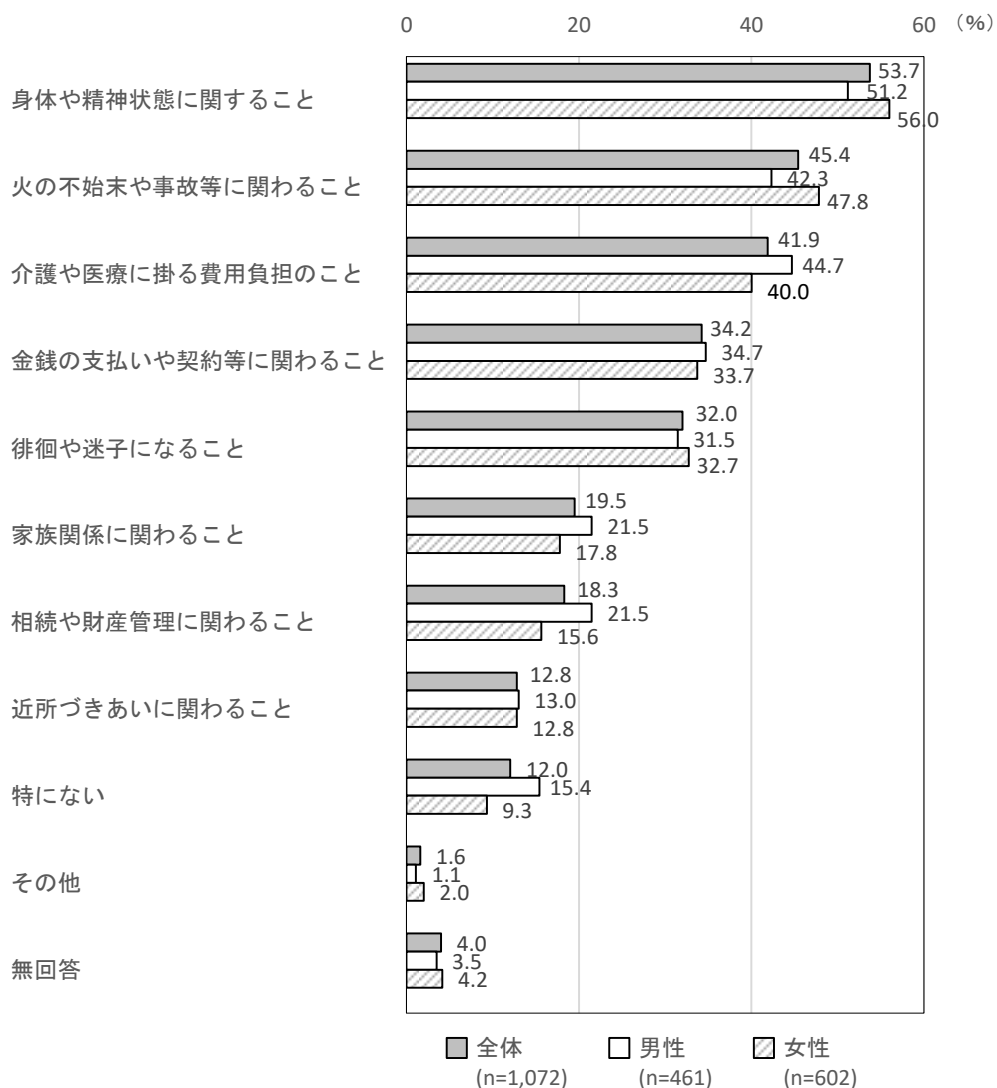
- ・年代別にみると、65～69 歳以上で「はい (いる)」が 14.7%となっており、その他の年代に比べて高くなっている。



(2) 認知症になるおそれがあることに対する不安

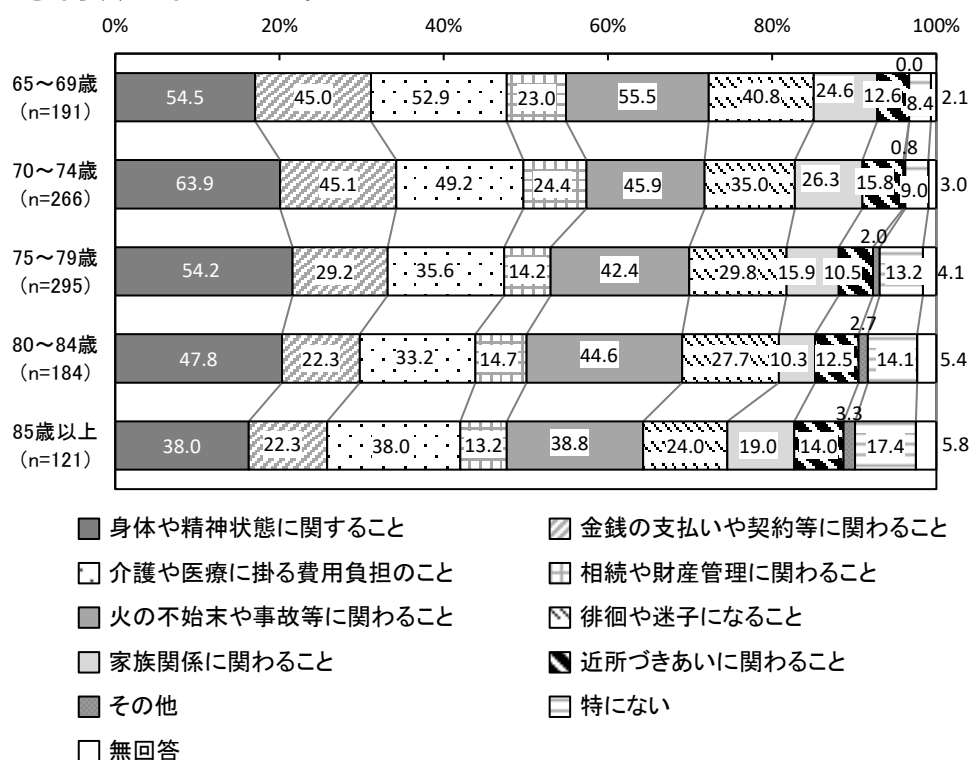
問 認知症に関して不安に思うことは、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- 認知症になるおそれがあることに対する不安については、「全体」では「身体や精神状態に関すること」(53.7%)の割合が最も高くなっている。
- 「男性」では「介護や医療に掛かる費用負担のこと」(44.7%)、「相続や財産管理に関わること」(21.5%)が「女性」を上回っている。
- 「女性」では、「身体や精神状態に関すること」(53.7%)、「火の不始末や事故等に関わること」(47.8%)「男性」を上回っている。



《年代別》

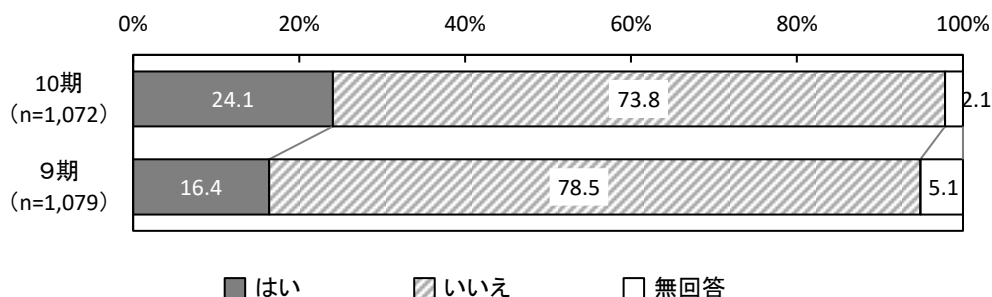
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「特になし」が高くなる傾向がみられる。
- 一方、いずれの年代でも「身体や精神状態に関すること」、「火の不始末や事故等に関わること」が不安の大きな要素となっている。



(3) 認知症に関する相談窓口の認知度

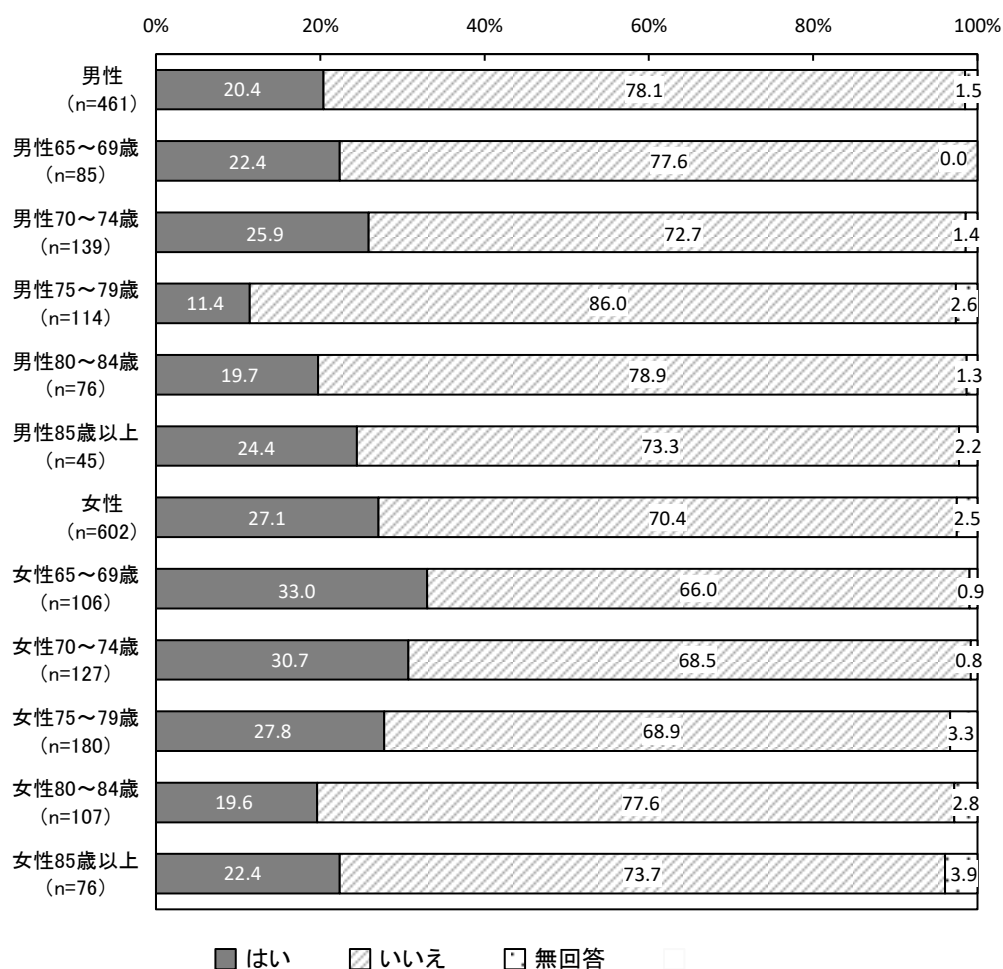
問 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(ひとつだけ○)

- ・認知症に関する相談窓口の認知度は、「いいえ（知らない）」が73.8%と7割以上を超え、「はい（知っている）」は24.1%となっている。
- ・前回調査に比べ、「はい」は7.7ポイント増加減少している。



《年代別》

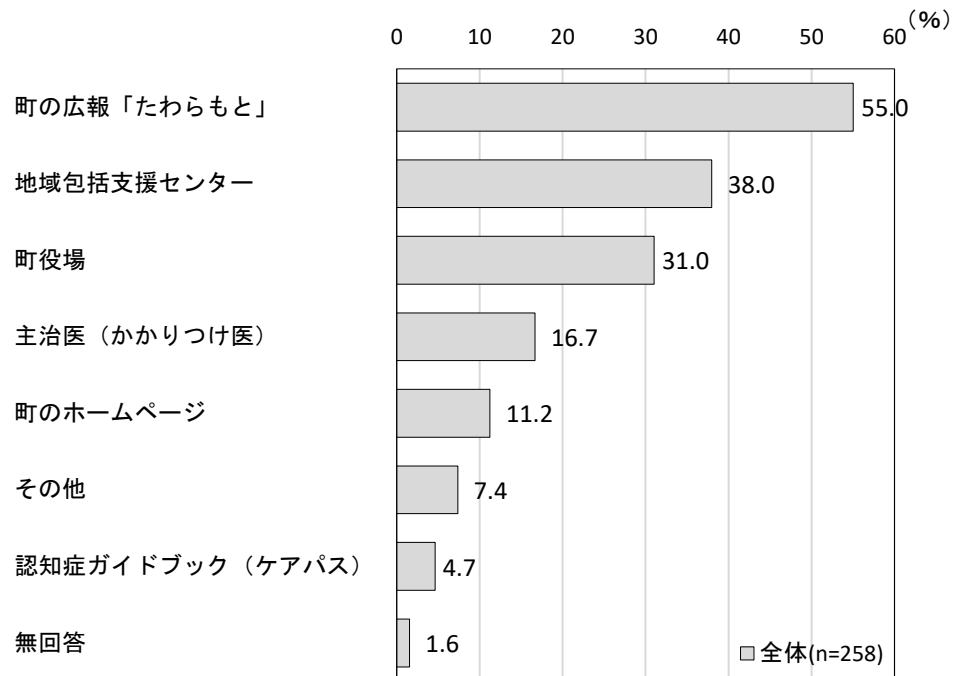
- ・年代・性別にみると、「はい」は「男性」(20.4%)が、「女性」(27.1%)より割合が低くなっている。
- ・また、「女性」はどの年代においても「いいえ」の割合が低くなっている。



(3-1) どこで相談窓口を知りましたか

問 どこで相談窓口を知りましたか。【(3) で「1」と回答された方】(〇はいくつでも)

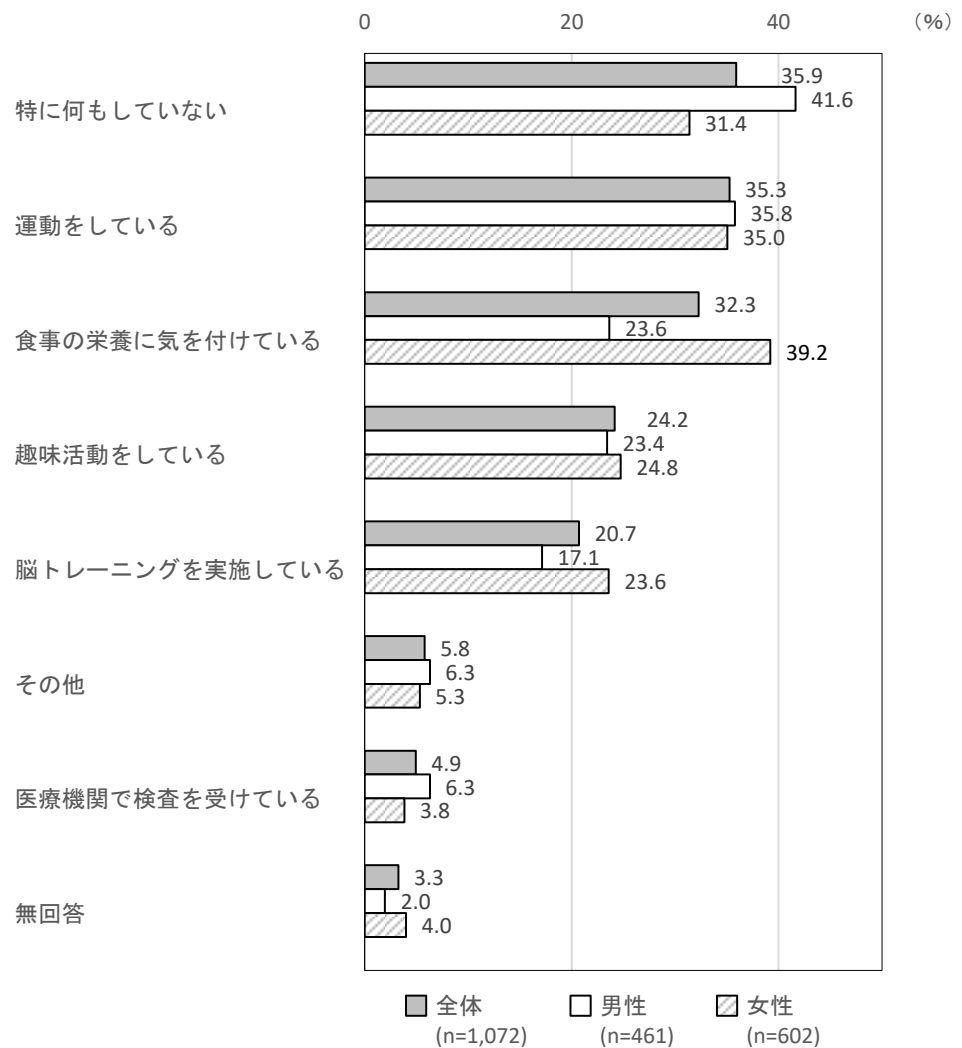
- どこで相談窓口を知りましたかについては、「町の広報「たわらもと」」が55.0%と5割を超えて最も高く、次いで「地域包括支援センター」(38.0%)、「町役場」(31.0%)の順となっている。



(4) 認知症予防のためにしていること

問 あなたは認知症予防のために何かしていますか。(〇はいくつでも)

- ・認知症予防のためにしていることでは、「全体」では「特に何もしていない」の35.9%の割合が最も高くなっている。
- ・「男性」では「特に何もしていない」(41.6%)、「運動をしている」(35.8%)、「食事の栄養に気を付けている」(23.6%)の順に対し、「女性」では「食事の栄養に気を付けている」(39.2%)「運動をしている」(35.0%)、「特に何もしていない」(31.4%)となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「特に何もしていない」が高くなっており、特に 85 歳以上では4割近くを占めている。
- また、80～84 歳では「運動をしている」や「脳トレーニングを実施している」がその他の年代に比べて高くなっている。

(%)

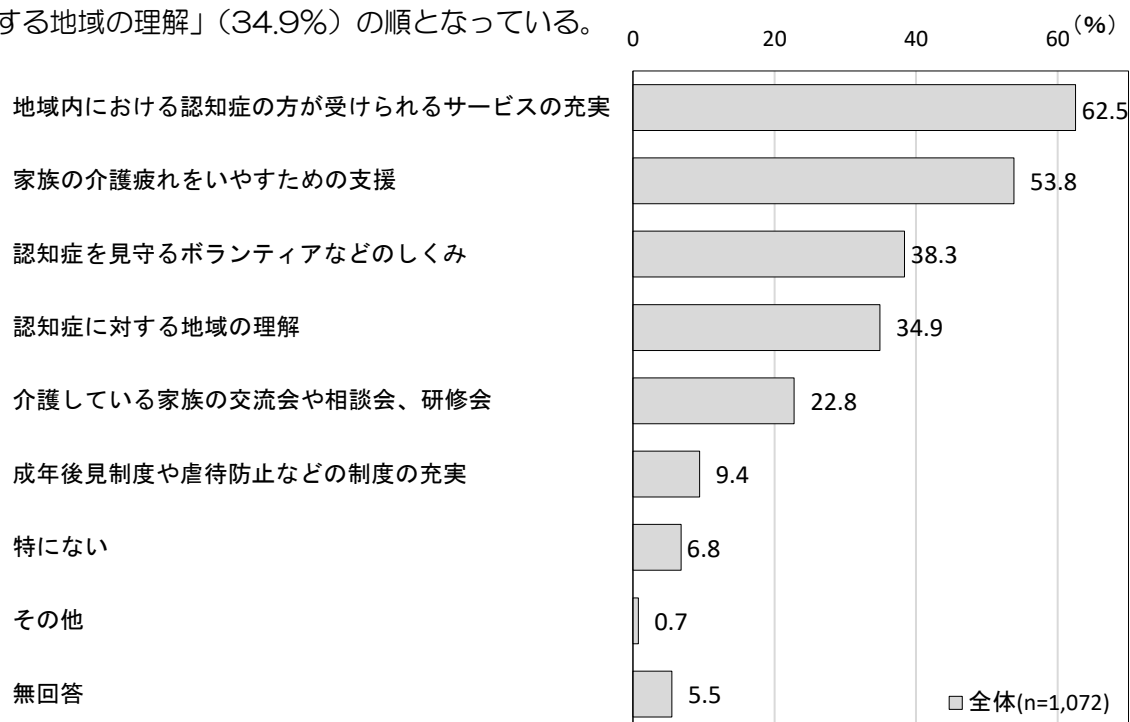
		回 答 者 数 (人)	な 特 い に 何 も し て い	運 動 を し て い る	を 食 付 け の 栄 養 に 気	い 趣 味 活 動 を し て	を 脳 実 施 し て い ん ぐ	そ の 他	を 医 療 機 関 で 検 査	無 回 答
年 代 別	65～69歳	191	36.1	34.6	27.2	25.1	19.4	6.3	1.6	2.1
	70～74歳	266	36.5	37.6	34.2	24.8	19.9	3.8	4.5	1.5
	75～79歳	295	33.9	34.2	33.6	26.4	22.0	5.1	7.1	3.1
	80～84歳	184	35.3	40.8	33.7	22.8	23.4	7.6	6.0	3.8
	85歳以上	121	38.8	28.9	33.1	15.7	17.4	9.1	5.0	7.4

※ 1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 自分や家族が認知症になった場合に地域にあるとよい支援

問 あなたご自身や家族が認知症になった場合、地域でどのような支援があるとよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

- ・自分や家族が認知症になった場合に地域にあるとよい支援では、「地域内における認知症の方が受けられるサービスの充実」が 62.5%と6割を超えて最も高く、次いで「家族の介護疲れを癒やすための支援」(53.8%)、「認知症を見守るボランティアなどのしくみ」(38.3%)、「認知症に対する地域の理解」(34.9%)の順となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「家族の介護疲れを癒やすための支援」や「成年後見制度や虐待防止などの制度の充実」などが高くなる傾向がみられる。
- ・また、70～74歳では「介護している家族の交流会や相談会、研究会」がその他の年代に比べて高くなっている。

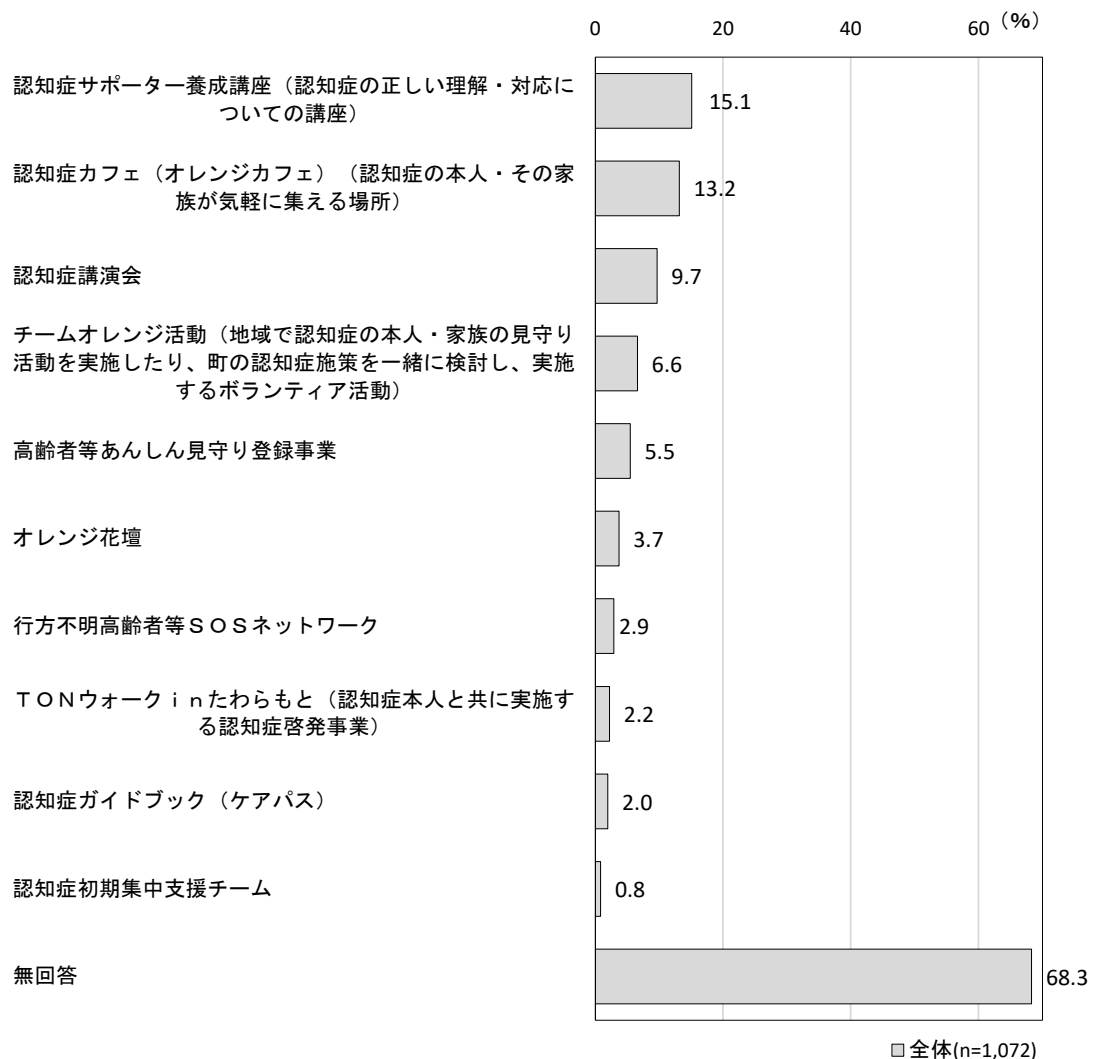
		(%)									
		回答者数(人)	地域内における認知症の方が受けられるサービスの充実	家族の介護疲れをいやすための支援	認知症を見守るボランティアなどのしくみ	認知症に対する地域の理解	介護している家族の交流会や相談会、研修会	成年後見制度や虐待防止などの制度の充実	特にない	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	65.4	59.7	40.3	34.0	18.8	13.1	7.3	1.0	3.1
	70～74歳	266	68.8	60.2	43.6	35.7	29.7	14.7	4.1	0.4	1.9
	75～79歳	295	62.0	54.6	35.9	35.3	21.4	6.4	7.1	1.0	5.8
	80～84歳	184	56.5	40.8	32.1	34.8	17.9	4.3	7.1	0.5	12.0
	85歳以上	121	54.5	49.6	38.8	33.9	24.0	8.3	10.7	0.8	6.6

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 認知症施策としての下記事業について知っているもの

問 田原本町では認知症施策として下記事業を行っています。これらの事業について知っているものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・認知症施策としての下記事業について知っているものでは、「認知症サポーター養成講座（認知症の正しい理解・対応についての講座）」が15.1%と最も高く、次いで「認知症カフェ（オレンジカフェ）（認知症の本人・その家族が気軽に集える場所）」（13.2%）、「認知症講演会」（9.7%）の順となっている。



- ・校區別にみると、「北小学校区」では「認知症カフェ」の割合が1番目に高くなっている。

(%)

		回答者数(人)	認知症サポーター養成講座	チームオレンジ活動	TONウォークinたわらもと	認知症カフェ	高齢者等あんしん見守り登録事業	行方無回答高齢者等SOSネットワーク	認知症講演会	認知症ガイドブック(ケアパス)	オレンジ花壇	認知症初期集中支援チーム	無回答
校 区 別	田原本小学校区	372	16.9	9.1	2.7	15.3	6.2	2.2	10.2	3.5	5.4	0.8	64.8
	東小学校区	109	16.5	5.5	3.7	14.7	4.6	3.7	14.7	1.8	4.6	0.9	60.6
	北小学校区	139	15.1	7.9	0.7	15.8	7.2	3.6	10.1	0.7	2.9	0.0	66.2
	南小学校区	205	10.7	4.4	2.4	8.8	4.9	3.9	9.8	1.0	2.0	1.5	73.7
	平野小学校区	207	16.4	4.3	1.9	13.5	4.8	2.4	7.2	1.4	2.9	1.0	72.0
	わからない	27	14.8	7.4	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	81.5

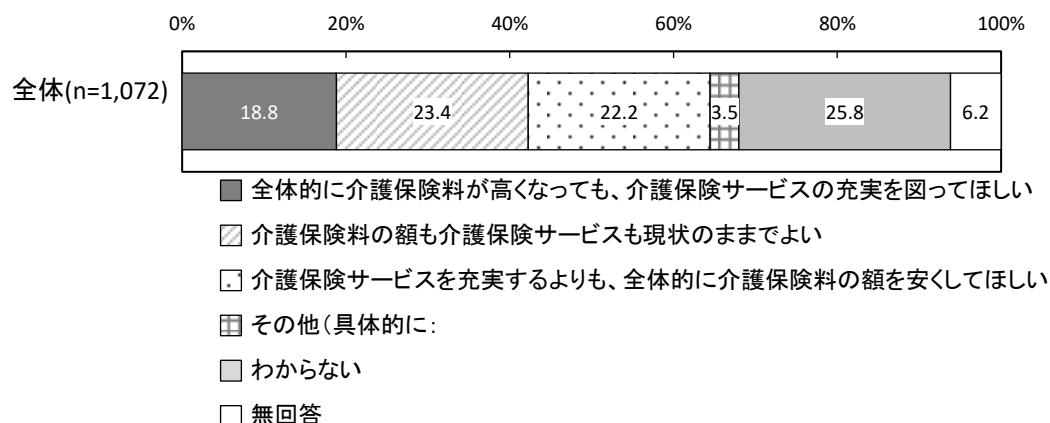
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

10. 介護保険料・生活支援サービスについて

(1) 介護保険料とサービスの充実に対する考え

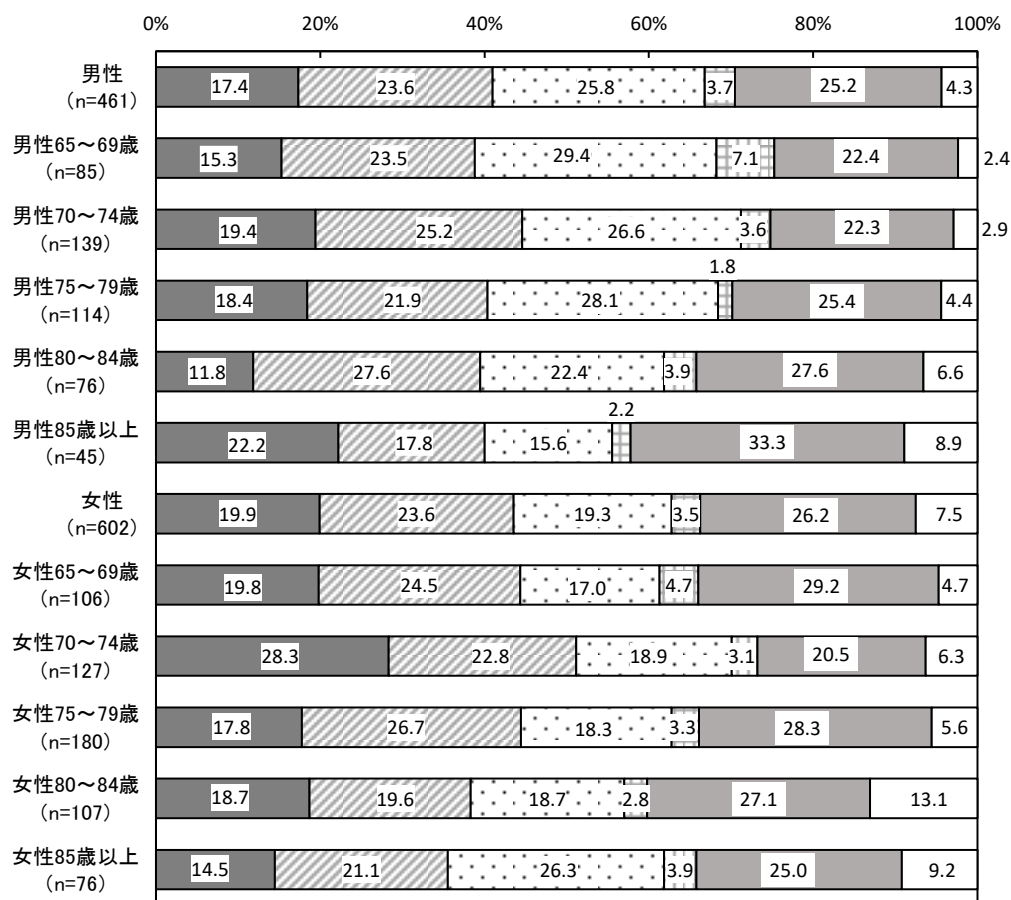
問 介護保険料の額は、介護保険サービスを利用する人数や施設・在宅のサービスの量によって市町村ごとに異なります。介護保険料とサービスの充実に関して、あなたの考えに一番近いものは次のうちどれですか。（ひとつだけ○）

- ・介護保険料とサービスの充実に対する考えでは、「わからない」（25.8%）が最も高くなっているものの、「介護保険料の額も介護保険サービスも現状のままでよい」（23.4%）、「介護保険サービスを充実するよりも、全体的に介護保険料の額を安くしてほしい」（22.2%）となっている。



《年代・性別》

- 年代・性別にみると、「男性」、「女性」ともに、70～74 歳では「全体的に介護保険料が高くなっても、介護保険サービスの充実を図ってほしい」の割合が最も高くなっている。



- ☒ 全体的に介護保険料が高くなっても、介護保険サービスの充実を図ってほしい
- ☒ 介護保険料の額も介護保険サービスも現状のままでよい
- ☐ 介護保険サービスを充実するよりも、全体的に介護保険料の額を安くしてほしい
- ☐ その他(具体的に:)
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

- 校區別にみると、「南小学校区」では「介護保険サービスを充実するよりも、全体的に介護保険料の額を安くしてほしい」の割合が最も高くなっている。

(%)

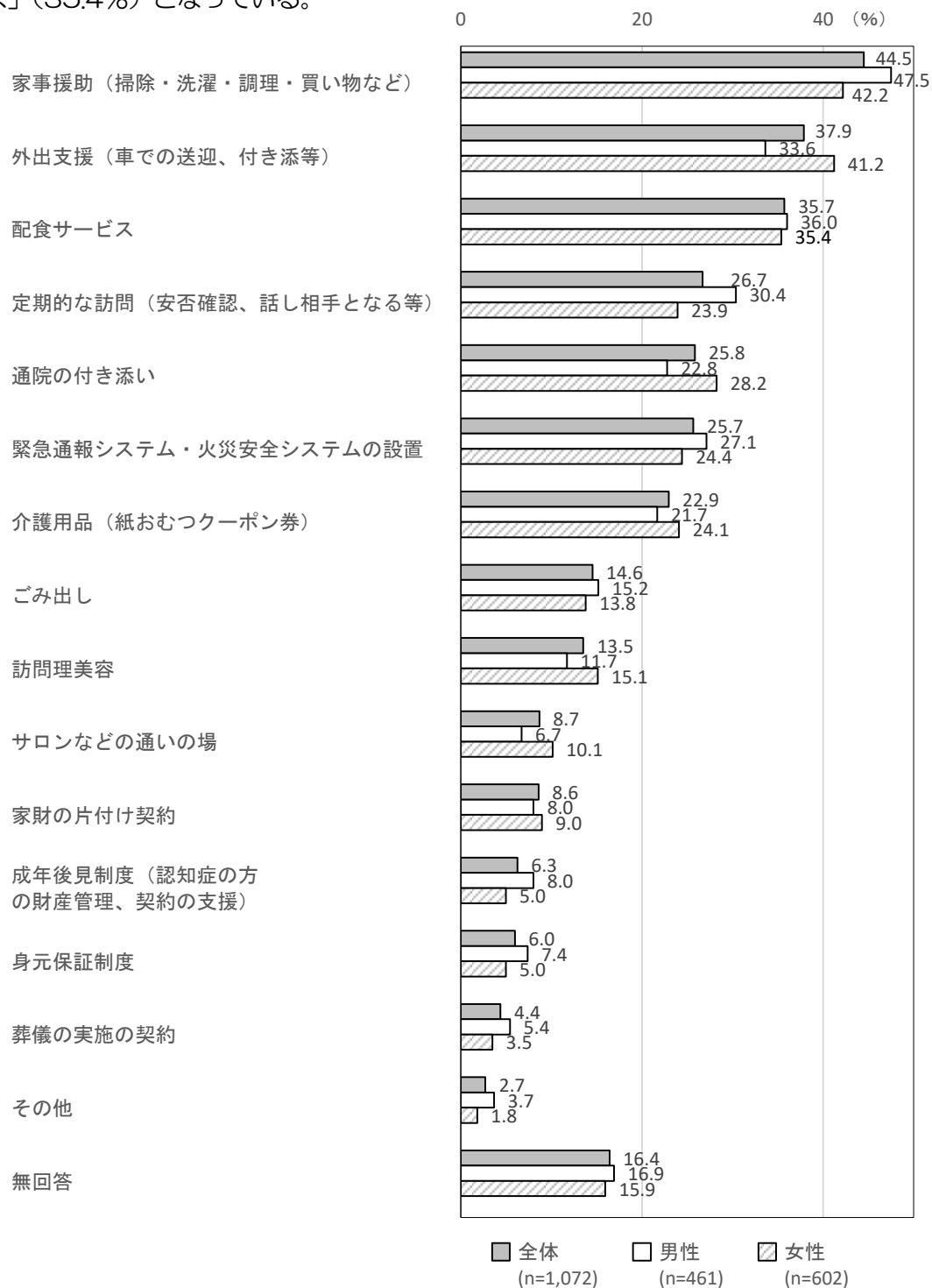
		回答者数（人）	全体的に介護保険料の額を安くしてほしい	介護保険料の額も介護保険サービスも現状のままでよい	介護保険サービスを充実するよりも、全体的に介護保険料の額を安くしてほしい	その他（具体的に：)	わからない	無回答
校 区 別	田原本小学校区	372	18.8	23.9	21.2	3.2	26.3	6.5
	東小学校区	109	22.9	21.1	21.1	6.4	23.9	4.6
	北小学校区	139	15.1	20.9	20.9	4.3	31.7	7.2
	南小学校区	205	18.5	24.9	27.3	2.9	20.5	5.9
	平野小学校区	207	20.8	26.1	20.3	3.4	25.1	4.3
	わからない	27	11.1	14.8	25.9	0.0	40.7	7.4

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 介護保険サービス以外であれば良い支援や協力

問 介護保険サービス以外でどのような支援サービスがあれば利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・介護保険サービス以外であれば良い支援や協力について、「全体」では「家事援助（掃除・洗濯・調理・買い物など）」が44.5%の割合で最も高くなっている。
- ・「男性」では「家事援助（掃除・洗濯・調理・買い物など）」(47.5%)、「配食サービス」(36.0%)、「外出支援（車での送迎、付き添等）」(33.6%)の順に対し、「女性」では「家事援助（掃除・洗濯・調理・買い物など）」(42.2%)「外出支援（車での送迎、付き添等）」(41.2%)、「配食サービス」(35.4%)となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、すべての年代で「家事援助（清掃・洗濯・調理・買い物など）」が最も高く、75歳以上では「外出支援（車での送迎、付き添い等）」も高くなっている。
- その他、概ね年代が下がるにつれて「配食サービス」や「緊急通報」などが高くなる傾向がみられる。

(%)

		回答者数（人）	家事援助（掃除・洗濯・調理・買い物など）	外出支援（車での送迎、付き添い等）	配食サービス	定期的な訪問（安否確認、話し相手となる等）	通院の付き添い	緊急通報システム・火災安全システムの設置	介護用品（紙おむつクーポン券）	ごみ出し
年代別	65～69歳	191	47.6	40.3	43.5	29.3	26.7	32.5	29.8	15.2
	70～74歳	266	53.8	42.9	44.7	34.6	33.1	31.6	24.1	19.2
	75～79歳	295	42.4	37.3	34.9	25.1	23.1	20.3	20.3	13.6
	80～84歳	184	39.1	34.2	26.6	22.3	21.7	21.7	21.7	11.4
	85歳以上	121	33.1	28.1	21.5	16.5	22.3	21.5	19.0	10.7

		回答者数（人）	訪問理美容	サロンなどの通いの場	家財の片付け契約	成年後見制度（認知症の方の財産管理、契約の支援）	身元保証制度	葬儀の実施の契約	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	13.1	8.9	9.4	8.9	6.3	4.7	3.7	12.6
	70～74歳	266	14.7	9.0	11.3	10.9	10.2	4.5	2.6	11.7
	75～79歳	295	14.2	7.5	8.8	3.7	4.4	3.4	1.7	18.6
	80～84歳	184	11.4	9.8	2.7	4.9	4.9	4.9	3.3	20.1
	85歳以上	121	14.0	9.1	8.3	0.8	2.5	4.1	2.5	22.3

※1 番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・校区別にみると、「東小学校区」では「配食サービス」の割合が最も高くなっている。また「北小学校区」では「外出支援」の割合が最も高くなっている。

(%)

		回答者数（人）	家事援助（掃除・洗濯・調理・買い物など）	外出支援（車での送迎、付き添等）	配食サービス	定期的な訪問（安否確認、話し相手となる等）	通院の付き添い	緊急通報システム・火災安全システムの設置	介護用品（紙おむつクーポン券）	ごみ出し
校区別	田原本小学校区	372	47.3	36.8	38.7	26.1	23.7	24.2	21.0	12.6
	東小学校区	109	44.0	38.5	45.9	32.1	30.3	23.9	23.9	9.2
	北小学校区	139	42.4	45.3	32.4	26.6	29.5	25.9	26.6	16.5
	南小学校区	205	39.0	36.1	30.7	27.8	27.3	28.8	20.5	17.1
	平野小学校区	207	49.3	37.7	33.3	23.7	23.7	25.6	25.1	15.9
	わからない	27	29.6	29.6	33.3	33.3	25.9	29.6	40.7	22.2

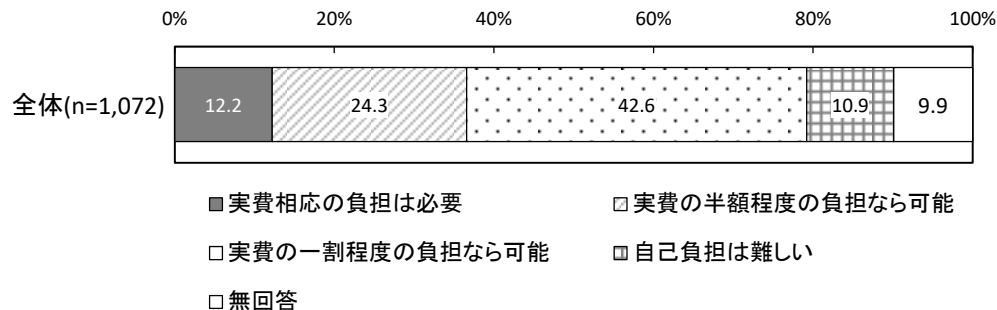
		回答者数（人）	訪問理美容	サロンなどの通いの場	家財の片付け契約	成年後見制度（認知症の方の財産管理、契約の支援）	身元保証制度	葬儀の実施の契約	その他	無回答
校区別	田原本小学校区	372	11.8	8.1	8.6	6.7	5.6	4.3	3.0	14.5
	東小学校区	109	15.6	8.3	11.0	3.7	2.8	1.8	0.0	13.8
	北小学校区	139	12.9	10.1	9.4	7.9	5.8	3.6	2.9	19.4
	南小学校区	205	14.1	9.8	8.8	8.3	8.3	7.3	2.0	18.0
	平野小学校区	207	15.9	9.2	5.3	3.9	6.3	3.4	3.9	15.9
	わからない	27	14.8	3.7	14.8	7.4	3.7	3.7	3.7	18.5

※1 番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 生活支援サービスを利用する際の自己負担について

問 生活支援サービスを利用する際の自己負担についてどのようにお考えですか。(ひとつだけ○)

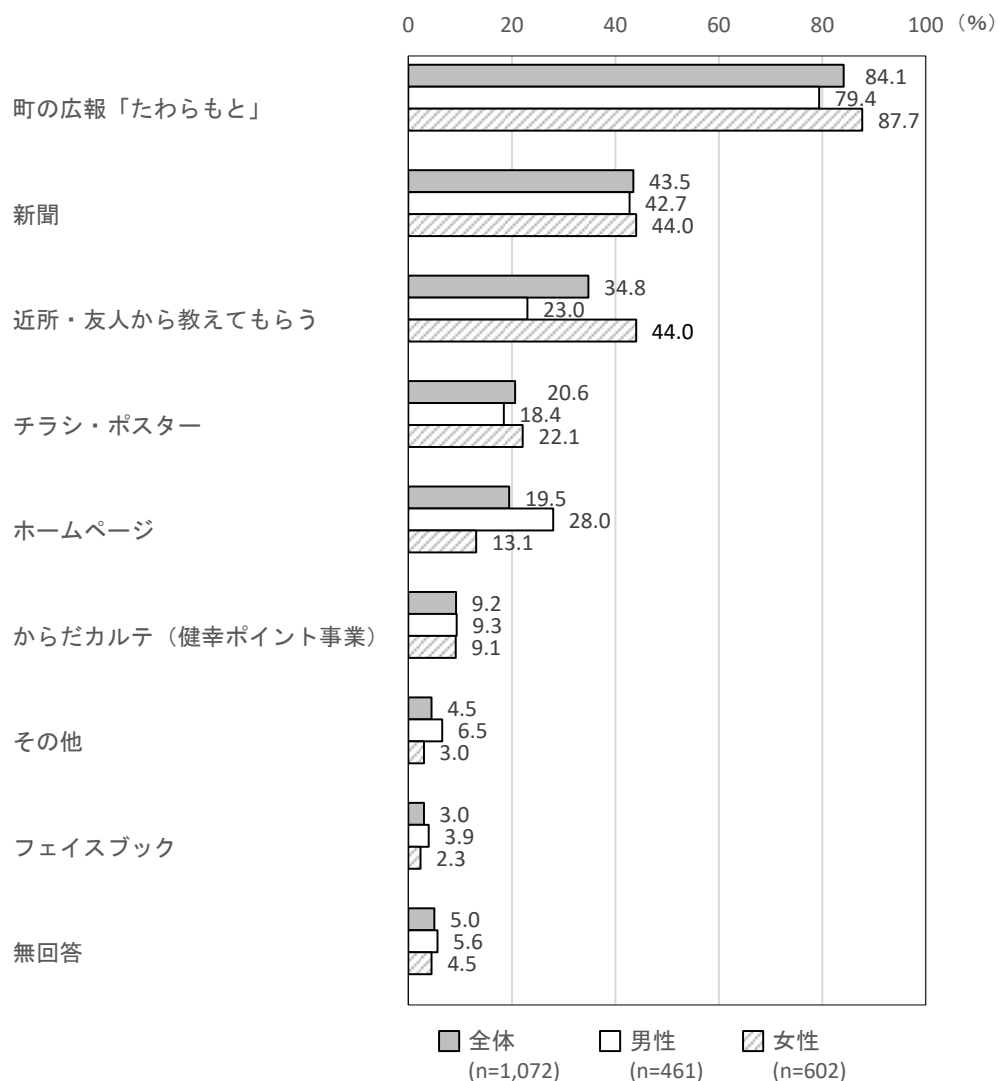
- ・生活支援サービスを利用する際の自己負担については、「実費の一割程度の負担なら可能」の割合が 42.6%と4割を超えて最も高く、次いで「実費の半額程度の負担なら可能」(24.3%)、「実費相応の負担は必要」(12.2%)、「自己負担は難しい」(10.9%)の順となっている。



(4) 利用している情報手段

問 あなたは、連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような手段を利用していますか。
(○はいくつでも)

- ・利用している情報手段については、「全体」では「町の広報「たわらもと」(84.1%)」の割合が最も高くなっている。
- ・「男性」では「ホームページ」(28.0%)が「女性」を上回っている。
- ・「女性」では、「近所・友人から教えてもらう」(44.0%)が「男性」を上回っている。

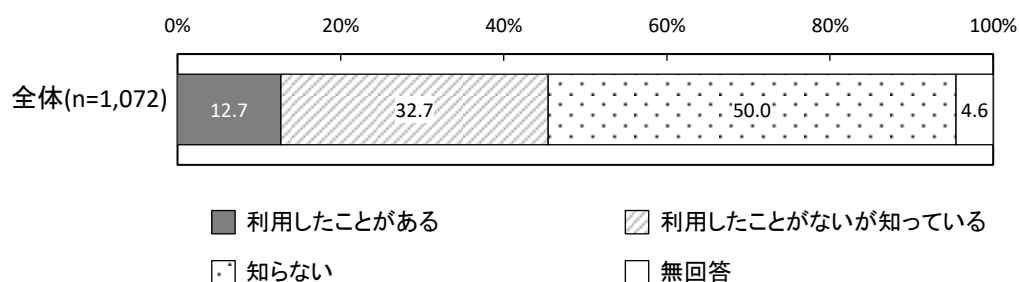


11. 今後の高齢者施策について

(1) 地域包括支援センターの認知度・利用意向について

問 地域包括支援センターの認知度・利用意向についてお伺いします。(ひとつだけ○)

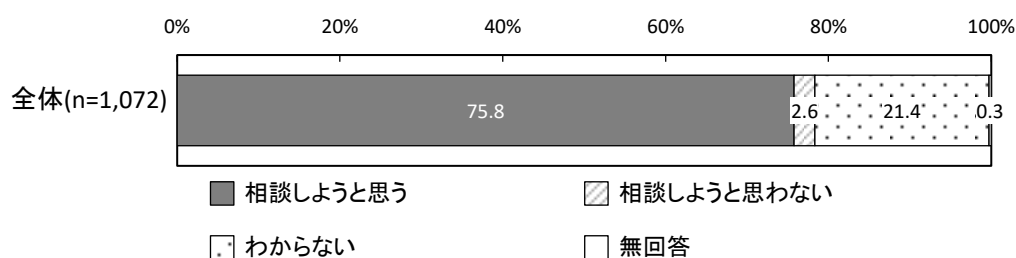
- ・地域包括支援センターの認知度・利用意向については、「知らない」が50.0%と半数で最も高く、次いで「利用したことがないが知っている」(32.7%)、「利用したことがある」(12.7%)の順となっている。



(1-1) 困りごとが起きた時、田原本町地域包括支援センターに相談しようと思うか

問 困りごとが起きた時、田原本町地域包括支援センターに相談しようと思いますか。(ひとつだけ○)

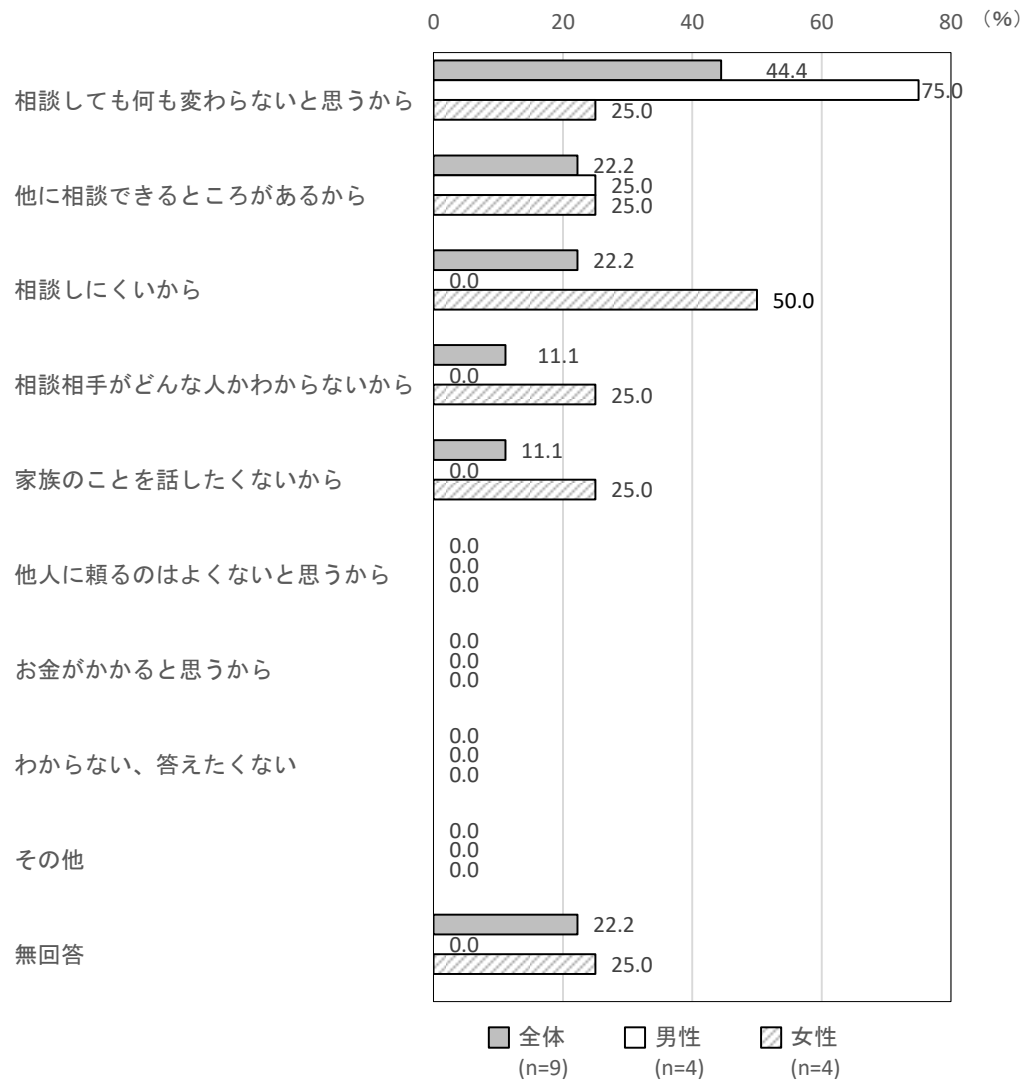
- ・困りごとが起きた時、田原本町地域包括支援センターに相談しようと思うかについては、「相談しようと思う」が75.8%と8割近くで最も高く、次いで「わからない」(21.4%)、「相談しようと思わない」(2.6%)の順となっている。



(1-2) 相談していない理由

問 (1-2) あなたが相談していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

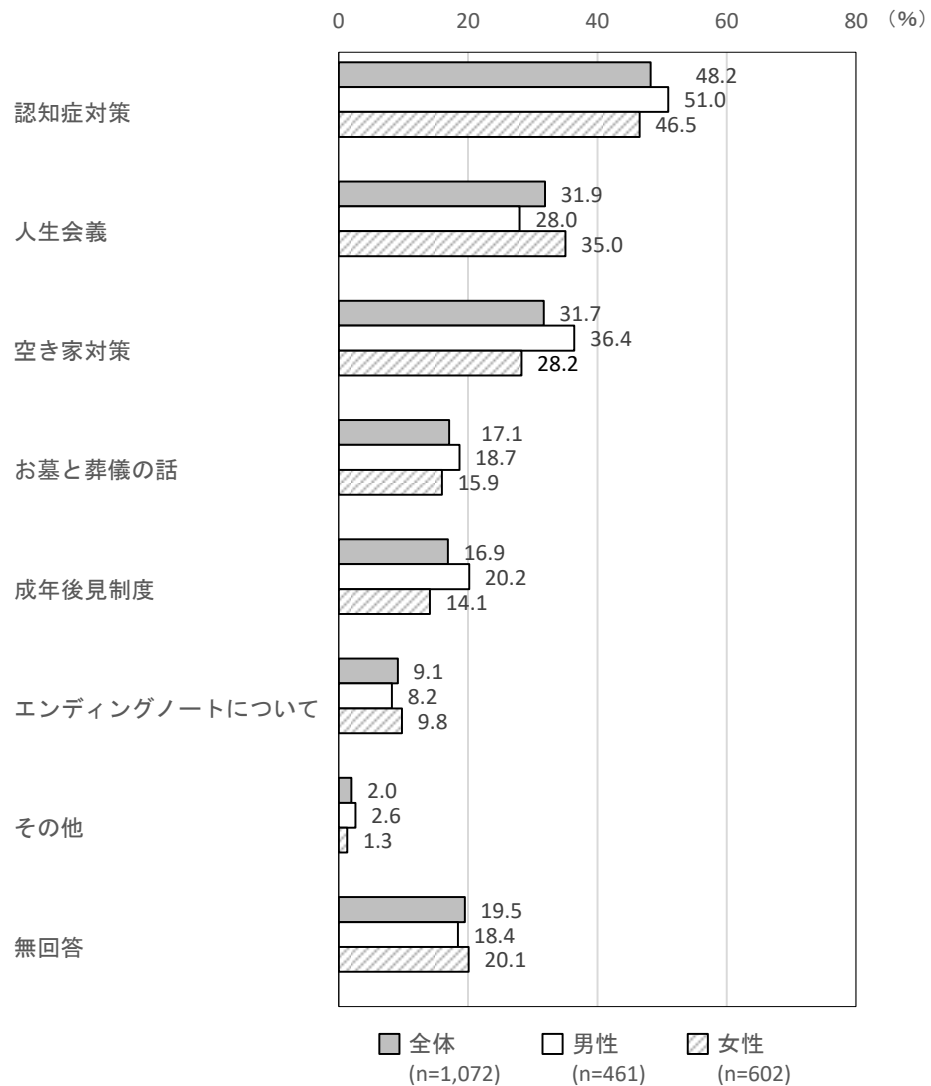
- ・相談していない理由については、「全体」では「相談しても何も変わらないと思うから」(44.4%)の割合が最も高くなっている。
- ・「男性」では「相談しても何も変わらないと思うから」(75.0%)の割合が最も高く、「女性」では、「相談しにくいから」(50.0%)の割合が最も高くなっている。



(2) 支援体制の構築に取り組みについて関心があること

問 町では身寄りがない人、身寄りがあっても頼る人がいない人への支援体制の構築に取り組んでいます。関心があることに○をしてください。(○はいくつでも)

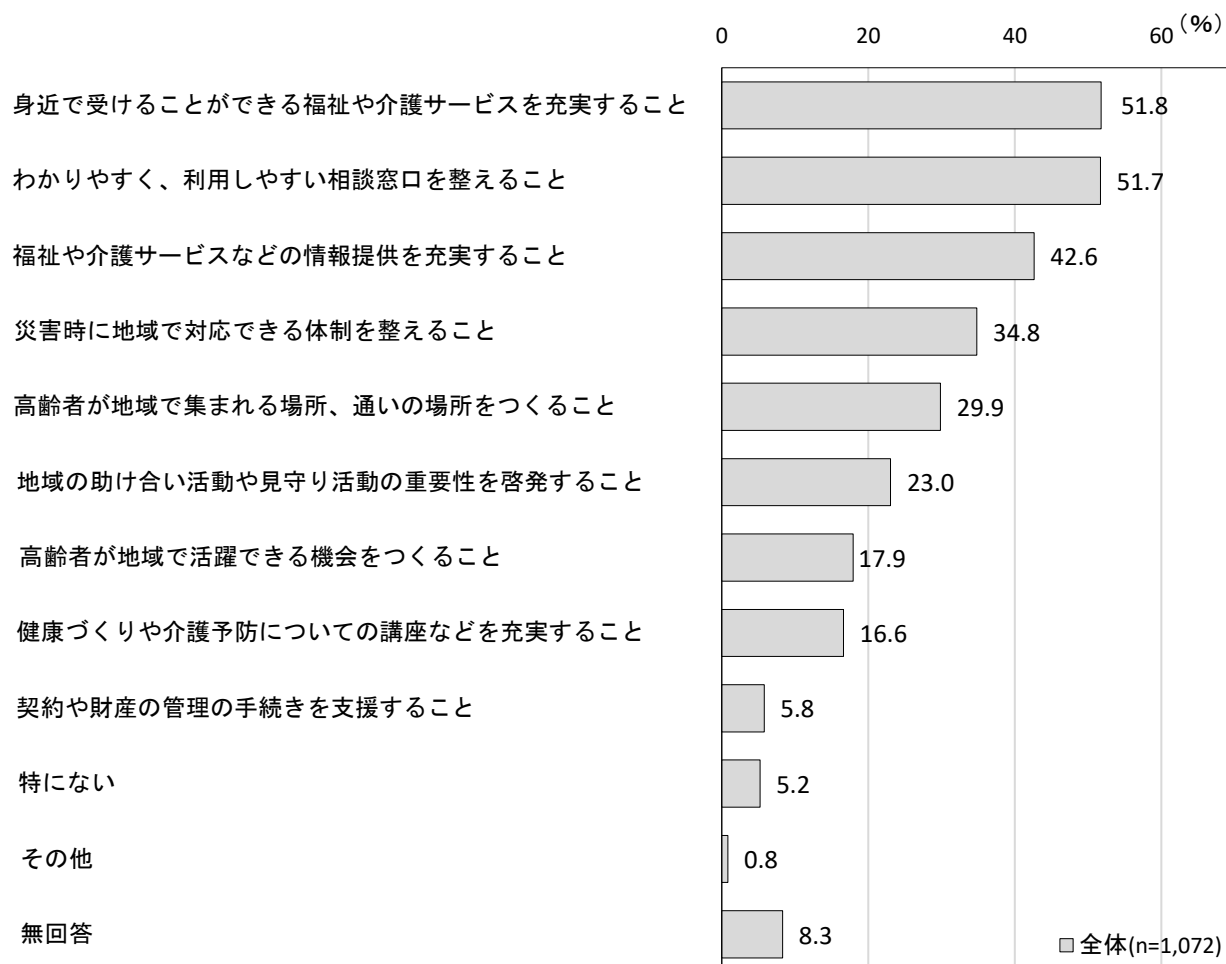
- ・支援体制の構築に取り組みについて関心があることについては、「全体」では「認知症対策」(48.2%)の割合が最も高くなっている。
- ・「男性」では「空き家対策」(36.4%)が「女性」を上回っている。
- ・「女性」では、「人生会義」(35.0%)が「男性」を上回っている。



(3) 今後行政（町）に重点的に取り組んでほしいこと

問 高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、行政（町）に今後どのようなことに重点的に取り組んでほしいと思いますか。（〇はいくつでも）

- ・今後行政（町）に重点的に取り組んでほしいことでは、「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実すること」が 51.8%と半数を超えて最も高く、次いで「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整えること」（51.7%）、「福祉や介護サービスなどの情報提供を充実すること」（42.6%）、「災害時に地域で対応できる体制を整えること」（34.8%）の順となっている。



《年代別》

- 年代別にみると、75 歳～85 歳以上では「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実すること」が最も高くなっている。
- 概ね年代が下がるにつれて「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整えること」や「福祉や介護サービスなどの情報提供を充実すること」、「災害時に地域で対応できる体制を整えること」などが高くなる傾向がみられる。

(%)

		回答者数（人）	身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実すること	わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整えること	福祉や介護サービスなどの情報提供を充実すること	災害時に地域で対応できる体制を整えること	高齢者が地域で集まれる場所、通いの場所をつくること	地域の助け合い活動や見守り活動の重要性を啓発すること
年代別	65～69歳	191	54.5	56.0	50.3	44.0	26.7	29.8
	70～74歳	266	56.0	61.3	45.1	42.1	28.6	27.1
	75～79歳	295	50.8	49.8	43.4	30.8	32.5	20.0
	80～84歳	184	46.2	43.5	36.4	27.2	32.6	19.0
	85歳以上	121	49.6	43.8	33.1	27.3	27.3	17.4

		回答者数（人）	高齢者が地域で活躍できる機会をつくること	健康づくりや介護予防についての講座などを充実すること	契約や財産の管理の手続きを支援すること	特になし	その他	無回答
年代別	65～69歳	191	26.7	20.4	8.4	4.7	1.0	4.7
	70～74歳	266	20.7	19.5	9.0	2.6	0.8	3.4
	75～79歳	295	17.3	14.6	3.7	4.7	1.0	9.2
	80～84歳	184	10.9	14.1	3.3	8.2	0.5	13.6
	85歳以上	121	10.7	14.0	4.1	8.3	0.8	13.2

※ 1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・校區別にみると、「東小学校区」、「北小学校区」では「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実すること」の割合が最も高くなっている。またほかの校區では「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整えること」の割合が最も高くなっている。

(%)

		回答者数（人）	身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実すること	わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整えること	福祉や介護サービスなどの情報提供を充実すること	災害時に地域で対応できる体制を整えること	高齢者が地域で集まれる場所、通いの場所をつくること	地域の助け合い活動や見守り活動の重要性を啓発すること
校區別	田原本小学校区	372	47.8	49.2	42.5	33.3	28.8	21.5
	東小学校区	109	63.3	59.6	51.4	30.3	22.9	26.6
	北小学校区	139	56.8	43.9	40.3	39.6	36.0	22.3
	南小学校区	205	51.2	54.6	41.0	35.6	32.7	27.3
	平野小学校区	207	52.2	53.1	42.5	35.7	30.4	20.8
	わからない	27	48.1	63.0	44.4	37.0	22.2	25.9

		回答者数（人）	高齢者が地域で活躍できる機会をつくること	契約や財産の管理の手続きを支援すること	健康づくりや介護予防についての講座などを充実すること	特にない	その他	無回答
校區別	田原本小学校区	372	17.2	5.9	14.8	3.5	0.3	10.8
	東小学校区	109	11.0	3.7	15.6	4.6	1.8	8.3
	北小学校区	139	19.4	5.8	20.1	4.3	0.7	7.9
	南小学校区	205	20.0	6.8	17.1	5.9	1.0	6.8
	平野小学校区	207	19.3	5.8	17.4	6.8	1.4	5.3
	わからない	27	25.9	3.7	22.2	11.1	0.0	3.7

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

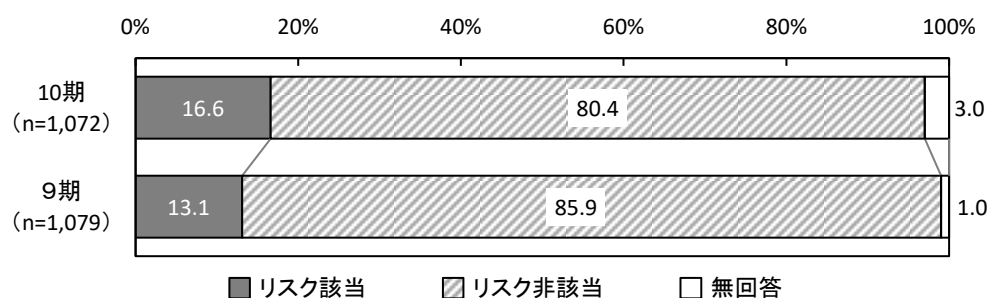
12. 生活機能評価等に関する分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きに基づき、調査票の以下の5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能』の低下している高齢者になります。

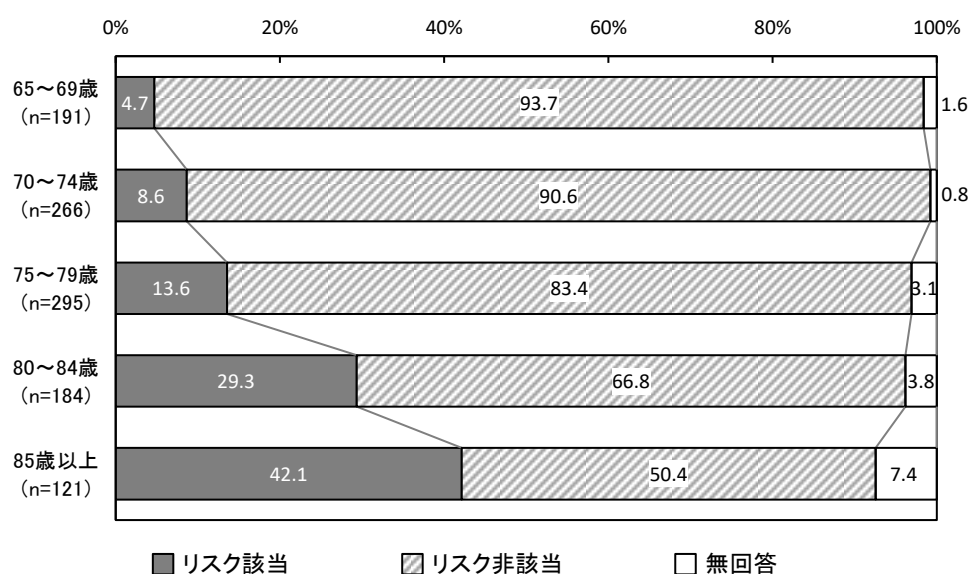
問番号	設問	該当する選択肢
3 からだを 動かすこ とについ て	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	できない
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	できない
	(3) 15分位続けて歩いているか	できない
	(4) 過去1年間に転んだ経験があるか	何度もある／1度ある
	(5) 転倒に対する不安は大きいのか	とても不安である／やや不安である

- ・運動器の機能低下の判定結果をみると、「リスク該当」は16.6%と1割以上となっている。
- ・前回調査に比べ、「リスク該当」は3.5ポイント増加している。



《年代別》

- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「リスク該当」が高くなっており、85歳以上では42.1%と約4割を占めている。

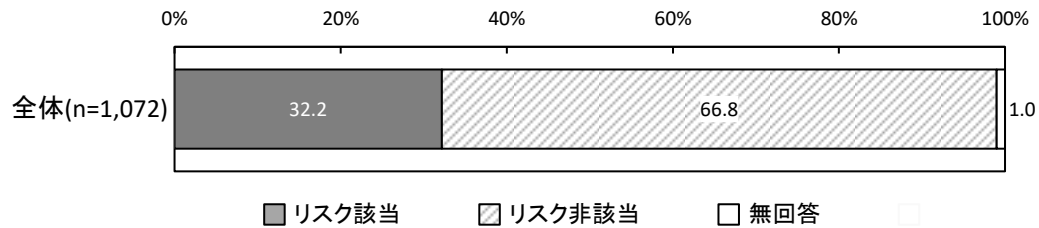


(2) 転倒リスク

国の手引きに基づき、調査票の以下の「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、『転倒リスク』のある高齢者になります。

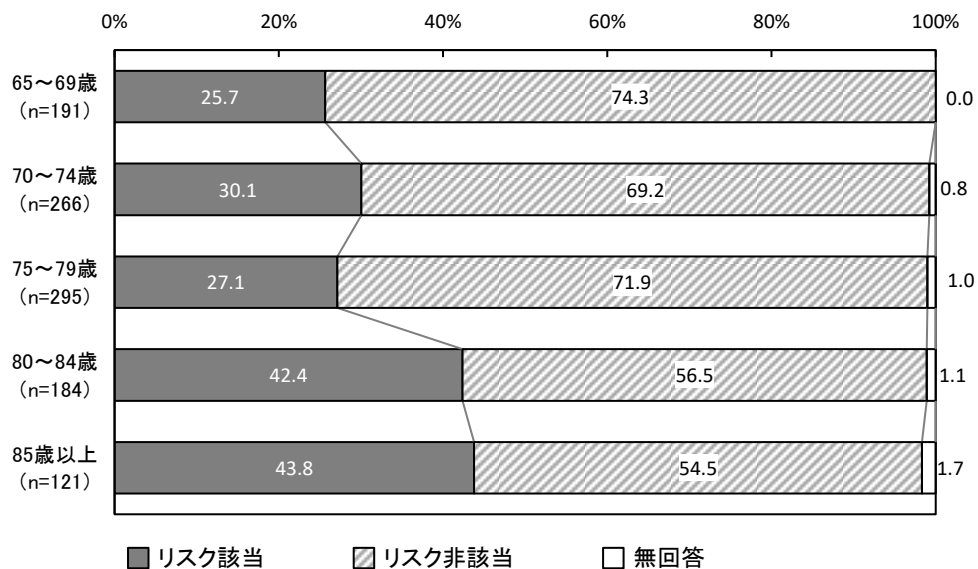
問番号	設問	該当する選択肢
3 からだを動かす ことについて	(4) 過去1年間に転んだ経験があるか	何度もある／1度ある

- ・転倒リスクの判定結果をみると、「リスク該当」は32.2%と3割以上となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「リスク該当」が高くなっており、85歳以上では43.8%と4割以上を占めている。

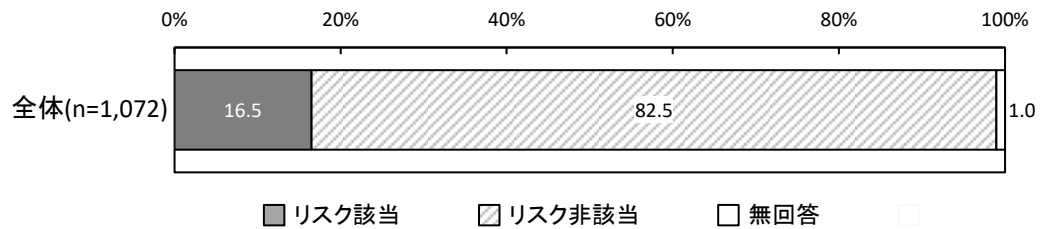


(3) 閉じこもり傾向

国の手引きに基づき、調査票の以下の「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、『閉じこもり傾向』のある高齢者になります。

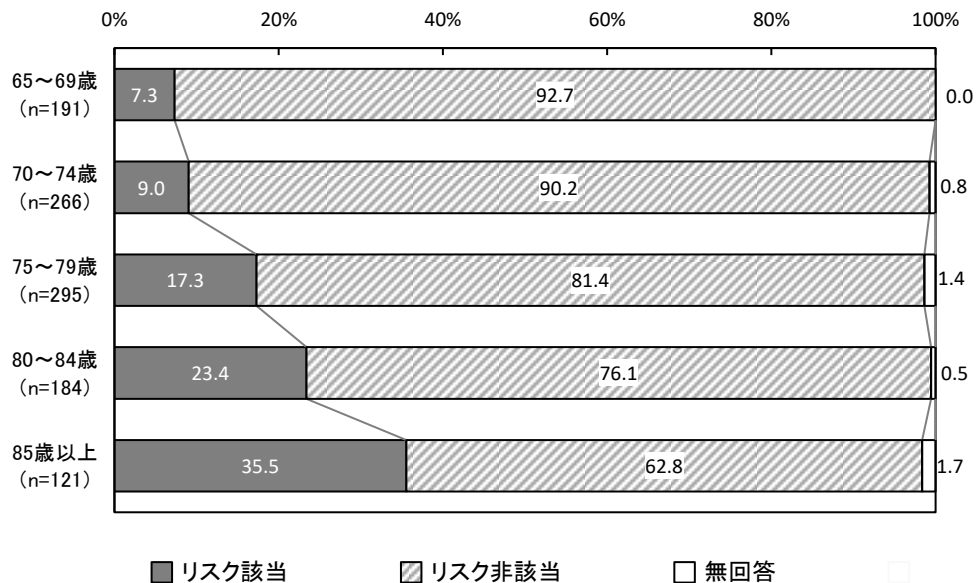
問番号	設問	該当する選択肢
3 からだを動かす ことについて	(6) 週にどれくらい外出しているか	ほとんど外出しない／週1回

- ・閉じこもり傾向の判定結果をみると、「リスク該当」は16.5%と1割以上となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「リスク該当」が高くなっており、85歳以上では35.5%と3割以上を占めている。

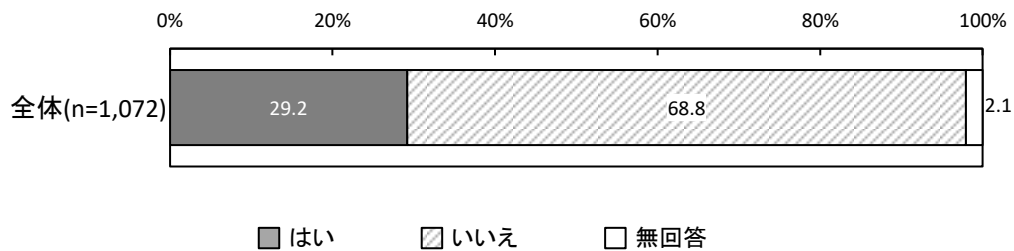


(4) 口腔機能の低下

国の手引きに基づき、調査票の以下の「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、『口腔機能』の低下している高齢者になります。

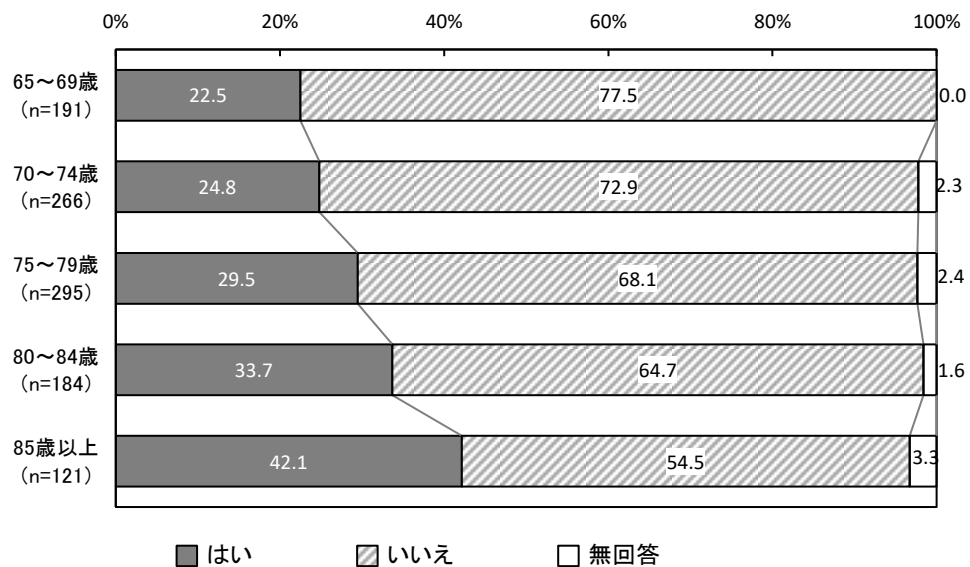
問番号	設問	該当する選択肢
4 食べることに ついて	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	はい（食べにくくなった）

- ・口腔機能の低下の判定結果をみると、「リスク該当」は29.2%と約3割となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、年代が上がるにつれて「リスク該当」が高くなる傾向となっており、85歳以上では4割以上を占めている。

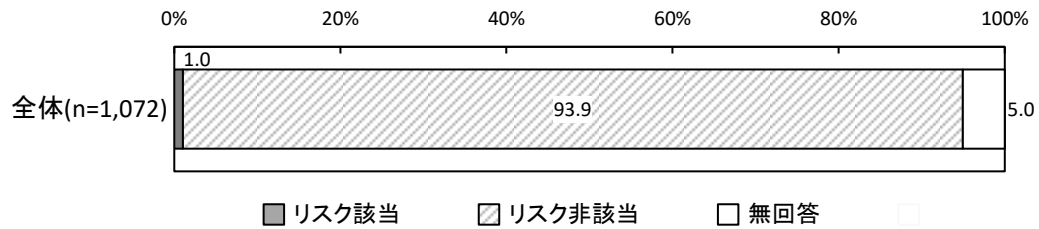


(5) 低栄養の傾向

国の手引きに基づき、調査票の以下の2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のある高齢者になります。

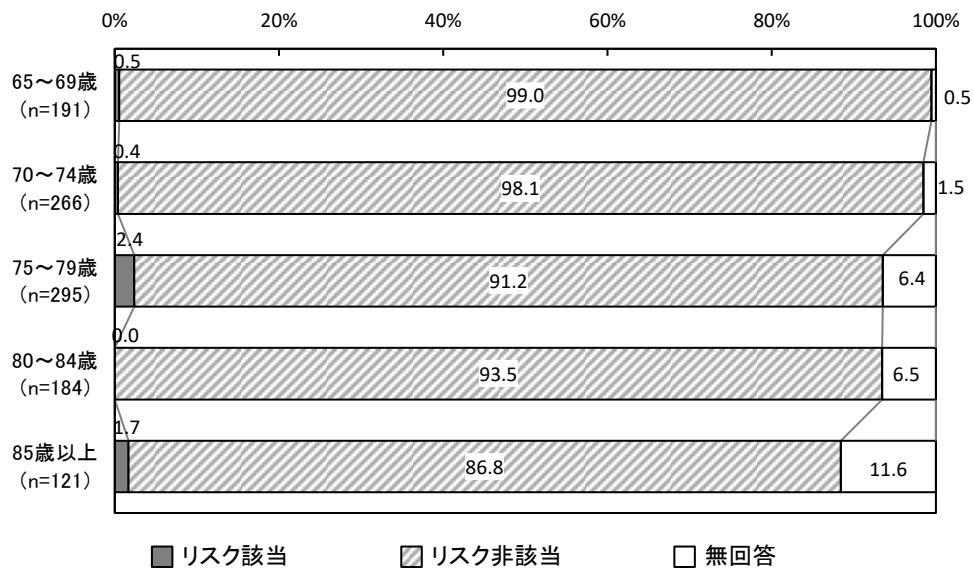
問番号	設問	該当する選択肢
4 食えること について	(1) 身長・体重	BMI 18.5 未満
	(6) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があるか	はい (ある)

- ・低栄養の傾向の判定結果をみると、「リスク該当」は 1.0%となっている。



《年代別》

- ・年代別にみると、大きな差異はみられない。

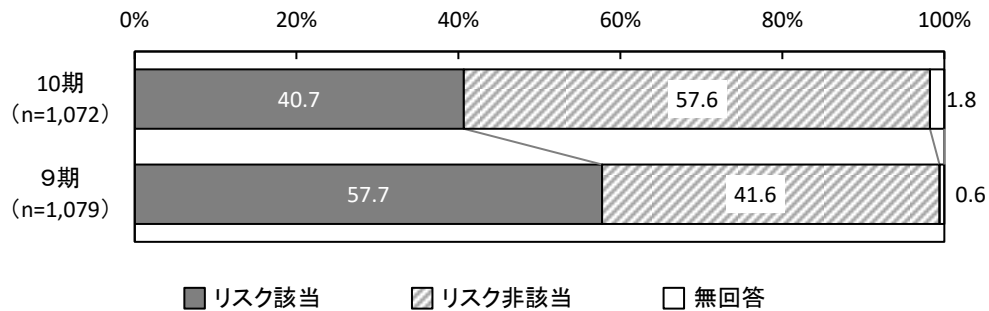


(6) 認知機能の低下

国の手引きに基づき、調査票の以下の「1. はい」に該当する人を『認知機能の低下』がみられる高齢者になります。

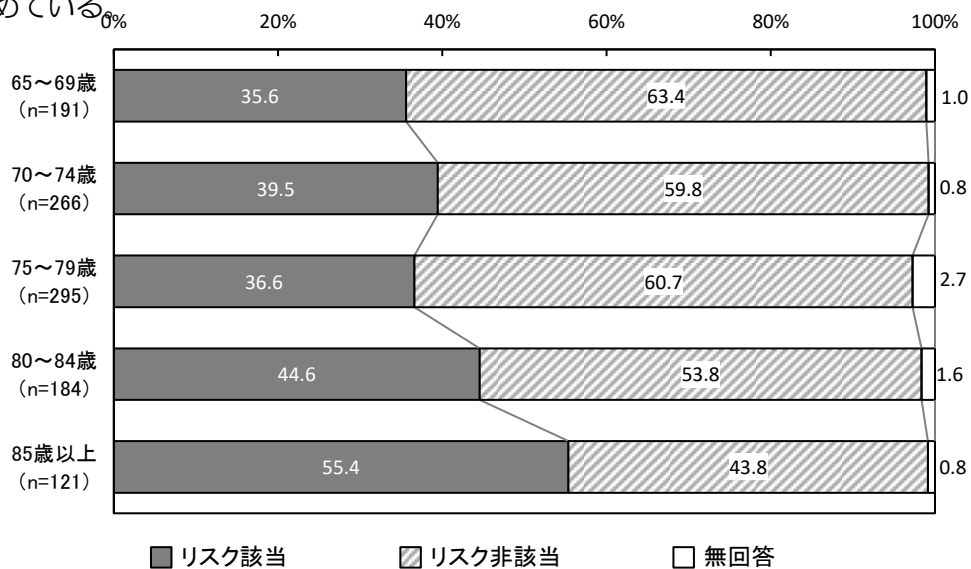
問番号	設問	該当する選択肢
5 毎日の生活について	(1) 物忘れが多いと感じますか	はい

- ・認知機能の低下の判定結果をみると、「リスク該当」は40.7%と約4割を占めている。
- ・前回調査に比べ、「リスク該当」は17.0ポイント減少している。



《年代別》

- ・年代別にみると概ね年代が上がるにつれて「リスク該当」が高くなっており、85歳以上では約5割を占めている。

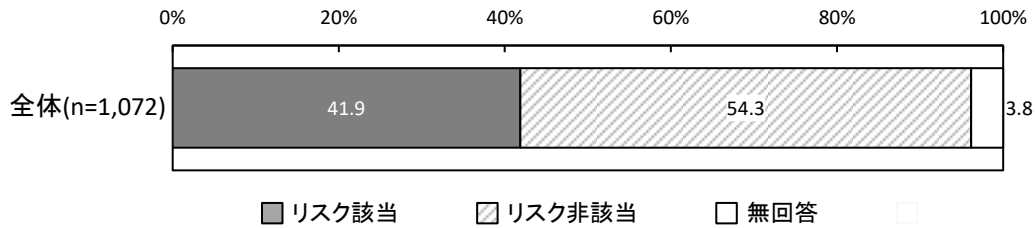


(7) うつ傾向

国の手引きに基づき、調査票の以下の2項目のいずれかに該当する人を『うつ傾向』の高齢者になります。

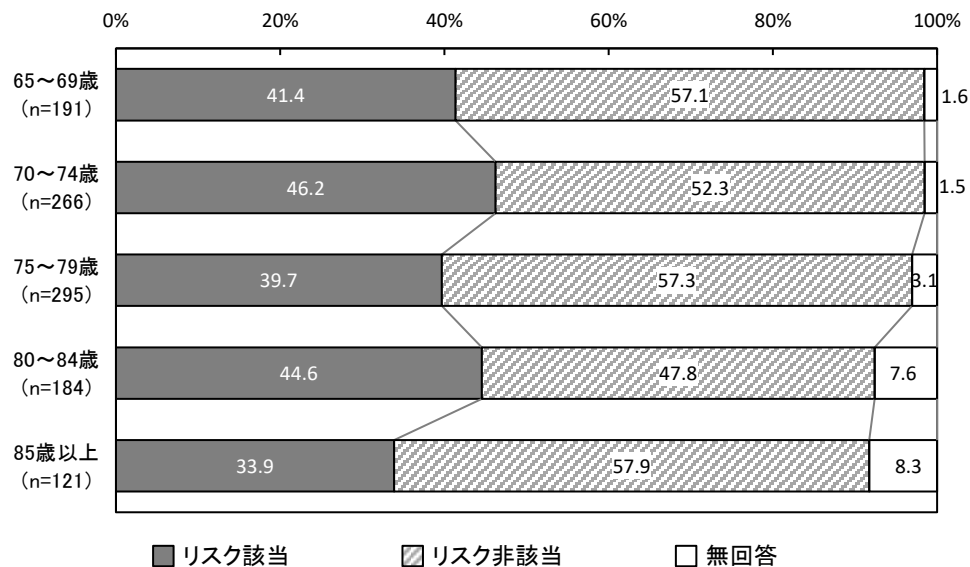
問番号	設問	該当する選択肢
8 健康について	(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか	はい（あった）
	(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	はい（あった）

- ・うつ傾向の判定結果をみると、「リスク該当」は41.9%と4割を超えている。



《年代別》

- ・年代別にみると、70～74歳で「リスク該当」が最も高く、約半数となっている。



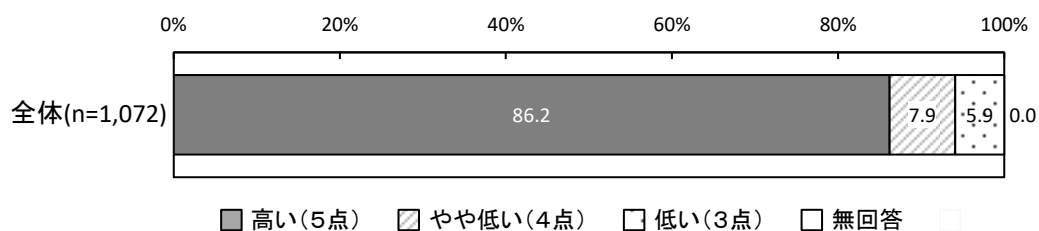
(8) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握する。

評価は、調査票の以下の5項目に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下を『低下者』）と評価している。

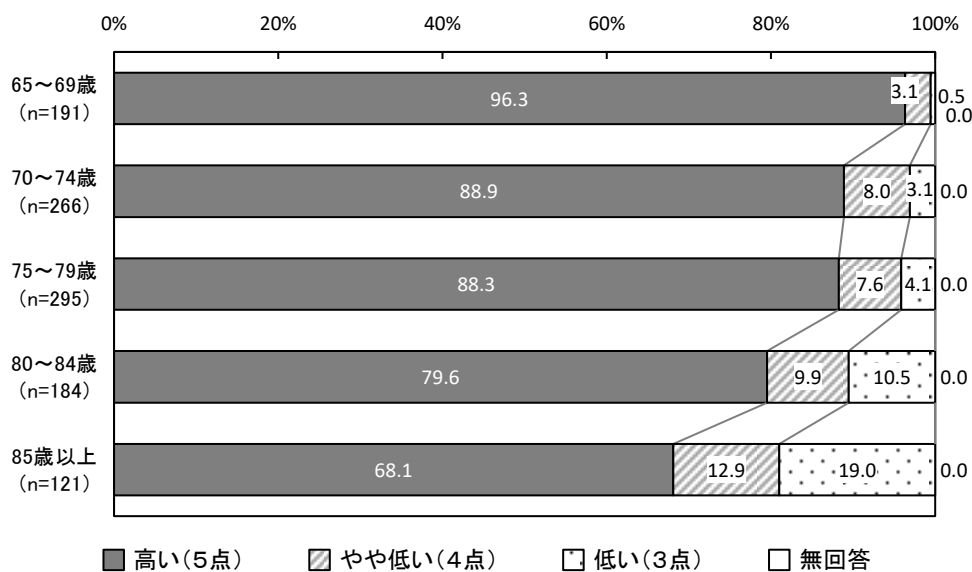
問番号	設問	該当する選択肢
5 毎日の生活について	(3) タクシーや電車を使って1人で外出しているか	できるし、している（1点） できるけどしていない（1点）
	(4) 自分で食品・日用品の買物をしているか	
	(5) 自分で食事の用意をしているか	
	(6) 自分で請求書の支払いをしているか	
	(7) 自分で預貯金のおし入れをしているか	

- 手段的自立度（IADL）の判定結果をみると、「やや低い」と「低い」を合わせた『低下者』は13.8%と1割を超えている。



《年代別》

- 年代別にみると、年代が上がるにつれて『低下者』が高くなっており、80～84歳で約2割、85歳以上では3割以上を占めている。



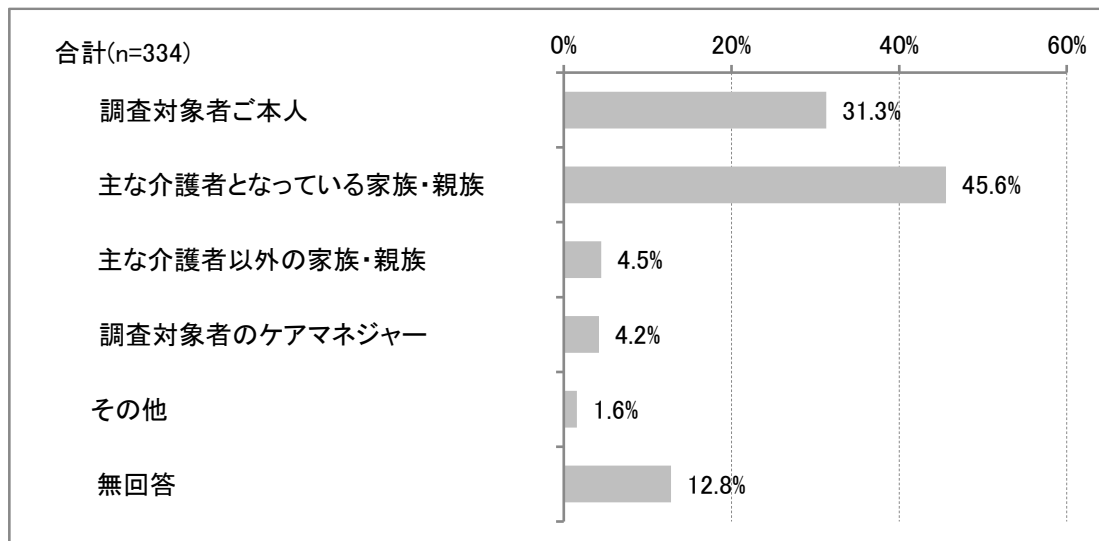
Ⅲ 在宅介護実態調査

1. 回答者の属性

(1) 記入者

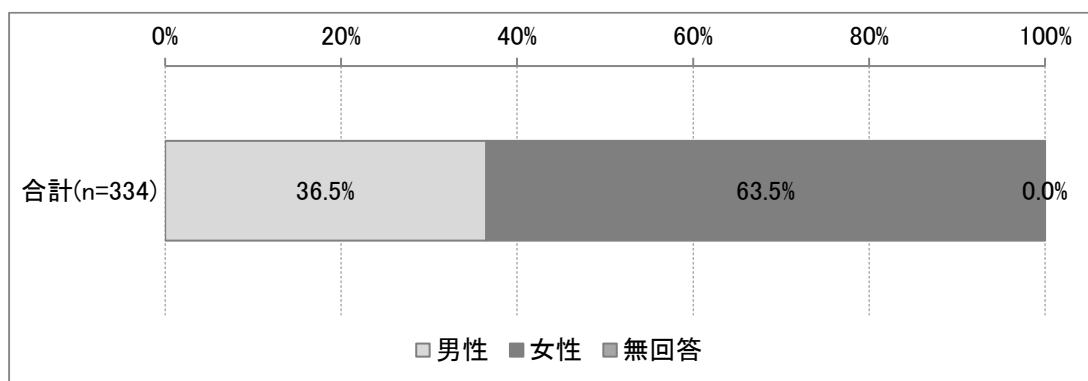
問 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- ・調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が 54.2%、「調査対象者ご本人」が 36.7%となっている。



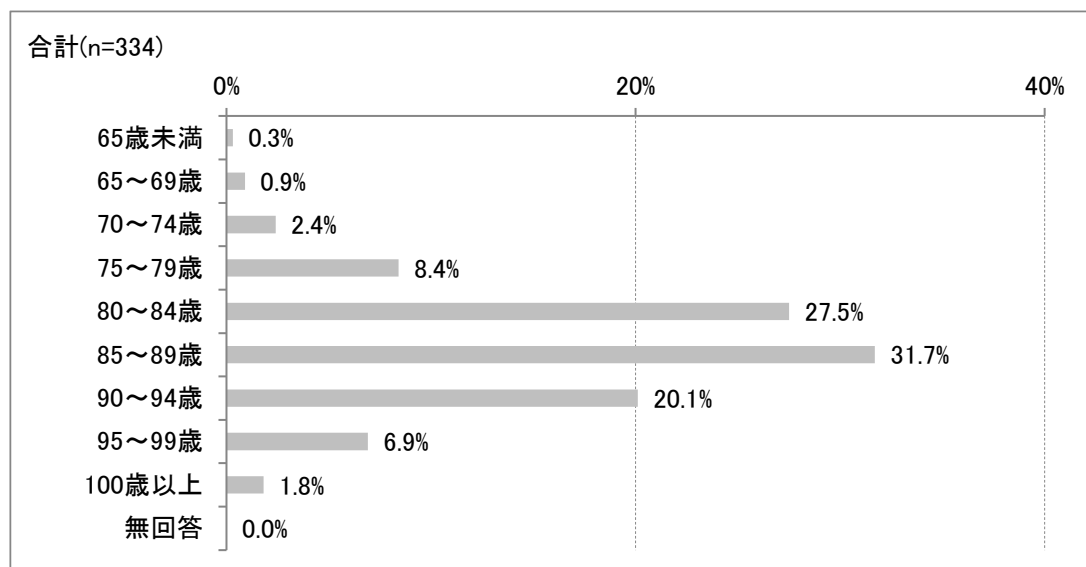
(2) 性別

- ・性別は、「男性」が 36.5%、「女性」が 63.5%となっている。



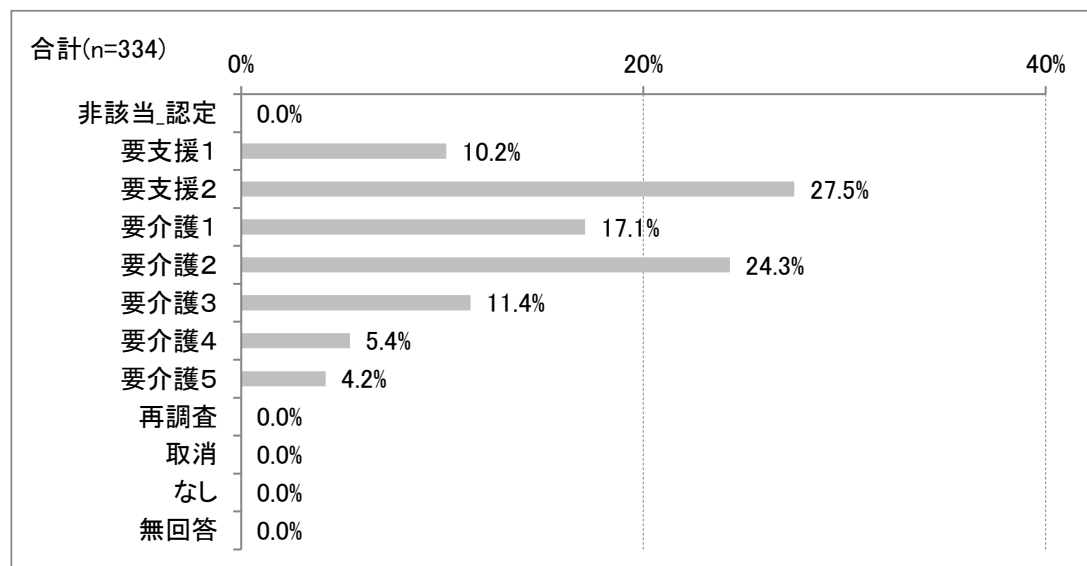
(3) 年齢

- 年齢は、「85～89 歳」が 31.7%と最も高く、次いで「80～84 歳」(27.5%)、「90～94 歳」(20.1%) の順となっており、『後期高齢者(75 歳以上)』が 9 割を超えている。



(4) 要介護認定の状況

- 要介護認定の状況は、「要支援2」が 27.5%と3割近くを占めて最も高く、次いで「要介護2」(24.3%)、「要介護1」(17.1%)、「要介護3」(11.4%) の順となっている。

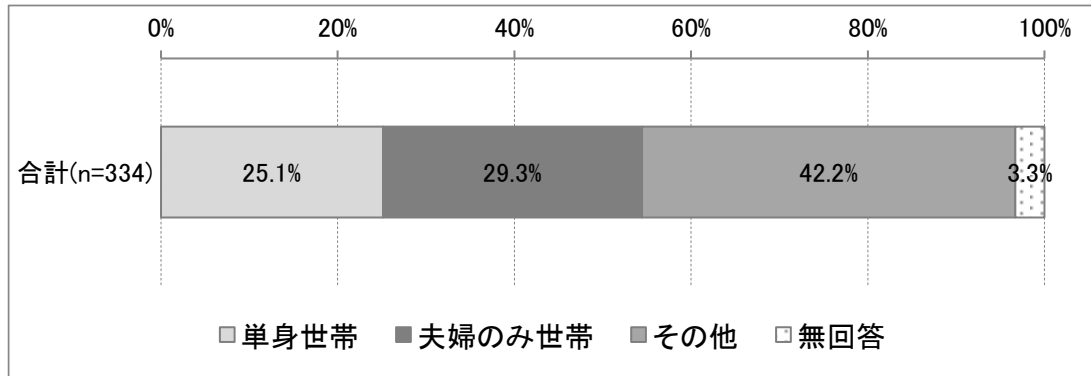


2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

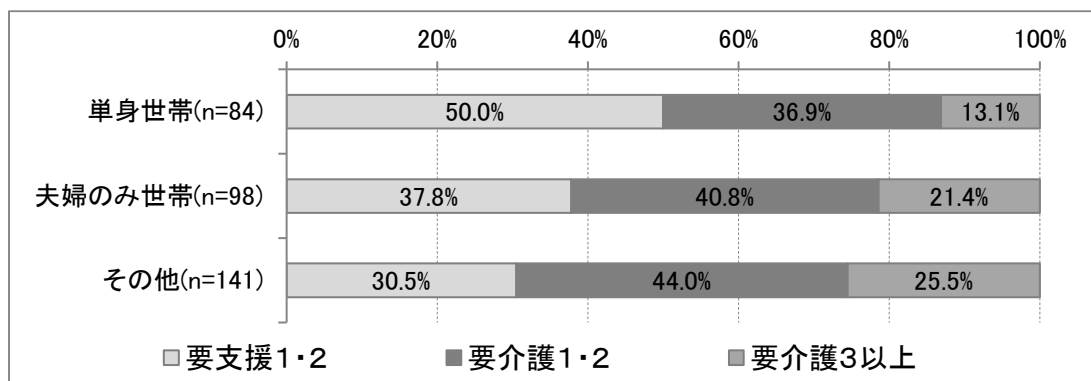
問 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- ・家族構成は、「その他」の割合が最も高く 42.2%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯」(29.3%)、「単身世帯」(25.1%) となっている。



《要介護度別》

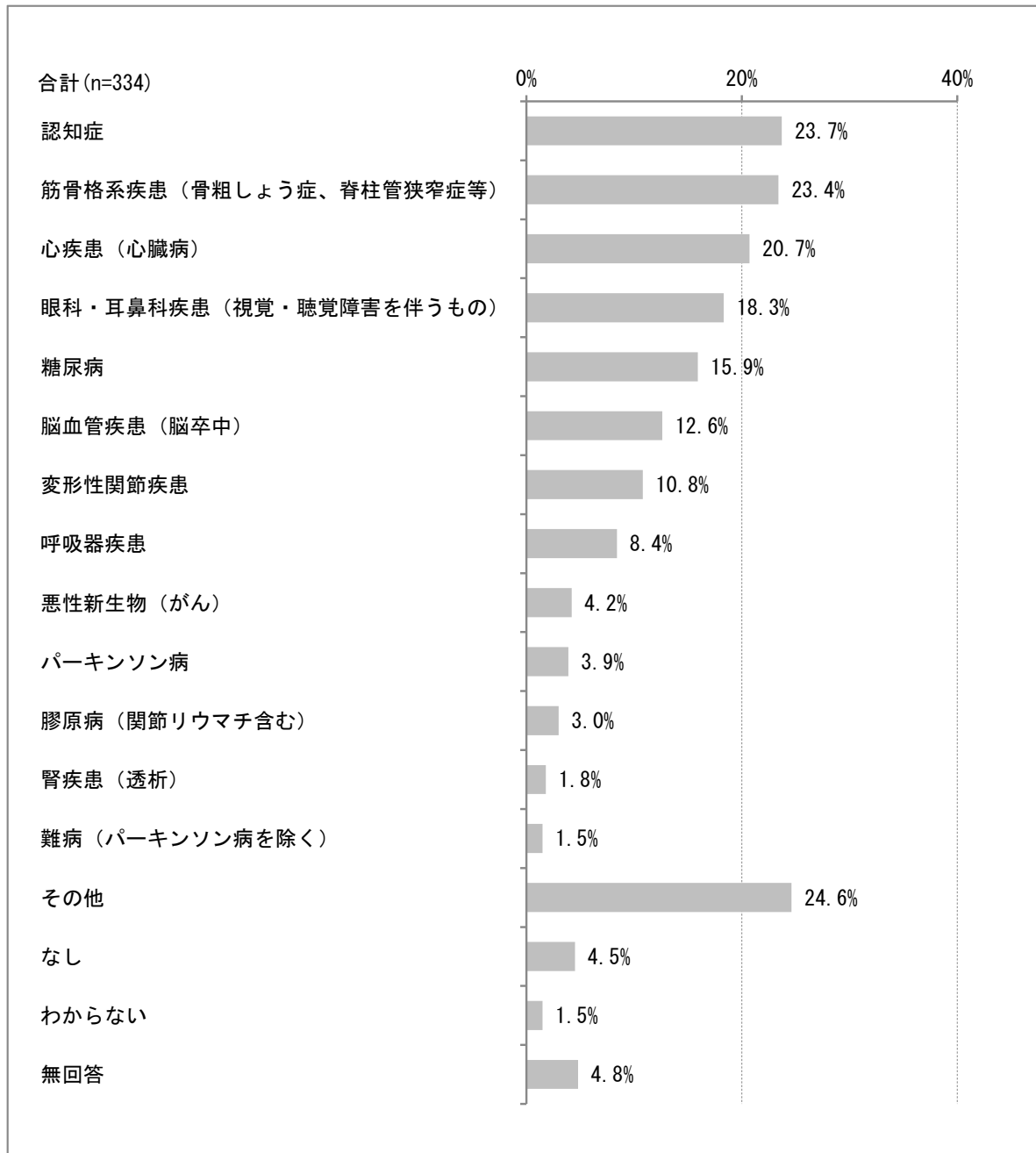
- ・要介護度別にみると、介護度が下がるにつれて「単身世帯」が高くなっており、要支援1・2では約4割となっている。



(2) 現在抱えている傷病

問 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

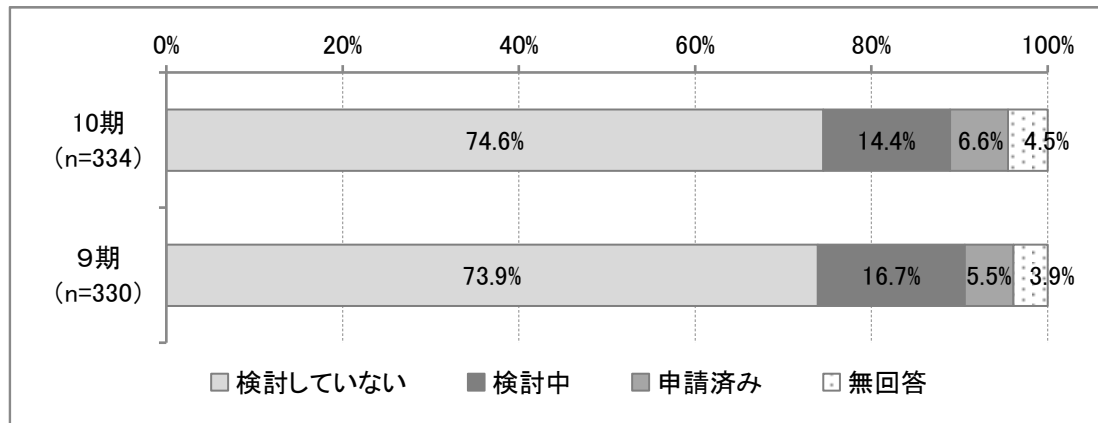
- ・現在抱えている傷病では、「その他」の割合が最も高く 24.6%となっている。次いで、「認知症」(23.7%)、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(23.4%)となっている。



(3) 施設等への入所・入居の検討状況

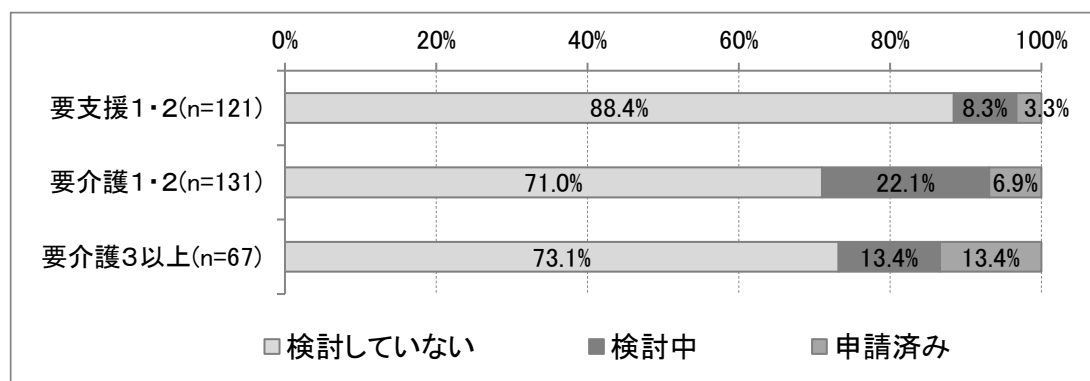
問 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

- ・施設等への入所・入居の検討状況は、「検討していない」が74.6%と7割以上を占めて最も高くなっている。
- ・次いで「検討中」が14.4%、「申請済み」が6.6%となっている。
- ・前回調査に比べ、「検討中」は2.3ポイント減少している。



《要介護度別》

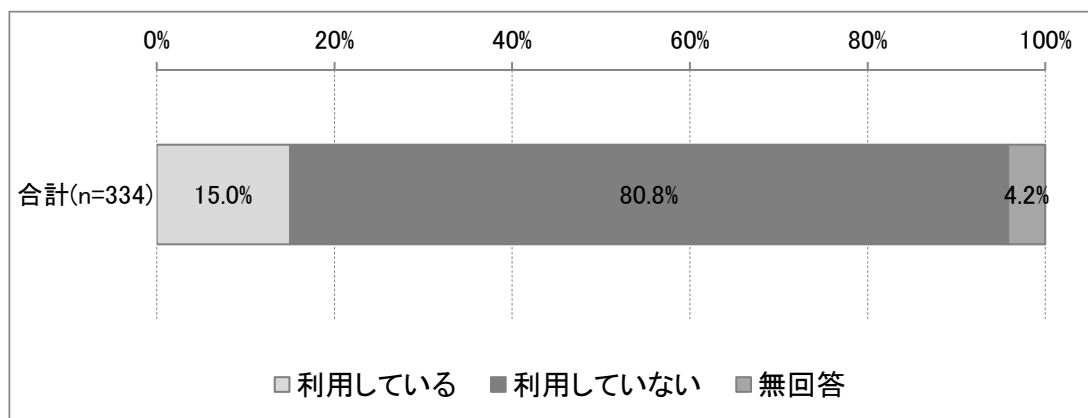
- ・要介護度別にみると、「検討中」や「申請済み」は、要介護1・2では約4割を占めている。



(4) 訪問診療の利用状況

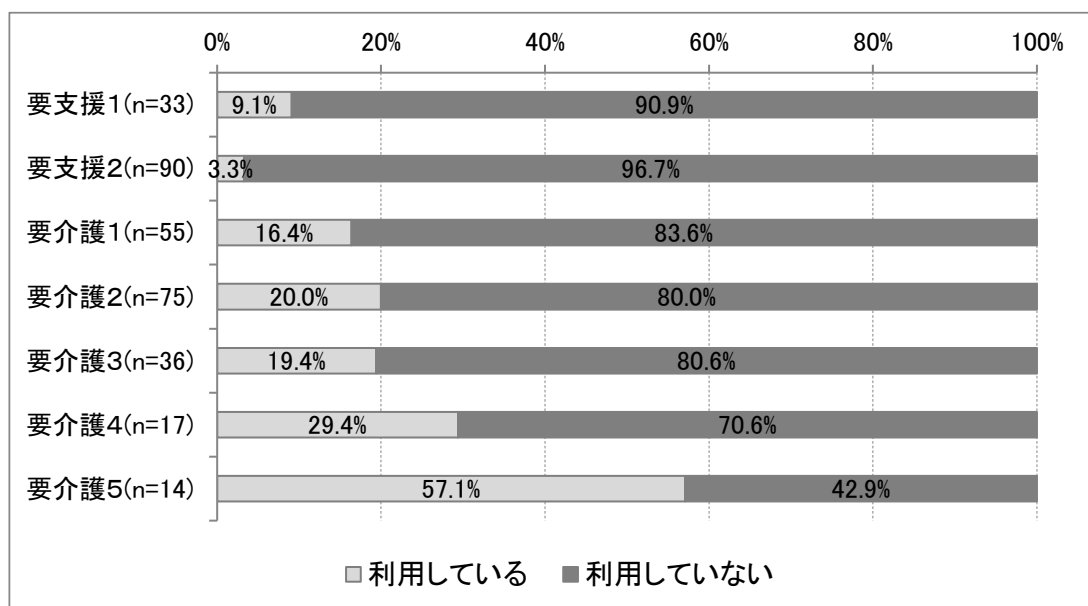
問 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

- ・訪問診療の利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 80.8%となっている。次いで、「利用している」(15.0%) となっている。



《要介護度別》

- ・要介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「利用している」が高くなっており、要介護5以上では5割以上を占めている。

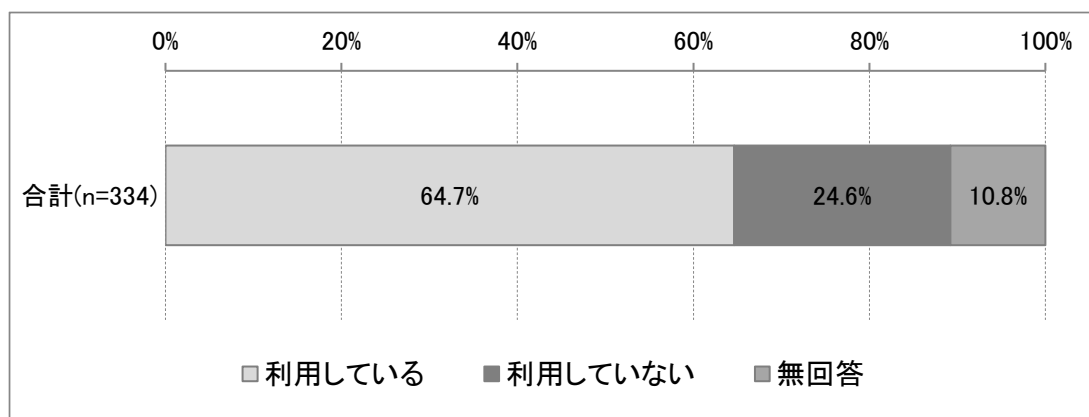


3. 必要となる支援や介護について

(1) (住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスの利用状況

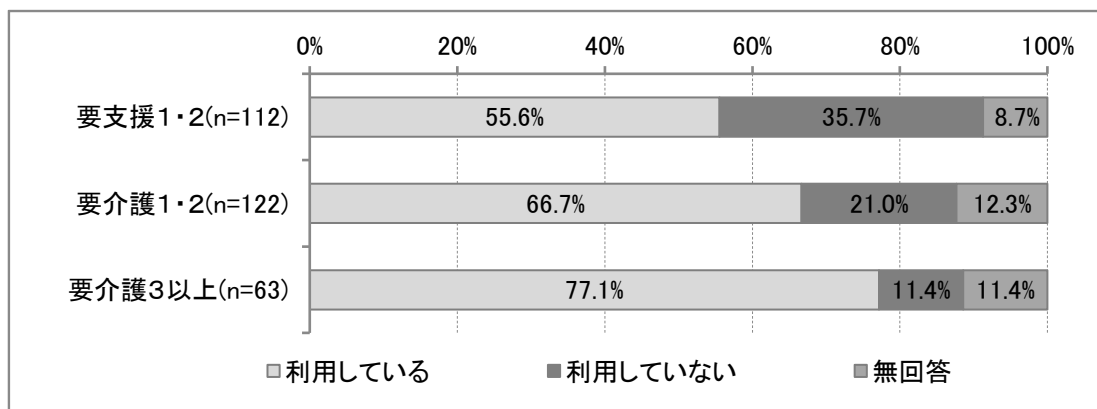
問 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。
(○は1つ)

- ・(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスの利用状況は、「利用している」の割合が最も高く 64.7%となっている。次いで、「利用していない」(24.6%) となっている。



《要介護度別》

- ・要介護度別にみると、「利用している」の割合は、要介護3以上で最も高く 77.1%となっている。次いで、要介護1・2で 66.7%、要支援1・2で 55.6%となっている。

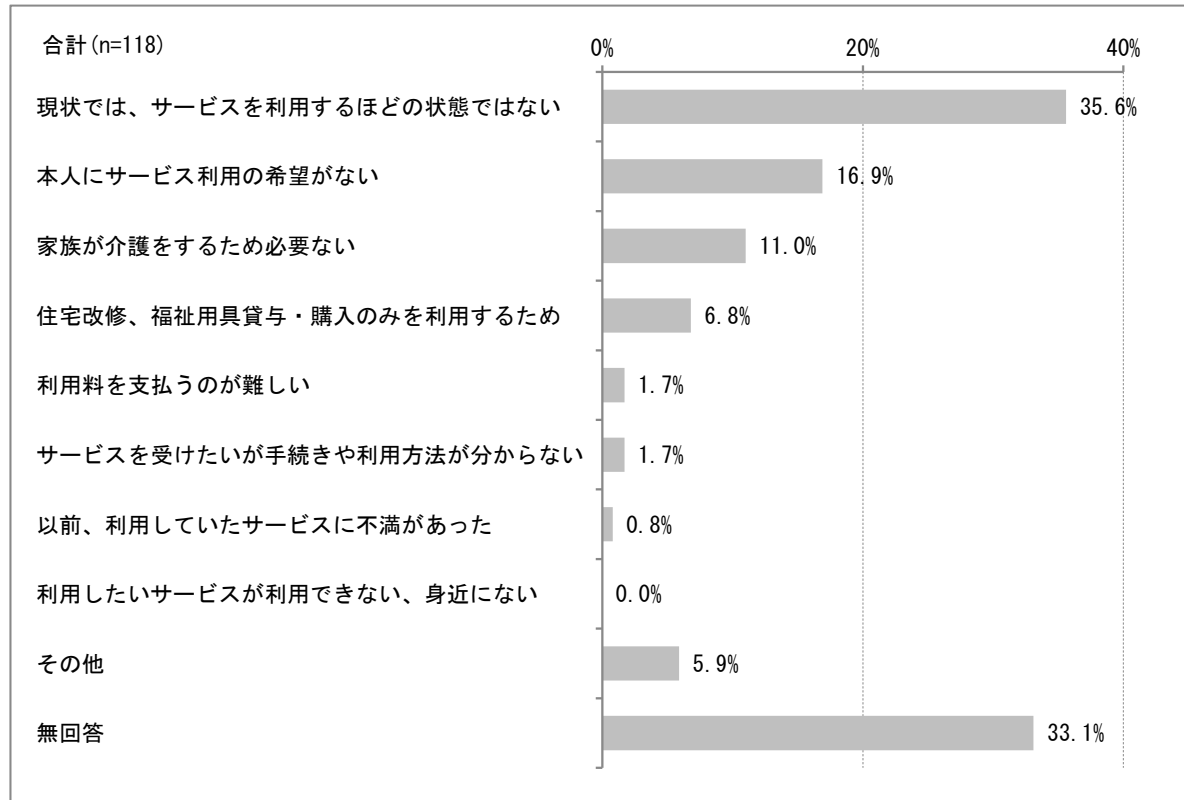


(1) -① 介護保険サービスを利用していない理由

【(1) で「利用していない」と回答した方のみお答えください】

問 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 35.6%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない」(16.9%)、「家族が介護をするため必要ない」(11.0%)となっている。

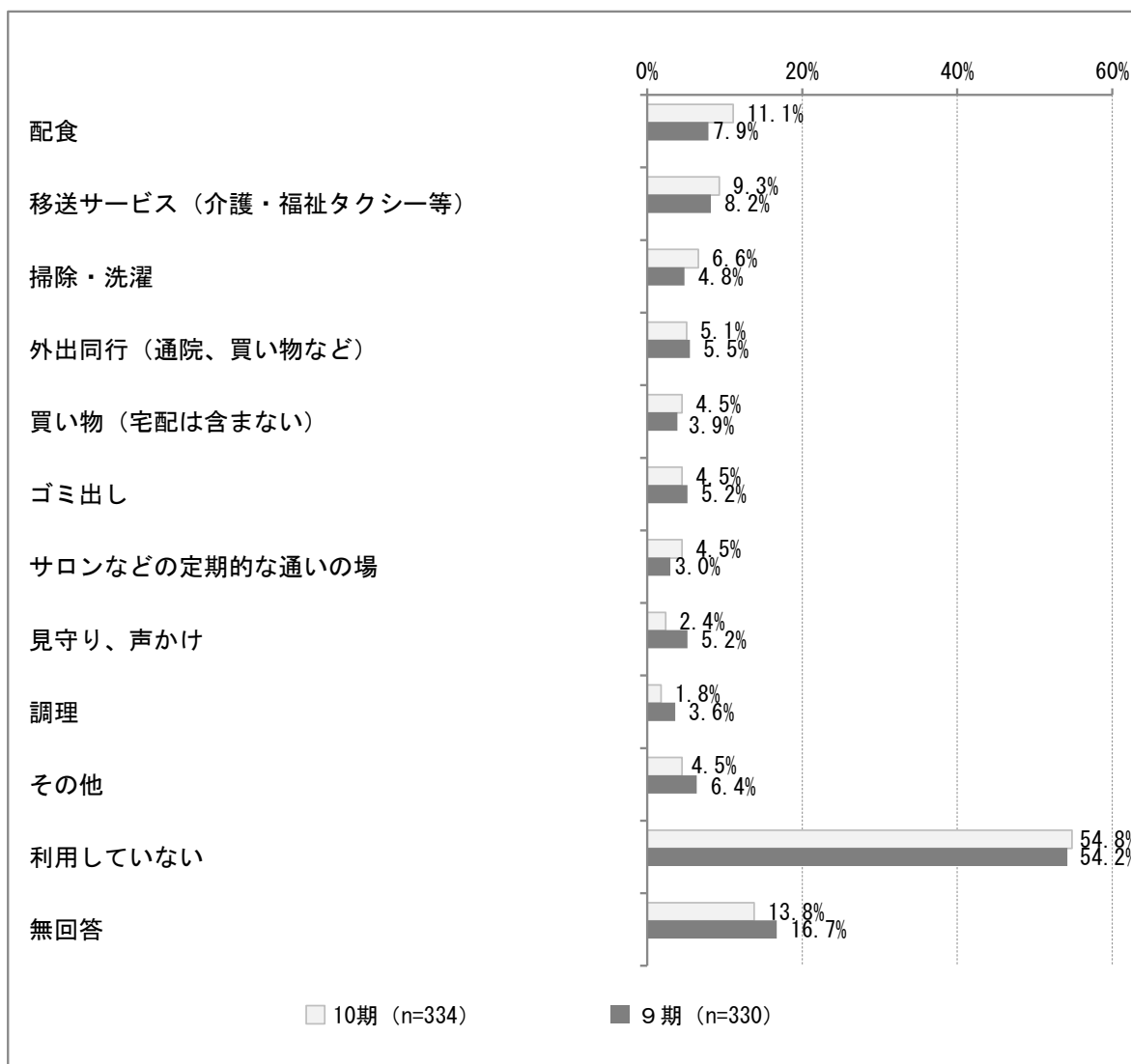


4. 介護保険以外の支援・サービスについて

(1) 現在利用している介護保険以外の支援・サービス

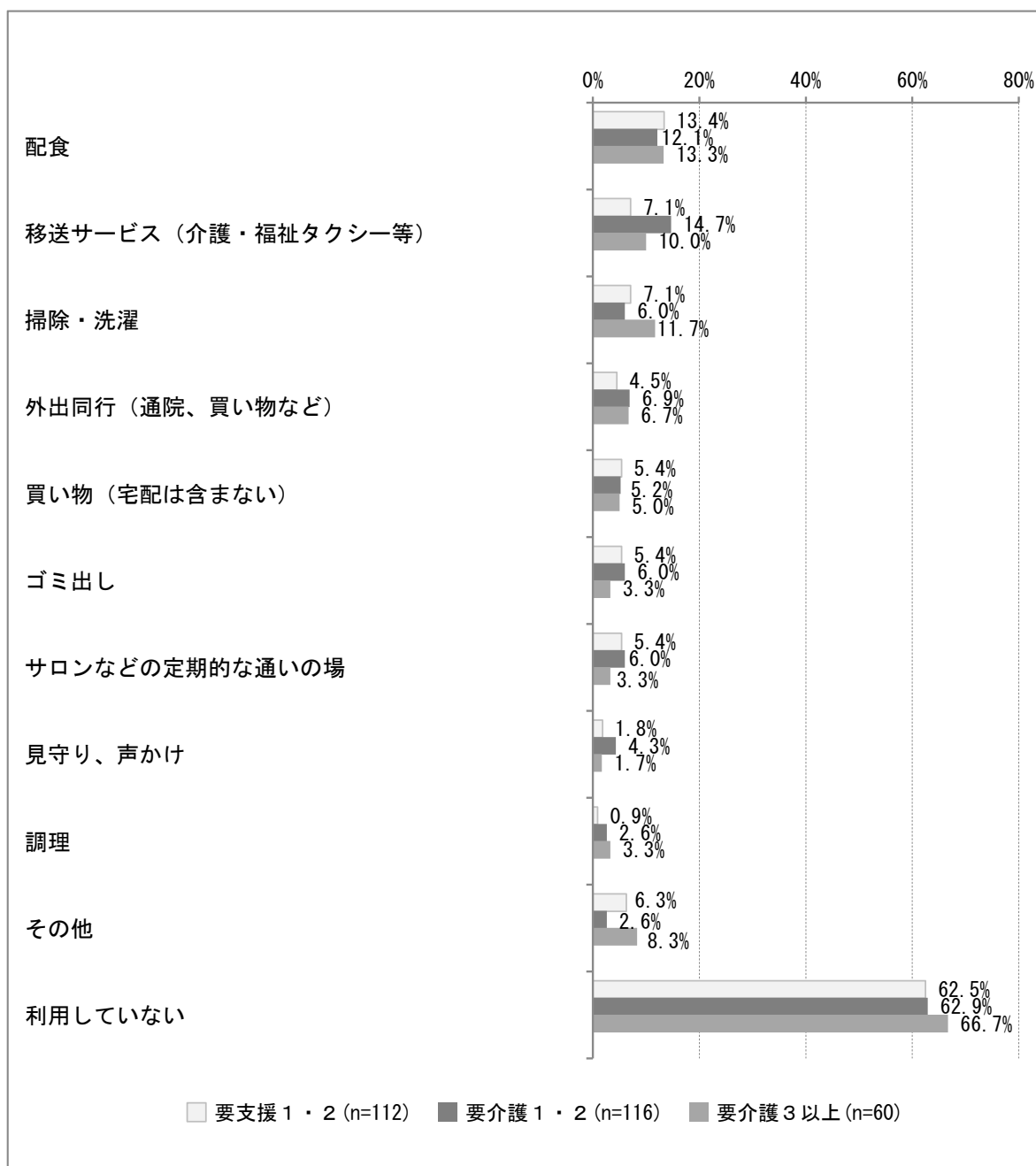
問 現在、利用している、「介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業（ホームヘルパーなどの訪問型サービスやデイサービスなどの通所型サービス）以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（〇はいくつでも）

- ・現在利用している介護保険以外の支援・サービスは、「利用していない」の割合が最も高く 54.8% となっている。
- ・利用している人では、「配食」（11.1%）が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（9.3%）となっている。
- ・前回調査に比べ、「配食」は 3.2 ポイント増加減少している。



《要介護度別》

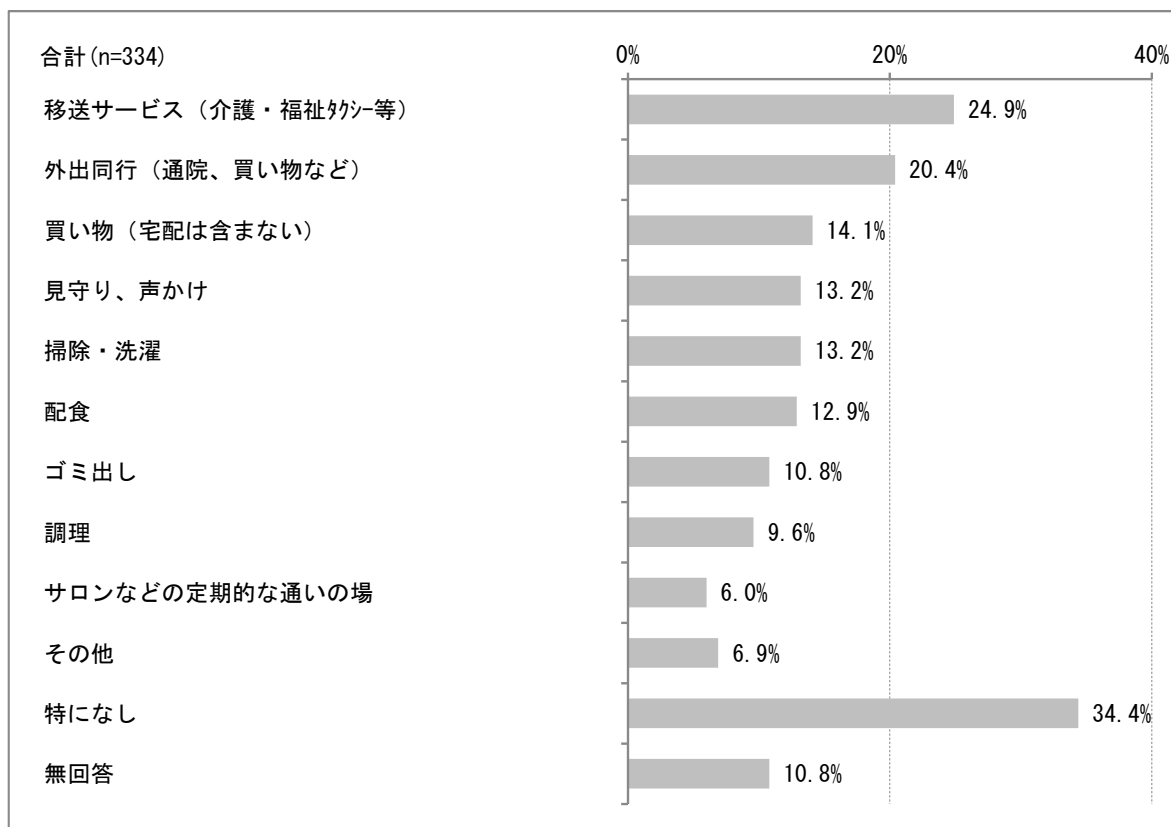
- ・要介護度別にみると、概ね介護度が上がるにつれて「洗濯・掃除」などが高くなる傾向がみられる。



(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

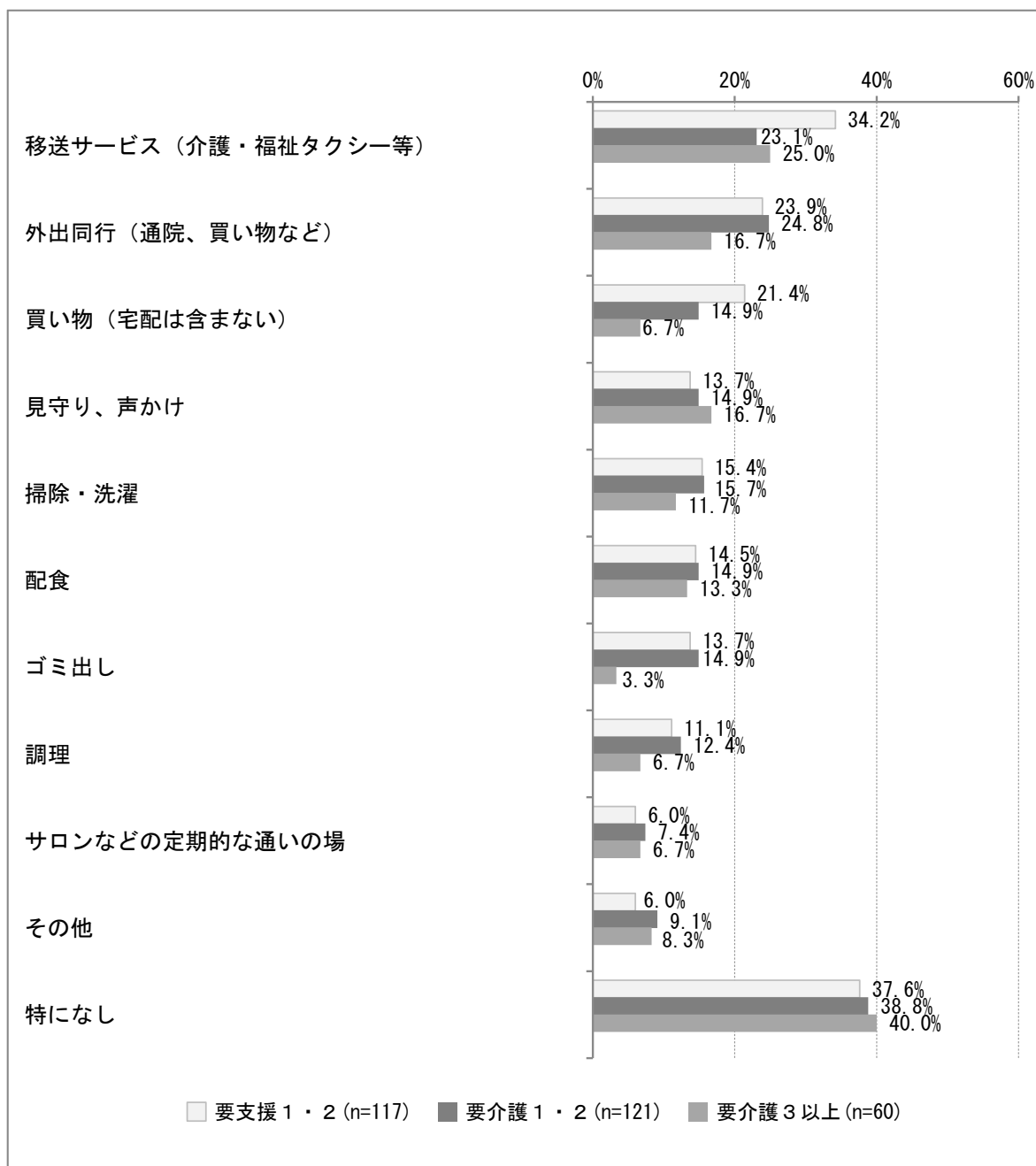
問 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」の割合が最も高く 34.4% となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（24.9%）、「外出同行（通院、買い物など）」（20.4%）の順となっている。



《要介護度別》

- 要介護度別にみると、概ね介護度が下がるにつれて「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「買い物（宅配は含まない）」などが高くなる傾向がみられる。

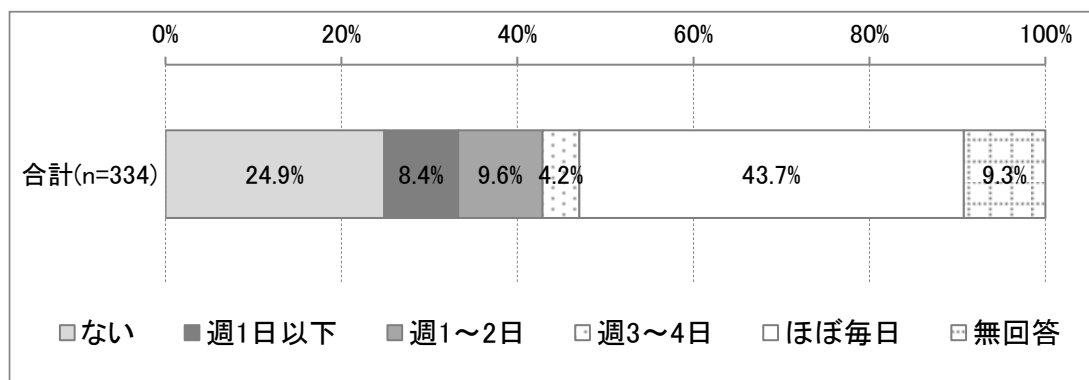


5. 家族介護について

(1) 家族や親族からの介護の状況

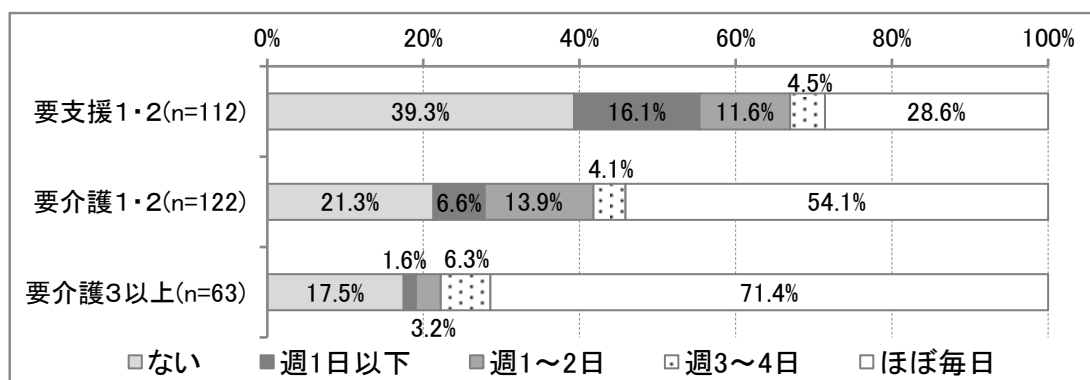
問 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

- 家族や親族からの介護の状況は、「ほぼ毎日」が 43.7%と約半数以上を占めて最も高く、「週に1～2日ある」（9.6%）、「週に3～4日ある」（4.2%）と合わせると、家族や親族からの介護が『週1日以上ある』人が約6割を占めている。



《要介護度別》

- 要介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「ほぼ毎日ある」が高くなっており、要介護3以上では約7割を占めている。

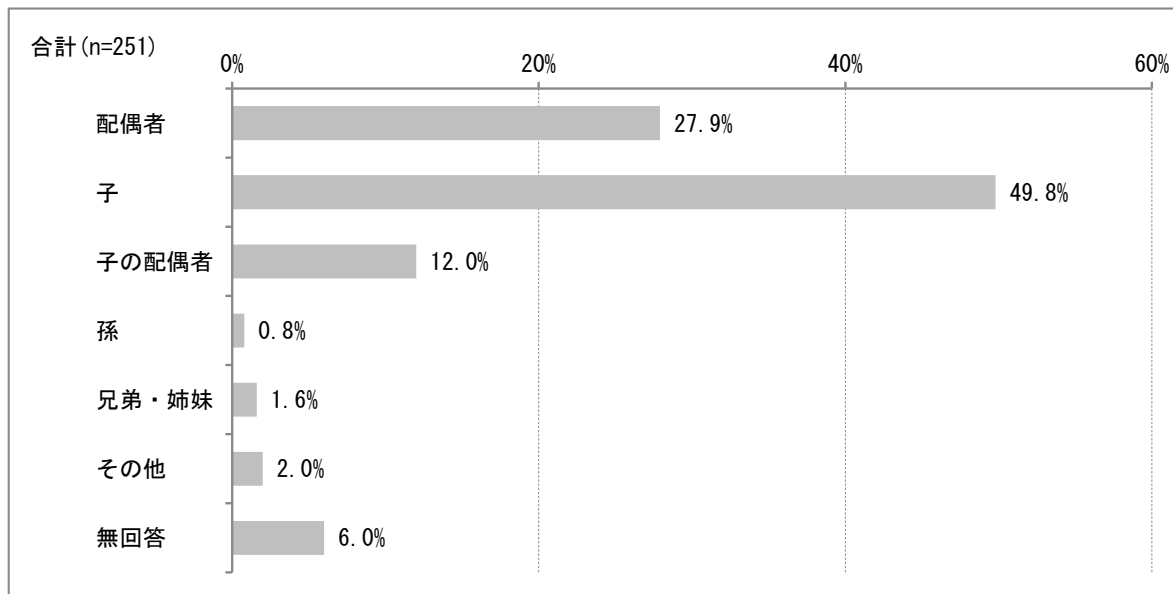


6. 主な介護者の方について ※5で「ない」と回答した人以外

(1) 主な介護者の続柄

問 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(○は1つ)

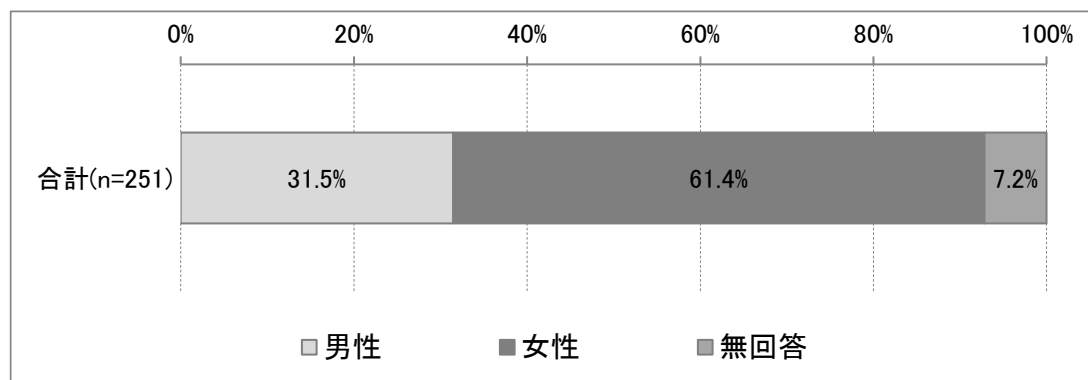
- ・主な介護者の続柄は、「子」の割合が最も高く 49.8%となっている。次いで、「配偶者」(27.9%)、「子の配偶者」(12.0%) となっている。



(2) 主な介護者の性別

問 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

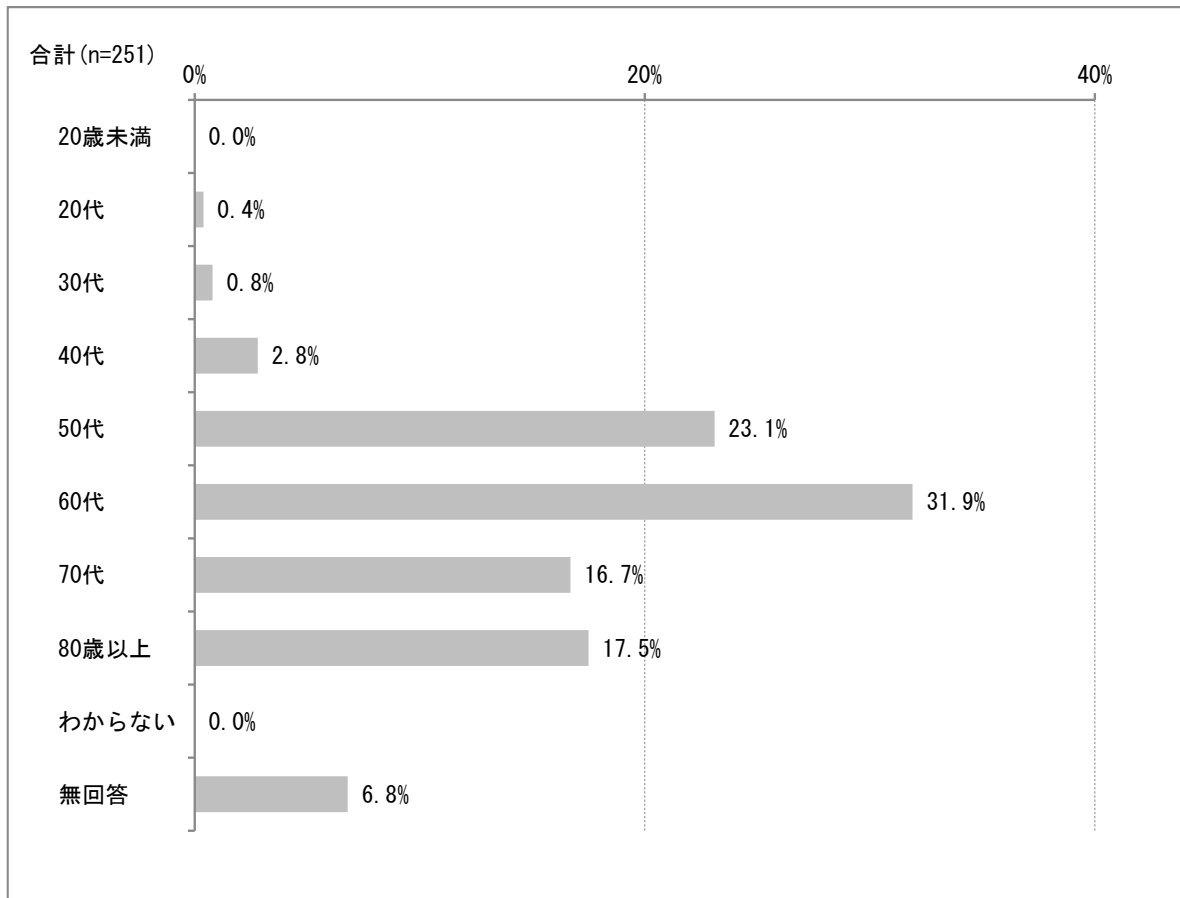
- ・主な介護者の性別は、「女性」の割合が最も高く 61.4%となっている。次いで、「男性」(31.5%) となっている。



(3) 主な介護者の年齢

問 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

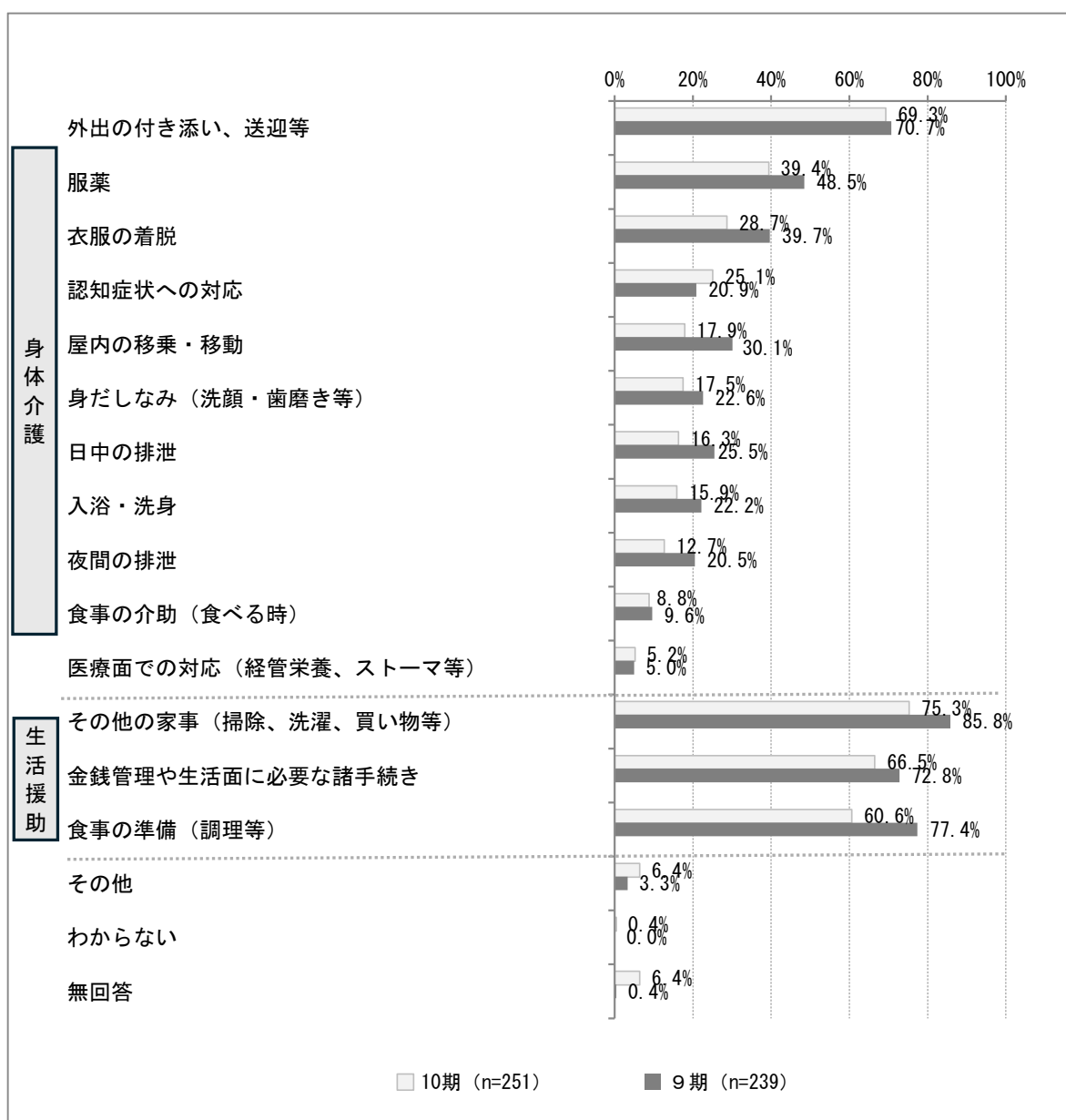
- 主な介護者の年齢は、「60代」の割合が最も高く31.9%となっている。次いで、「50代」(23.1%)、「80歳以上」(17.5%)となっている。



(4) 主な介護者が行っている介護等

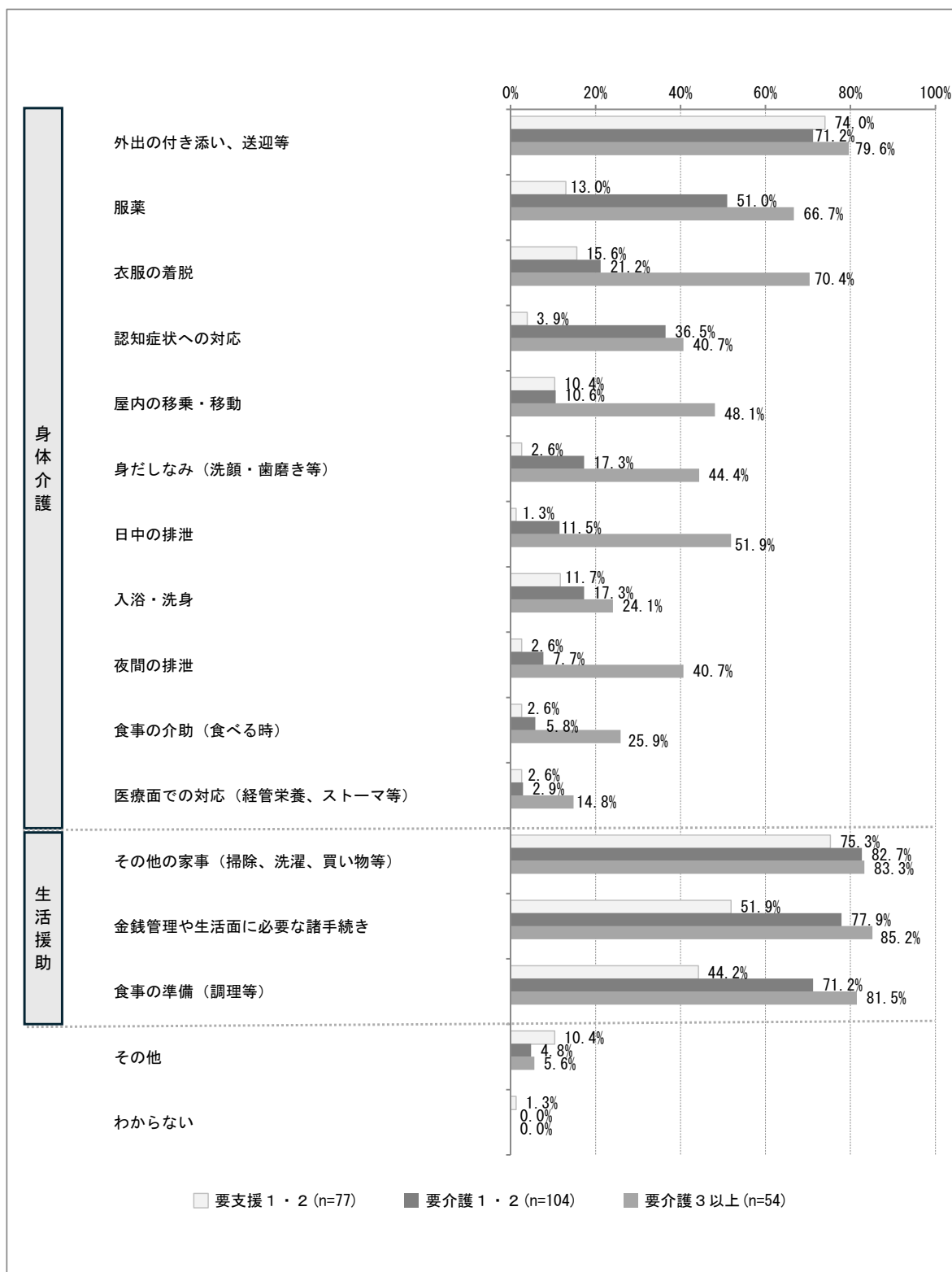
問 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

- 主な介護者が行っている介護等は、その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く 75.3%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等」（69.3%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（66.5%）となっている。
- 身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」が 69.3%と約7割を占めて多く、次いで「服薬」（39.4%）、「衣服の着脱」（28.7%）の順となっている。
- 前回調査に比べ、「食事の準備（調理等）」は 16.8 ポイント減少している。



《要介護度別》

- ・要介護度別にみると、ほとんどの項目で介護度が上がるにつれて割合が高くなっており、特に身体介護では要支援1・2と要介護3以上の差が大きい。
- ・一方で、「外出の付き添い、送迎等」では、要介護度別での大きな差異はみられない。

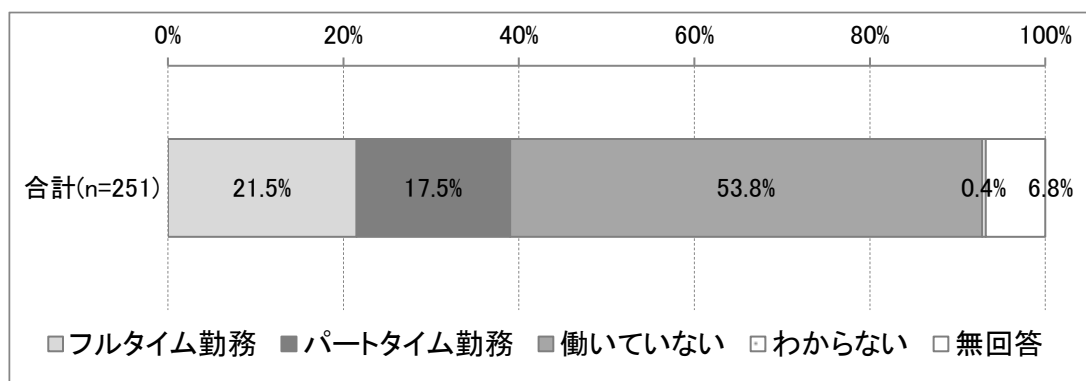


7. 主な介護者の方の就労について ※5で「ない」と回答した人以外

(1) 主な介護者の就労形態

問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- 主な介護者の就労形態は、「働いていない」の割合が最も高く 53.8%となっている。次いで、「フルタイム勤務 (21.5%)」、「パートタイム勤務 (17.5%)」となっている。
- 一方で、「フルタイムで働いている」(21.5%)と「パートタイムで働いている」(17.5%)を合わせた『働いている』人は約4割を占めている。



(1) -① 介護をするにあたっての働き方についての調整等

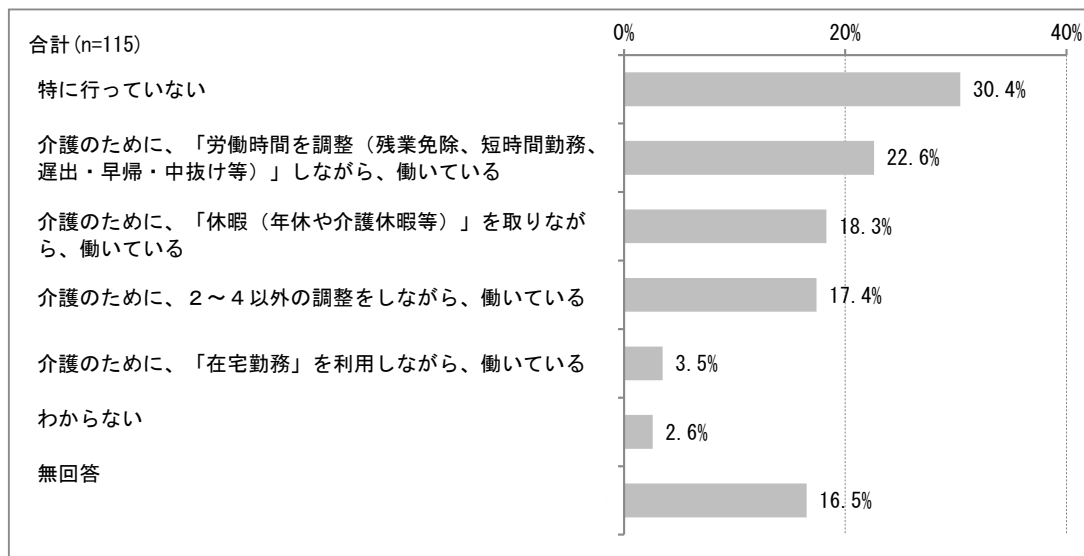
【(1) で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人のみお答えください】

問 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(○はいくつでも)

- 働いている介護者の介護をするにあたっての働き方についての調整等は、「特に行っていない」の割合が最も高く 30.4%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（22.6%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（18.3%）」となっている。

約4割の人が働き方についての調整等を行いながら介護にあたっている。

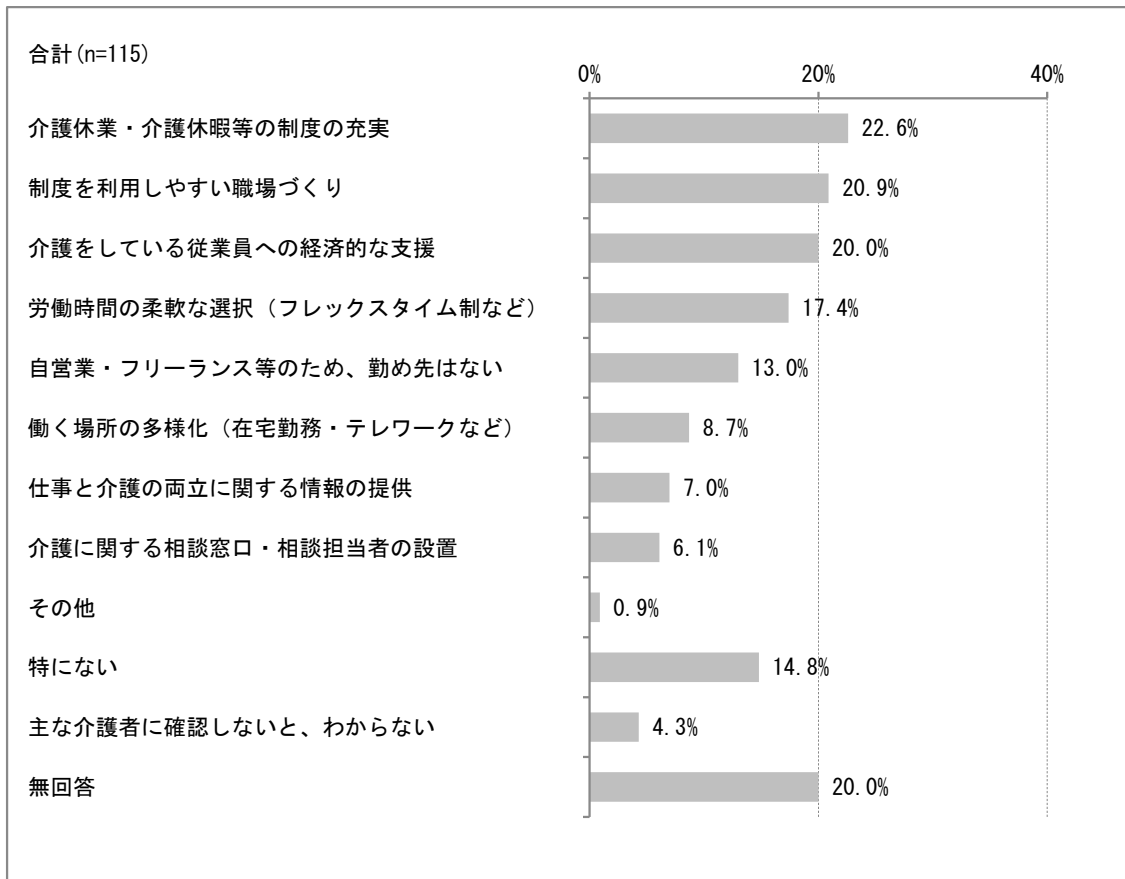


(1) -② 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

【(1) で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人のみお答えください】

問 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 22.6%となっている。次いで、「制度を利用しやすい職場づくり(20.9%)」、「介護をしている従業員への経済的な支援(20.0%)」となっている。

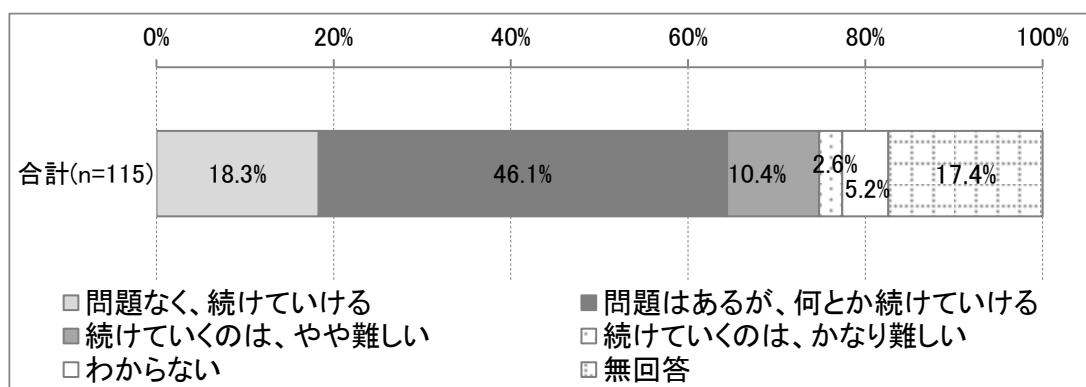


(1) -③ 今後も働きながら介護を続けていくことの可否

【(1) で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人のみお答えください】

問 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

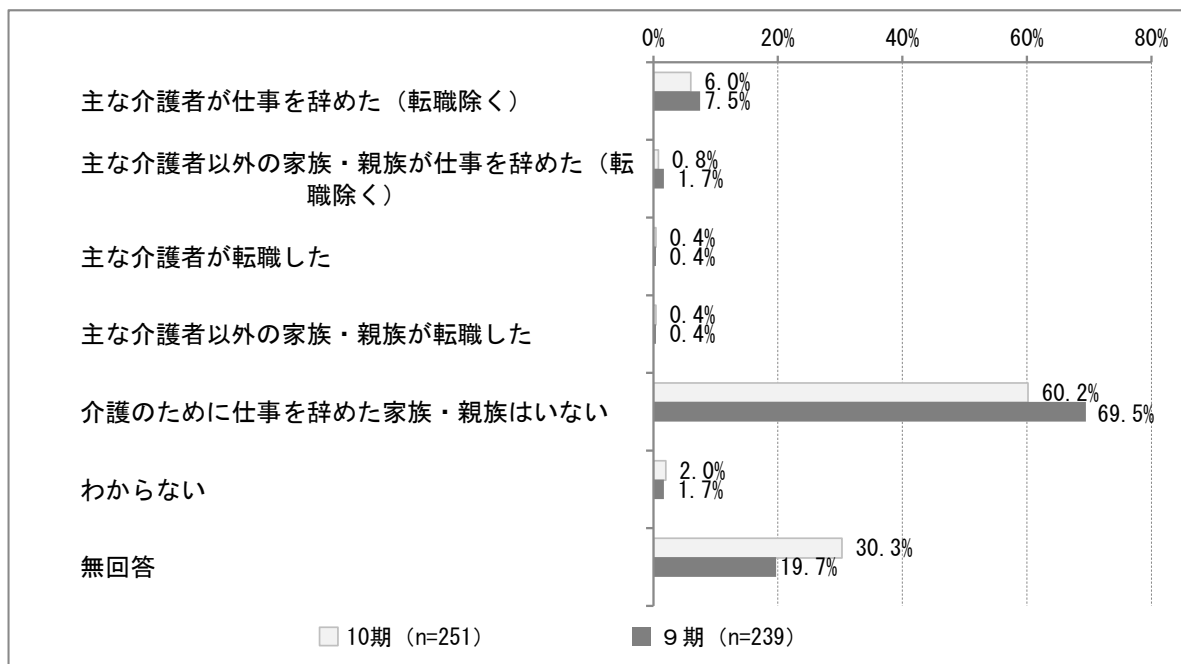
- 今後も働きながら介護を続けていくことについては、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 46.1%となっている。次いで、「問題なく、続けていける(18.3%)」、「続けていくのは、やや難しい(10.4%)」となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」が 46.1%と、「問題なく、続けていける」(18.3%) と合わせると、『続けていける』人が 6 割を超えている。
- 一方で、「続けていくのは、やや難しい」(10.4%) と「続けていくのは、かなり難しい」(2.6%) を合わせた『続けていくのは難しい』が約 1 割を超えている。



(2) 過去1年の間に介護を主な理由として仕事を辞めた家族や親族

問 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

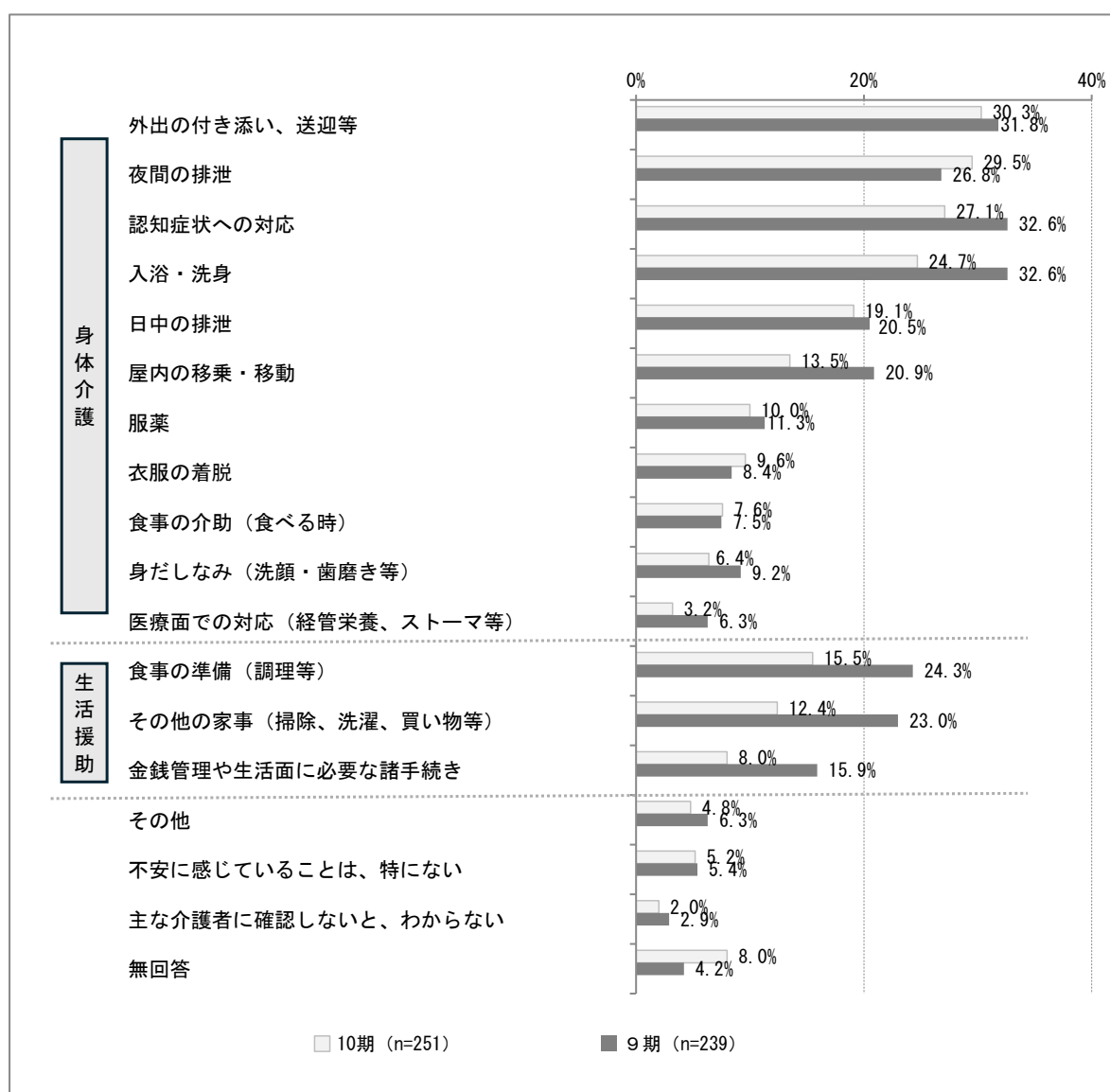
- ・過去1年の間に介護を主な理由として仕事を辞めた家族や親族については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.2%と約6割を占めて最も高くなっている。
- ・一方で、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.0%となっており、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」や「主な介護者が転職した」、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」と合わせると1.6%となっている。
- ・前回調査に比べ、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は1.5ポイント減少している。



(3) 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護等

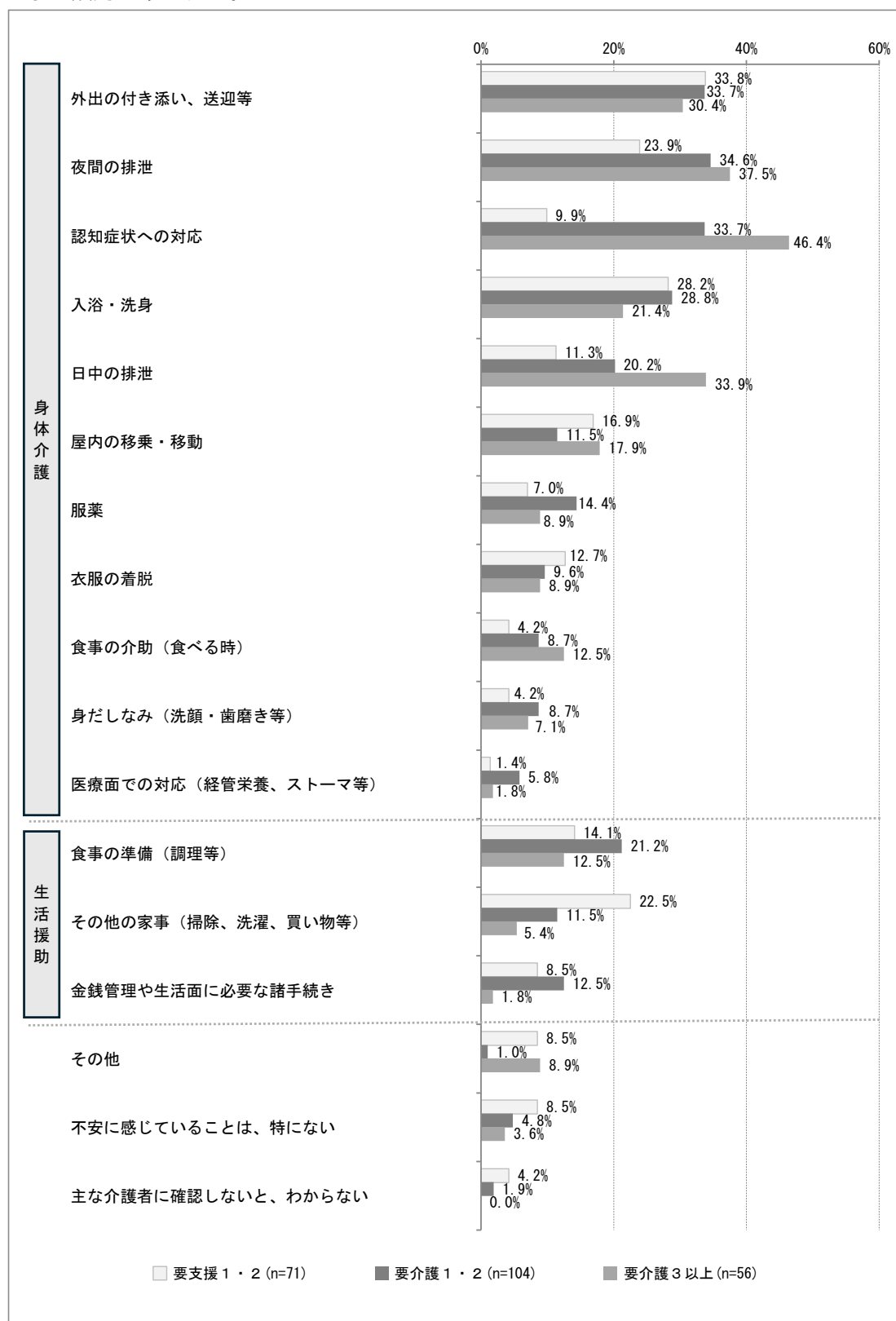
問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

- ・現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 30.3%となっている。次いで、「夜間の排泄(29.5%)」、「認知症状への対応(27.1%)」となっている。
- ・前回調査に比べ、身体介護では「入浴・洗身」は 7.9 ポイント減少している。また「屋内の移乗・移動」は 7.4 ポイント減少している。
- ・前回調査に比べ、生活援助では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は 10.6 ポイント減少している。また「食事の準備（調理等）」は 8.8 ポイント減少している。



《要介護度別》

- 要介護度別にみると、要支援１・２では「外出の付き添い、送迎等」、要介護１・２では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、要介護３以上では「認知症状への対応」が最も高くなっている。
- その他、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の生活援助では、概ね介護度が下がるにつれ高くなる傾向がみられる。



**田原本町高齢者保健福祉計画及び
第 10 期介護保険事業計画策定にかかる
アンケート調査結果報告書**

令和 8 年 6 月

田原本町 住民福祉部 長寿介護課

〒636-0392 奈良県磯城郡田原本町 890-1

電 話：0744-32-2901（代表）

F A X：0744-32-2977
